



6.5型ワイドタッチパネルTV/DVD-V/MD/CD/チューナー・MP3対応・DSP
AV一体型DVDナビゲーション

AVIC-DRZ09

最初にお読みください

ナビゲーション入門とAV操作編

ナビスタート
&
AVブック



はじめに

ナビスタート

放送受信

音楽ディスク

DVD

オプション機器

AV設定

オーディオ設定

その他の機能

付録

安全のために必ずお守りください

絵表示について

取扱説明書、取付説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

■表示内容を見逃して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。



注意

この表示の欄は、「人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

■お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



このような絵表示は、注意（警告を含む）しなければならない内容です。



このような絵表示は、禁止（やってはいけないこと）の内容です。



このような絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。

安全上のご注意 (別冊の「安全上のご注意」もお読みください)

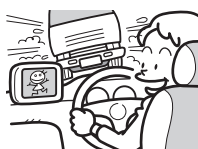
警告

【使用方法】



運転中に操作をしない

画面を長く見る必要がある複雑な機能は、自動車の運転中に操作をしないでください。前方不注意となり交通事故の原因となります。操作は、必ず安全な場所に車を停車させて行ってください。また運転中、画面を注視する時間は必要最低限としてください。



走行中にテレビやビデオを見ない

運転者がテレビやビデオを見るときは、必ず安全な場所に車を停車させてください。走行中にテレビやビデオを見ると前方不注意となり交通事故の原因となります。



分解や改造はしない

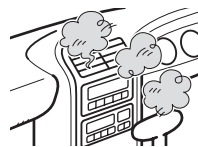
本機を分解したり、改造しないでください。事故・火災・感電の原因となります。

【異常時の処置】



故障のまま使用しない

画面が映らない、音が出ないなどの故障の状態で使用しないでください。必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。



異常のまま使用しない

万一、煙が出る・変なにおいがする・内部に異物が入った・水がかかったなど異常が起きましたら、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。



ヒューズは規定容量のヒューズを使用する

ヒューズを交換するときは、必ず表示された規定容量のヒューズをご使用ください。規定容量以上のヒューズを使用すると、火災の原因となります。

はじめに

ナビスタート

放送受信

音楽ディスク

DVD

オプション機器

AV設定

オーディオ設定

その他の機能

付録

DVD [楽ナビ] の4つのボタン

お出かけ

周辺

渋滞

お帰り

を使って

スタートからゴールまでの流れを理解しよう



お出かけ

どこに行こう?

「お出かけ」ボタンで
行きたい所をいろいろな方法で検索

簡単ルート探索 → P41



マイクに向かって
声で操作することも
できます。

音声操作 → P52



お帰り

さあ帰ろう!

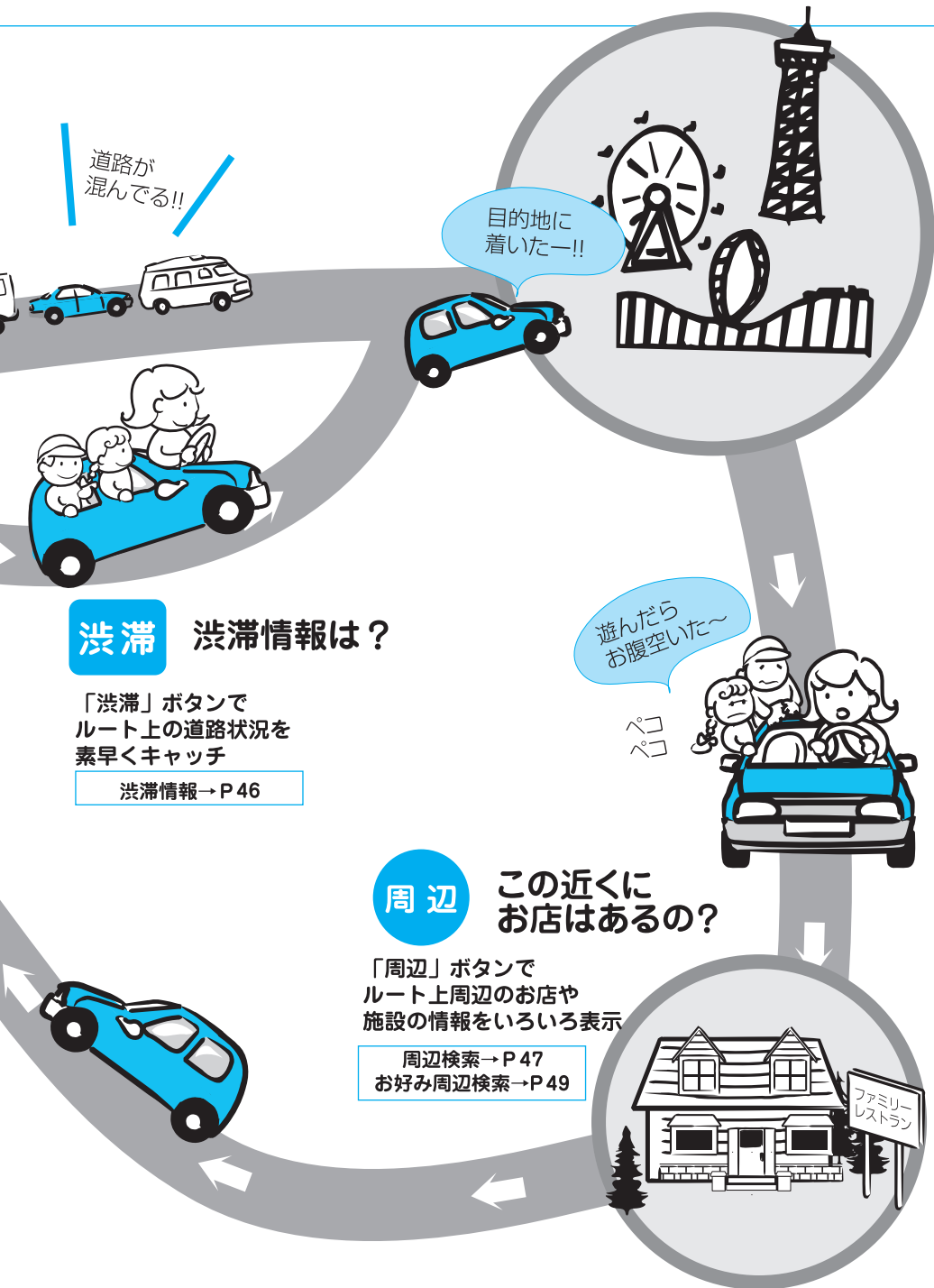
「お帰り」ボタンで
全国どこからでも探索

一発ルート探索 → P51

画面上のタッチキー
からも操作できます。

ショートカットタッチキー
→ P21





渋滞 渋滞情報は？

「渋滞」ボタンで
ルート上の道路状況を
素早くキャッチ

渋滞情報→P 46

周辺

この近く お店はあるの？

「周辺」ボタンで
ルート上周辺のお店や
施設の情報をいろいろ表示

周辺検索→P 47
お好み周辺検索→P 49

はじめに

ナビスタート

放送受信

音楽ディスク

DVD

オプション機器

AV設定

オーディオ設定

その他の機能

付録

目次

安全のために必ずお守りください ... 2

安全上のご注意 3

スタートからゴールまでの流れを
理解しよう 4

はじめに 10

特長 10

ご使用前に知っておいて

 いただきたいこと 11

 バッテリーを外すときのご注意 12

お使いになる前の準備 14

 リモコンに電池をセットする 14

 電源の入れたか、切りかた 15

 オートアンテナの操作について 15

 オートアンテナを上げる・下げる ... 15

 ディスクのセットのしかた 16

 ディスクの取り出しかた 17

各部の名前とおもな働きを知る 18

 AVIC-DRZ09 18

 リモコン 20

操作のしかた 21

 タッチキーでの操作のしかた 21

 ショートカットタッチキーに

 タッチして操作する 21

 タッチキーの再表示のしかた

 (映像ソース時) 21

 リモコンでの操作のしかた 22

 ユニバーサルパッドの

 操作のしかた 22

 操作の表記 22

モニターを見やすい角度に調節する . 23

音量を調節する 24

 音量調節のしかた 24

<基本操作編>

DVD [楽ナビ] の基本を覚えよう

メモリーナビモードとは 26

 メモリーナビモード時の

 ナビゲーションについて 26

 メモリーナビモード (ルート周辺

 エリア) 準備中/準備完了画面 27

 メモリーナビモード中の地図画面 ... 27

地図の見かたや操作を覚えよう 28

 現在地を表示させる 28

 現在地画面 28

 地図の動かしかた 29

 スクロール画面 30

 地図を広域・詳細にする 31

広域・詳細 タッチキーを使う 31

 ダイレクトスケールタッチキーを

 使う 32

 地図の表示方法を変えてみよう 33

メニュー操作の基本を覚えよう 34

 メニューを表示する 34

 お出かけメニューを表示させる 34

 ショートカットメニューを

 表示させる 35

 サブメニューについて 35

 リスト表示の画面操作 36

自宅を登録しておこう 37

<ナビスタート編> DVD [楽ナビ] を使おう

DVD [楽ナビ] を使おう 40

「お出かけ」ボタンで行き先を 探そう 41


ルート案内中の画面 45

「渋滞」ボタンで渋滞情報を 確認しよう 46

ルート案内中に渋滞情報を確認しよう ... 46

「周辺」ボタンで近くの施設を 探そう 47

お好み周辺検索を使おう 49

 お好み周辺検索で周辺の施設を
検索して、ルート探索しよう 49

「お帰り」ボタンで自宅へ帰ろう ... 51

音声操作を覚えよう 52

音声操作の基本 52
発話するタイミング 52

音声でナビゲーションを
操作してみよう 53
音声操作で周辺施設を探す 54

<AV編>

AVソースの選びかた 56

安全走行のために 56

AVソースを選ぶ 56
「AV」ボタンでソースを選ぶ 56

AVソース選択メニューでAVソースを
選ぶ 57

ナビゲーション画面に切り替える 57

AVソースをOFFにする 57

テレビの見かた/ラジオの聴きかた .. 58

テレビやラジオの放送を受信する 58

テレビの放送局を選ぶ 58
テレビ映像やナビゲーション画面の
ときは 58
音声多重放送の音声を切り替える ... 59

ラジオの放送局を選ぶ 59
ナビゲーション画面のときは 59

プリセット番号で選ぶ 59

放送局の自動記憶 60

プリセット番号に記憶する 60

交通情報の聴きかた 61

交通情報を受信する 61

交通情報の受信をやめる 61

音楽ディスクの聴きかた 62

再生する 62

詳細情報を表示する (MP3) 64

いろいろな再生操作 64
リピート再生 64
ランダム再生 64
スキャン再生 65
ミックスCD内のデータ形式の切り替え .. 65

DVDビデオの見かた 66

再生する 66

DVDが自動的に再生しないときは 66

ディスクメニューの操作 67
ディスクメニューを表示させる 67
ディスクメニューの操作 67

はじめに

ナビスタート

放送受信

音楽ディスク

DVD

オプション機能

AV設定

オーディオ設定

その他の機能

付録

操作タッチキー表示のしかた	67
DVDビデオの基本操作	68
いろいろな再生操作	68
コマ送り再生	68
スロー再生	69
リピート再生	69
字幕言語の切り替え	69
音声言語の切り替え	70
アングルの切り替え	70
ディスクに指定された位置まで戻って 見る	71
見たい場面をダイレクトに選ぶ	71
<hr/>	
DVDビデオ機能設定を変更する ...	72
設定のしかた	72
設定項目	72
ダイナミックレンジコントロールの 設定	75
<hr/>	
ラストポジション機能を使う	76
ラストポジションを記憶する	76
ラストポジションを一時的に 記憶する	76
ラストポジションから再生する	76
DVDビデオのラストポジション 5秒前設定について	77
ラストポジションを消去する	77
<hr/>	
マルチCDプレーヤーの 操作のしかた	78
再生する	78
いろいろな再生操作	79
リピート再生	79
ランダム再生	79
スキャン再生	80
<hr/>	
エクスターナルユニットの 操作のしかた	81
基本操作	81
1～6キーの操作	81
ファンクションキーの操作	81
操作例	81
<hr/>	
AV機能設定を変更する	82
設定のしかた	82
設定項目	82
<hr/>	
オーディオ設定を変更する	85
設定のしかた	85
設定項目	85
<hr/>	
その他の機能	89
モニターの画質を調節する	89
黒の濃さ・コントラスト・明るさ・ 色の濃さ・色あいを調整する	89
画面を消す	89
ワイド画面の拡大方法を切り替える	90
ワイドモードの種類	90
VTRの映像を見る	91
バックカメラを使う	91
リアモニターを組み合わせる	92
リアモニターに表示される映像に ついて	92
<hr/>	
付録	93
モニターの正しい使いかた	93
再生できるディスクの種類	94
DVDに表示されているマークの 意味	95
ディスクの操作について	95
MP3ディスクについて	96

ディスクの取り扱いかた	97
言語コード表	99
用語の解説	100
CD/MP3ディスク	100
DVDビデオ	101
故障かな?と思ったら	102
ナビゲーション	102
共通項目	102
テレビ	104
バックカメラ	105
MD	105
DVDビデオ	106
CD/MP3ディスク	107
エラーメッセージ	109
その他に、こんなメッセージが表示 されたら	110
リセットのしかた	111
お客様登録とアフターサービス	112
索引	114
メニュー索引	114
用語索引	116
タッチキー/ボタン/画面情報索引	118
仕様	119

はじめに

ナビスタート

放送受信

音楽ディスク

DVD

オプション機器

AV設定

オーディオ設定

その他の機能

付録

はじめに

特長

高速化と高精度によりナビゲーションの基本機能が大きく進化したさらに使い易いカーナビになりました。

DoリモコンとDoモニターで直感操作による使い易さを実現しています

Doリモコン、タッチパネル採用のDoモニターにより、「お出かけ」から「お帰り」までやりたい操作が誰でも簡単に行うことが可能です。さらに音声操作機能も標準装備しています。

MDプレーヤー搭載で充実したAV機能

MDプレーヤー搭載により、地図ディスクを挿入したまま音楽が楽しめます。

DVDビデオ再生機能でドライブをより楽しくします

DVDビデオの再生機能を搭載しています。さらに音楽CDやMP3の再生にも対応していますので、より快適で楽しいドライブを演出します。

メモリーナビモードで、ナビゲーションとAV機能を一緒に楽しむ

ナビゲーションの地図データなどを本体のメモリーに読み込むことが可能ですのでDVDビデオやCDなどのAV機能と一緒にナビゲーション機能を活用することができます。

測位精度専用のチップを搭載、高精度なナビゲーションを実現します

自車位置を正確に測定できる測位精度専用チップを搭載することにより、高精度な測位が実現します。

3Dハイブリッドセンサーにより、自車位置を正確に表示できます

3Dハイブリッドセンサーで、坂道の登り降り（地面の傾斜）を感知できます。このため、立体交差の道路、地図上で重なりあっている道路なども的確に判断でき、高さの情報は測位に反映します。

VICS（道路交通情報通信システム）の情報を利用できます

FM多重放送によるVICS情報を受信して、渋滞情報を地図上に表示できます。さらに別売のVICS用ビーコンユニットでビーコンによるVICS情報を受信することができます。

DVDの大容量を活かした豊富な情報を収録しています

電話番号のデータ、各種施設のデータなど、2層DVD・8.5GBならではの豊富な情報が収録されています。データ量は膨大ですが、高速処理ができ、探したい場所もすぐに見つけられます。

10mスケールまで地図を詳細に表示できます

シティマップ（詳細市街地図）収録エリア内では、10mスケールの詳細な地図で表示できるので、入り組んだ道路でも細かく確認できます。

よりドライバーの視点に近い地図表示ができます

ドライバーズビューやスカイシティマップで、よりドライバーの走行感覚に近いリアルな表示ができます。

細い道の探索も行って、ドアtoドア探索ができます

住宅地などの細い道路までも探索することができるため、まさに自宅から目的地までのドアtoドア探索ができます。

また、このときに設定されたルート上の細い道路はピンク色で表示されるため、細い道路であることを簡単に判別できます。

地図ディスクに保存されている抜け道情報をもとに抜け道をアドバイスします

抜け道情報は地図画面に紫色の点滅で表示されます。ルート案内中はこの抜け道情報を基にオートリルートを行い、抜け道を案内します。

ご使用前に知っておいていただきたいこと


本機のご使用にあたっては、付属のナビゲーション用地図ディスク「DVD [楽ナビ] マップTypeIII Vol.2」以降をお使いください。指定以外の地図ディスクは使用できません。

■ 現在地の表示について

初めて本機をご使用になるときは、現在地とは異なる地図が表示されたり、地図上に表示されている現在地と実際の自車位置が大きくずれることがあります。これは故障ではありません。しばらくすると正しい現在地が表示されます。

■ 本機の電源について

本機の電源は、車のACC電源に連動してON/OFFします。電源スイッチはありません。

- ✖️ ●  (画面オフ) ボタンを2秒以上押しと画面を消すことができます。(→P19)
- 「AV」ボタンを2秒以上押しとAVソースをOFFにすることができます。(→P57)

■ 安全走行のために

- 走行中に運転者がナビゲーション操作をし、画面に気を取られたり、操作に迷ったりすると思わぬ重大な事故を招く恐れがあり大変危険です。交通の状況、歩行者などに十分注意しながら運転してください。また、運転者がナビゲーションの操作を行う場合は、必ず車を安全な場所に停車してから行ってください。
- 運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご利用ください。車外の音が聞こえにくいと、交通事故の原因となることがあります。
- 本製品には交通規制データが収録されておりますが、交通規制の変更等により、実際とは異なる場合があります。ナビゲーションによるルート案内や右左折などの音声案内時でも、必ず実際の交通標識や案内掲示板等に従ってください。交通事故の原因や道路交通法違反となることがあります。
- 緊急を要する施設（病院、消防署、警察など）の検索やルート案内については、本製品への依存を避け各該当施設へ直接ご連絡ください。
- 本機は、安全のため走行中にテレビなどの映像を見ることができないようになっています。また、走行中はナビゲーションの一部のメニュー操作や地図の連続スクロール、フリーズームなどはできません。またAV操作も一部できません。安全な場所に停車して、パーキングブレーキをかけてから操作してください。

はじめに

ナビスタート

放送受信

音楽ディスク

DVD

オプション機器

AV設定

オーディオ設定

その他の機能

付録

■ 画面が見えにくいときは

液晶画面は、その構造上きれいに見える角度が限られています。

初めてお使いになるときは、画面がきれいに見えるように、黒の濃さを調整してください。また、液晶画面自体の明るさも変更できますので、お好みに応じて調整してください。

- メモ • 「モニターの画質を調節する」(→P89)を参照してください。

■ 昼間と夜間の色の違いについて

夜間、周囲が暗くなってくると、画面が明るすぎて表示されている映像が見えにくくなってしまふことがあります。そこで、本機では昼画面と夜画面とで画面の配色を変えて、それぞれ見やすい画面を表示します。

出荷時は、日没の時刻になると自動的に夜画面に変わるように設定されています。地図の機能設定により、つねに昼画面、夜画面を表示させておくこともできます。



昼画面



夜画面

- メモ • 本書では、昼画面を例に説明しています。このため、夜画面が表示されている場合、本書の説明と画面の色が異なる場合があります。

■ バッテリー上がりを防ぐために

本機の電源は、車のACC電源に連動してON/OFFします。本機をお使いになるときは、必ず車のエンジンをかけてください。エンジンがかかっていないときに本機を使用すると、バッテリーが消耗します。

- メモ • 大気環境のため、必要以上の停車中のアイドリングは避けましょう。

■ バッテリーを外すときのご注意

点検等で車のバッテリーを外すと、本機に記憶されている「オービスデータ」および「走行軌跡」が消去されます。また、「AV機能設定」および「オーディオ設定」は出荷時の状態に戻ります。必要な情報は事前に紙などに控えておいてください。

■ 携帯電話をお使いになるときは

携帯電話をお使いになるときは、携帯電話のアンテナをモニターに近づけないでください。画面にはん点や色模様などのノイズが出たり、映像が乱れたりすることがあります。

■ モニターの液晶画面を保護するために

本機を使用していないときは、モニターに直射日光が当たらないようにしてください。高温のために液晶画面が故障するおそれがあります。

■ 著作権

本製品に収録されたデータ及びプログラムの著作権は、弊社及び弊社に対し著作権に基づく権利を許諾した第三者に帰属しております。お客様は、いかなる形式においてもこれらのデータ及びプログラムの全部または一部を複製、改変、解析等することはできません。

■ 保証登録・アフターサービス

- 弊社からの本製品に関する重要な連絡事項は「保証書発行兼お客様登録カード」をご返送またはインターネットからご登録いただいたお客様にいたしますので、必ず登録をしていただきますようお願いいたします。
- 本製品のアフターサービスは、お買い上げ販売店を窓口として実施しておりますが、移動先や引っ越し等により、お買い上げ販売店に修理が依頼できない場合には、お近くの弊社サービスステーションへご相談ください。

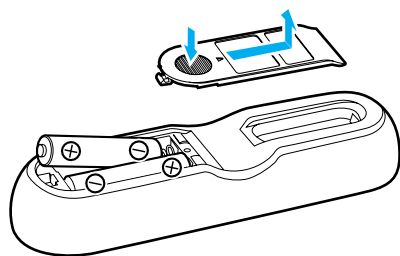
■ その他

- 弊社は、本製品がお客様の特定目的へ合致することを保証するものではありません。
- 本製品の仕様及び外観は、改善のため予告なく変更する場合があります。その場合における変更前の本製品の改造、またはお取り替えのご要望には応じかねます。
- 説明書で使っている画面例は、実際の画面と異なる場合があります。実際の製品の画面は、性能・機能改善のため、予告なく変更することがあります。

お使いになる前の準備

リモコンに電池をセットする

裏ボタンをはずして、単4形アルカリ乾電池（LR03）2本をセットします。



⚠ リモコンの取り扱いに関するご注意

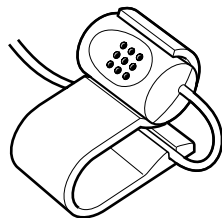
- ・リモコンを直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障することがあります。リモコンを使用しないときは、グローブボックスなど直射日光の当たらないところに保管してください。
- ・リモコン受光部に直射日光が当たっていると、リモコンの操作ができないことがあります。

電池の取り扱いに関するご注意

- ・電池は加熱したり、分解したり、火や水の中に入れてください。電池の破裂、液もれにより、火災やけがの原因となることがあります。
- ・乾電池は充電できません。
- ・リモコンを長期間使わないときは、電池を取り出してください。また、取り出した電池は、幼児の手の届かないところに保管してください。
- ・電池の液もれが起こったときは、内部に付着した液をよく拭き取ってから新しい電池と入れ替えてください。
- ・リモコンからの信号が受け付けられる範囲が狭くなってきたときは、新しい電池と交換してください。
- ・リモコンの電池を交換するときは、電池寿命の長いアルカリ電池のご使用をおすすめします。
- ・不要となった電池を廃棄する場合は、各地方自治体の指示（条例）に従って処理してください。

音声認識用マイク（別売「CD-VM10」）

本機の設置位置などにより、モニター内蔵のマイクで音声がかうまく認識されないときは、別売の音声認識用マイク「CD-VM10」をナビゲーション本体に接続します。接続した場合は、モニター内蔵のマイクは無効となります。このマイクに向かって発話してください。



- ✖ モニター付近にエアコンの吹き出し口がある車両でお使いの場合、エアコンの風の影響で音声の認識がしにくくなることがあります。その場合は別売の音声認識用マイクの使用をおすすめします。

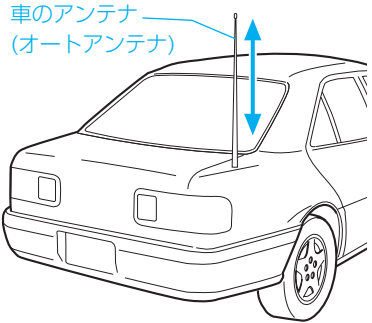
電源の入れかた、切りかた

本機の電源は、車のACCをON（エンジンをかける）にすると自動的に入り、ACCをOFF（エンジンを切る）にすると電源も切れます。

- ⚠️ 本機をお使いなるときは、必ず車のエンジンをかけてください。エンジンがかかっていないときに本機を使用すると、バッテリーが消耗します。

オートアンテナの操作について

本機をオートアンテナ車に取り付けた場合、車のACC電源ON（エンジンをかける）に連動してオートアンテナが上がる場合があります。屋内ではご注意ください。オートアンテナは、本機の操作で上げ下げすることができます。



■ オートアンテナを上げる・下げる


1 (お帰り) タッチキーを2秒以上タッチする

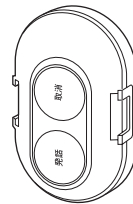
2秒以上タッチすることによりオートアンテナのON（上げる）とOFF（下げる）が切り替わります。

- ✖️ リモコンの「お帰り」ボタンでも操作することができます。
- オートアンテナ車以外では常にONIに設定しておいてください。OFFに設定するとFM/AMラジオ放送およびVICS/FM多重放送の受信ができなくなる場合があります。

音声認識コントローラー（別売「CD-SR5」）

別売のステアリング取付型の音声認識コントローラーです。ステアリングから手を離さずに、より安全に音声による操作を行うことができます。

「CD-SR5」の「発話」ボタン、「取消」ボタンは、本機付属のリモコンの  (発話) ボタン、「戻る」ボタンと同じ働き（→P20）をします。



はじめに

ナビスタート

放送受信

音楽ディスク

DVD

オプション機器

AV設定

オーディオ設定

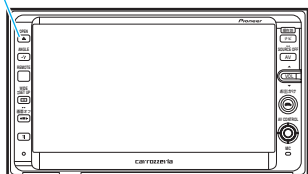
その他の機能

付録

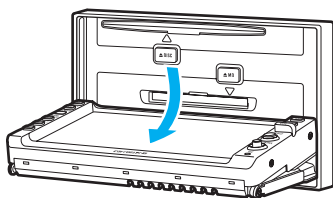
ディスクのセットのしかた

1 ▲(オープン/クローズ) ボタンを押す

▲(オープン/クローズ) ボタン

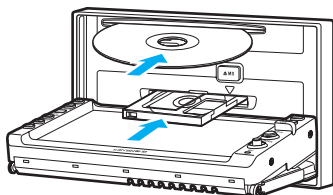


モニターが開き、ディスク挿入口があらわれます。



2 ラベル面を上にして、ディスクをディスク挿入口に差し込む

ディスクを少し差し込むと、後は自動的に引き込まれ、モニターが閉じます。



地図ディスクの場合オープニング画面が表示され、(ナビゲーションの準備をしています。)しばらくすると地図が表示されます。

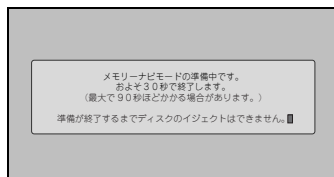


メモ

- 購入後 (バッテリーを外した後やリセットボタンを押した後も含む) 地図ディスクを一度セットしてプログラムを読み込ませないと、テレビやDVD/CD/MP3などのAV機能も動作しません。必ず最初に地図ディスクをセットしてください。
- CDシングル (8cmCD) もアダプターなしでセットします。アダプターは絶対に使用しないでください。
- 本機に対応したディスク以外のものを入れないでください。

初めてお使いになるときは

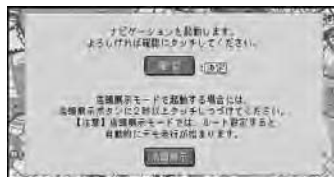
メモリーナビモードの準備中画面が表示されますので、そのまましばらくお待ちください。



メモ

- メモリーナビモードの準備中に▲DISC (イジェクト) ボタンを2秒以上押すとディスクを強制的に取り出すことができます。その場合は、以後の動作に制限が生じる場合があります。
- バッテリーを外したときや、リセットボタンを押したときもこの画面が表示されることがあります。

初期学習が終了していないときは、次の画面が表示されます。**確認** にタッチするか**決定** ボタンを押して走行を開始してください。

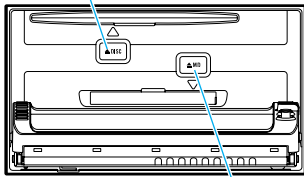


走行を開始すると、3Dハイブリッドセンサーの初期学習が自動的に始まります。3Dハイブリッドセンサーの初期学習が終了するまでは、GPS衛星のみの測位となるため、自車位置が更新されない、自車位置や方向が正しくない(道路にいないなど)、案内が出たり出なかったりする場合がありますが、故障ではありません。初期学習が終了すると、高精度で自車位置を測位することが可能になります。

- メモ** 店頭展示モードは店頭でのデモンストラーション用のため、**店頭展示** をタッチしないでください。またエラーメッセージが表示されたときは、「エラーメッセージ」(→P109) を参照してください。

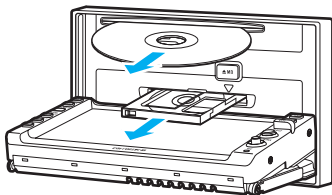
ディスクの取り出しかた

- 1** ▲(オープン/クローズ) ボタンを押す
モニターが開きます。
- 2** ▲DISC (イジェクト) ボタン、または ▲MD (イジェクト) ボタン
▲DISC(イジェクト) ボタン



▲MD(イジェクト) ボタン

▼
ディスクが少し出てきます。



- メモ** ディスクを取り出したら、必ずモニターを閉じてください。
- 取り出したディスクは、ケースに入れて保管してください。

- !** モニターを開けたまま走行しないでください。急ブレーキ時に開いたモニターに体が当たったりして、思わぬけがをすることがあります。
- モニターが完全にオープン/クローズしないうちに、操作しないでください。操作した場合(CDなどを挿入、ボタンを押す) 安全のためモニターがその角度で停止することがあります。
- モニターを手で閉じたり、開けたりしないでください。モニターが損傷するおそれがあります。
- モニターを開けたとき、モニターにコップや缶などの物を置かないでください。モニターが損傷するおそれがあります。
- モニターにジュースなどをこぼしたときは、すぐに拭き取ってください。そのまま放置しておくで故障するおそれがあります。
- 熱やホコリからモニターを保護するため、ディスクを出し入れするとき以外は、モニターを閉じておいてください。

はじめに

ナビスタート

放送受信

音楽ディスク

DVD

オプション機器

AV設定

オーディオ設定

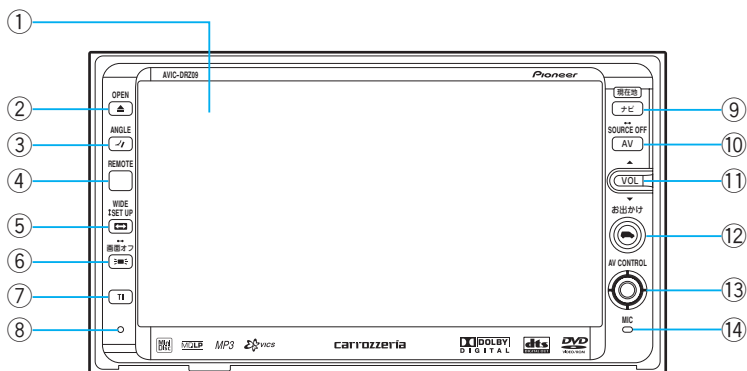
その他の機能

付録

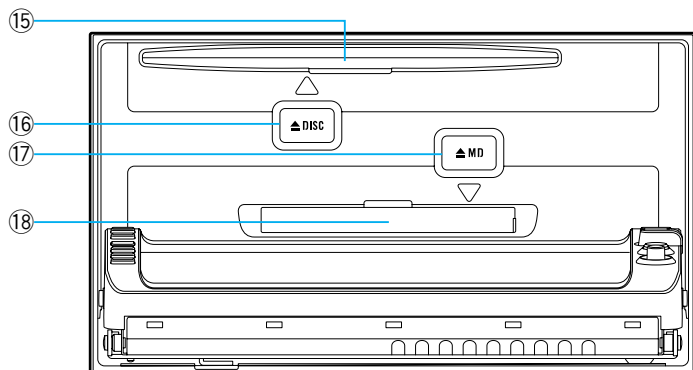
各部の名前とおもな働きを知る

■ AVIC-DRZ09

モニターを閉じた状態



モニターを開けた状態



- ① **液晶画面**
- ② **▲(オープン/クローズ) ボタン**
モニターを開いたり、閉じたりするときに押します。
- ③ **ㇿ(アングル) ボタン**
モニターの角度を調節するときに使います。
- ④ **リモコン受光部**
リモコンをここに向けて操作します。
- ⑤ **◀▶(ワイド/セットアップ) ボタン**
表示サイズを変更するときに使います。
2秒以上押すことにより、画質調整モードに入ります。
- ⑥ **⊗(画面オフ) ボタン**
2秒以上押すことにより、画面を消すことができます。また機能設定により、画面に連動してガイド音声をON/OFFすることもできます。
- ⑦ **「TI」 ボタン**
交通情報を受信します。
- ⑧ **リセットボタン**
- ⑨ **「ナビ」/現在地ボタン**
地図上に自分の車の位置を表示します。
またAVソース画面表示のときに押すと音声はAVソースのまま、映像がナビゲーションに切り替わります。
- ⑩ **「AV」 ボタン**
AVソースをONにして、AVソースを選びます。
2秒以上押すことにより、AVソースがOFFになります。
- ⑪ **「ボリューム」レバー**
上に倒すと音が大きく、下に倒すと音が小さくなります。
- メモ** • ガイド音声出力中および音声操作(認識)中は音量の調節ができません。解除された状態のときに操作してください。
- ⑫ **🚗(お出かけ) ボタン**
ナビゲーションで目的地を探したいときに使います。
- ⑬ **🎯(AVコントロール)**
曲の早送りや早戻し、放送局を選ぶ操作などに使います。
- ⑭ **音声認識用マイク**
このマイクに向かって発話してください。
- メモ** • 別売の音声確認用マイク「CD-VM10」(→P14)を本機に接続した場合は、内蔵のマイクは無効になります。
- ⑮ **ディスク挿入口**
DVDやCDなどを挿入します。
- ⑯ **▲DISC(イジェクト) ボタン**
ディスクを取り出すときに使います。
- ⑰ **▲MD(イジェクト) ボタン**
MDを取り出すときに使います。
- ⑱ **MD挿入口**
MDを挿入します。

はじめに

ナビスタート

放送受信

音楽ディスク

DVD

オプション機器

AV設定

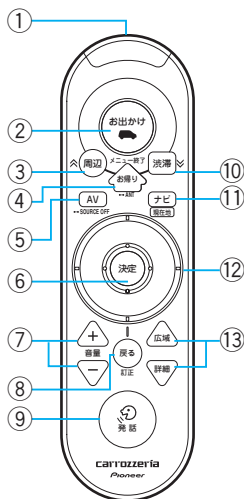
オーディオ設定

その他の機能

付録

各部の名前とおもな働きを知る

■ リモコン



① リモコン送信部

ここをリモコン受光部に向けて操作します。

② **🚗** (お出かけ) ボタン

ナビゲーションで目的地を探したいときに使います。

③ 「周辺」 ボタン

近くにあるガソリンスタンドなどの施設を探したいときに使います。



リスト画面表示中にこのボタンを押すと、リストのページ送りを行うことができます。(→P36)

④ 「お帰り」 ボタン

自宅へ帰るルートを探したいときに押します。



メニューなどを表示中に、このボタンを押すと、メニューを終了することができます。(→P34)

⑤ 「AV」 ボタン

AVソースをONにして、AVソースの画面に切り替えます。
2秒以上押すことにより、AVソースがOFFになります。

⑥ 「決定」 ボタン

項目の決定や機能の実行などに使います。



ショートカットメニューやAVソースの操作タッチキーやソースプレートを表示することができます。
ナビゲーション画面で「決定」ボタンを押すと、ショートカットメニュー(→P35)を表示することができます。

⑦ 音量ボタン

本機の音量を調節できます。



ガイド音声出力中および音声操作(認識)中は音量の調節ができないことがあります。
解除された状態のときに操作してください。

⑧ 「戻る」/訂正ボタン

ナビゲーションのメニュー操作で、1つ前の状態に戻りたいときに押します。
音声操作で、直前の音声操作を取り消すときに押します。



⑨ **🗣️** (発話) ボタン

音声で操作したいときに押します。

⑩ 「渋滞」 ボタン

渋滞情報などの交通情報を見たいときに使います。



リスト画面表示中にこのボタンを押すと、リストのページ送りを行うことができます。(→P36)

⑪ 「ナビ」/現在地ボタン

地図上に自分の車の現在地を表示します。

⑫ ユニバーサルパッド

地図を動かす(スクロールする)ときやメニューを操作するとき、AVソース画面でAV操作を行うときに使います。

⑬ 「広域」/「詳細」 ボタン

地図を広域または詳細にします。

操作のしかた

本機ではモニターやリモコンにあるボタンと共に、画面上に表示されるタッチキーで操作を行います。

はじめに

ナビスタート

放送受信

音楽ディスク

DVD

オプション機能

AV設定

オーディオ設定

その他の機能

付録

タッチキーでの操作のしかた

画面上に表示されるタッチキーに軽く触れる（タッチする）ことにより、操作を行います。



- 操作中に「ナビ」ボタンを押すと、いつでもナビゲーションの画面に戻すことができます。
- 画面は傷つきやすいので、必ず指で触れて操作してください。

ショートカットタッチキーにタッチして操作する

本機の走行画面上には、**周辺**、**渋滞**、**お好み**のタッチキーが表示され、それぞれのタッチキーにタッチすると、リモコンの同じ名称のボタンを押したときと同じように、各機能を操作することができます。



ショートカットタッチキー

また、その左側には、お好みの3つのジャンルをまとめて検索できるお好み周辺検索タッチキーの2つが表示され、タッチキーにタッチすると、お好み周辺検索を行うことができます。→「お好み周辺検索を使おう」(P49)



お好み周辺検索タッチキー

- 本機では、これらの5つのタッチキーをショートカットタッチキーと呼んでいます。また**メニュー**タッチキー、または「決定」ボタンを2秒以上操作することで、ショートカットタッチキーの表示をON/OFFすることができます。

タッチキーの再表示のしかた（映像ソース時）

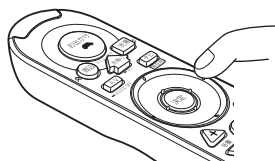
テレビやDVDビデオの映像のときに数秒間何も操作しないと、タッチキーは自動的に画面上から消えます。再表示するときは、画面にタッチするか、リモコンの「決定」ボタンまたはモニターの**OK**を押します。

リモコンでの操作のしかた

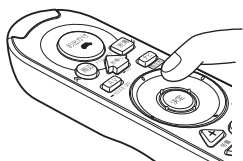
リモコン上に配置されたそれぞれのボタンとユニバーサルパッドにより、操作を行います。

■ ユニバーサルパッドの操作のしかた

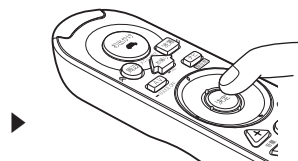
本書で「ユニバーサルパッドを右に操作する」と表記されているときは、ユニバーサルパッドの右側に触れます。「項目を選ぶ」と表記されているときは、ユニバーサルパッドに触れ項目を選択して「決定」ボタンを押します。



ユニバーサルパッドの
右側に触れる。



ユニバーサルパッドに触れ
項目を選択する。



「決定」ボタンを押す。

操作の表記

本書では、タッチキーにタッチする操作と、ユニバーサルパッドで選んで「決定」ボタンを押す操作が同様である場合に、「～を選ぶ」と表記しています。

同様でない場合や、独自の操作である場合は、「～にタッチする」や「「決定」ボタンを押す」などのように表記しています。

また同様の操作であっても、説明上わかりやすくするために、タッチキーでの操作を記載し、リモコンでの操作を **×モ** に記載している箇所もあります。

- ×モ** リモコンでの操作は、基本的にタッチキーの操作と同様です。各説明書では、タッチキーでの操作を中心に記載しており、リモコン操作はタッチキーの操作とは動作が異なる場合について記載しています。ただし、タッチキーで操作できても、リモコンで操作できないものもあります。

モニターを見やすい角度に調節する

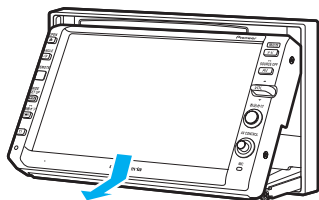
モニターの角度を調節して見やすくしたり、操作しやすくすることができます。



1 ♪(アングル) ボタンを押す

ボタンを押すごとにモニターの角度を調節できます。

ボタンを押し続けると、角度が最大のところで止まります。

角度が最大のところでボタンを押すと、モニターが閉じた状態に戻ります。



-  モニターの角度を調節するときは、指などを挟まないようにご注意ください。特にお子さまなどにはご注意ください。
-  車のエンジンスイッチをOFF（本機の電源をOFF）にすると、OFFにしてから数秒後にモニターが閉じます。もう一度車のエンジンスイッチをON（本機の電源をON）にすると、元の位置に戻ります。

はじめに

ナビスタート

放送受信

音楽ディスク

DVD

オプション機器

AV設定

オーディオ設定

その他の機能

付録

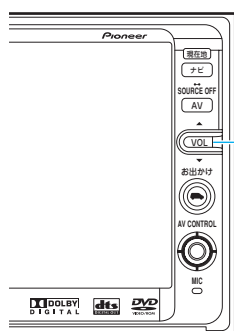
音量を調節する

音量調節のしかた

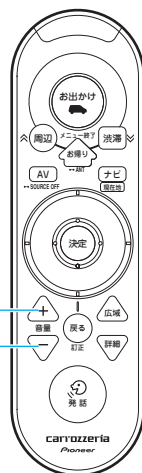
テレビやCDなどのAVソースの音量は、本機またはリモコンで操作します。

- ⚠️ 車外の音が聞こえにくいと、交通事故の原因となります。安全運転をさまたげないように適度な音量でお聞きください。
- メモ ガイド音声出力中および音声操作（認識）中は音量の調節ができません。解除された状態のときに操作してください。
- 5.1ch DSPユニットの設定がONになっているとき（DEQ-P9およびAXM-P9接続時）は、AXM-P9側で音量調節を行ってください。

1 ボリュームレバーまたは音量調節ボタンでAVソースの音量を調節する



「ボリューム」レバー



音量ボタン

- メモ ナビゲーションの案内音声や操作音の音量は、AVソースの音量とは別に調節します。詳しくは、『ナビゲーションブック』の「音量を調整する」を参照してください。
- ソース毎の音量の差を調節することもできます。詳しくは、「オーディオ設定を変更する」の「ソースレベルアジャスター設定」（→P87）を参照してください。

〈基本操作編〉

DVD [楽ナビ] の基本を覚えよう



近くの施設を探そう

周辺



渋滞情報を確認しよう

渋滞



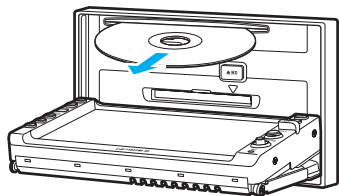
自宅へ帰ろう

お帰り



メモリーナビモードとは

本機はメモリーナビモードを搭載していますので、あらかじめ地図ディスクのデータを本機のメモリーに読み込んでおくことができ、地図ディスクを取り出して音楽CDやDVDビデオを再生しているときでも、ナビゲーションの機能を使うことができます。メモリーナビモードへの切り替えは、地図ディスクを取り出したときに行われます。



■ メモリーナビモード時のナビゲーションについて

メモリーナビモード時は、読み込んだメモリー上のデータのみで機能しますので、通常の地図ディスクを使用したナビゲーション（DVDナビモード）に比べ、いくつかの機能が制限されています。また、ガイド音声の声質が変わります。

メモリーナビモードは、自宅を登録したときにメモリーに登録されるホームエリア（→P38）とルート探索後にメモリーに読み込まれるルート周辺エリアのデータ（→P27）に基づきナビゲーションが行われます。

メモリーに読み込まれたデータは、車のACCをOFF（エンジンを切る）にしても消えません。

- メモリーナビモード時は、機能とエリアに制限があります。詳しくは、『ナビゲーションブック』の「メモリーナビモード時のナビゲーションについて」を参照してください。

メモリーナビモード（ルート周辺エリア）準備中/準備完了画面

ルートを探索して案内を開始すると、ルート周辺エリアのデータを読み込んでメモリーナビモードの準備をします。メモリーナビモードの準備中は「メモリーナビ準備中」が、準備が完了すると「メモリーナビ準備完了」が画面左上に表示されます。

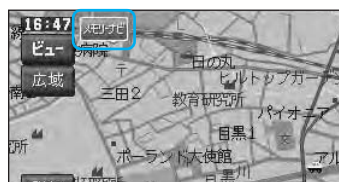


「メモリーナビ準備完了」が表示されている状態であれば、いつでも地図ディスクを取り出してメモリーナビモードで動作させることが可能です。

- メモリーナビモードの準備中に地図ディスクを取り出したいときは、▲DISC（イジェクト）ボタンを2秒以上押します。
- 「メモリーナビ準備中」または「メモリーナビ準備完了」にタッチするとルート周辺エリアの準備状況（現在地から準備完了地点までの距離など）を確認することができます。

メモリーナビモード中の地図画面

メモリーナビモードで動作しているときは、地図画面の左上に「メモリーナビ」が表示されます。



- 「メモリーナビ」にタッチするとルート周辺エリアの準備状況（現在地から準備完了地点までの距離など）を確認することができます。

はじめに

ナビスタート

放送受信

音楽ディスク

DVD

オプション機器

AV設定

オーディオ設定

その他の機能

付録

地図の見かたや操作を覚えよう

現在地を表示させる

「ナビ」ボタンを押すと、自分の車の現在地周辺の地図を表示します。

現在地画面は、車の走行に合わせて自動的に動きます。

■ 現在地画面

ノーマルビュー



- ※モ • 安全のため、走行中は細街路（灰色の細い道）は表示しない仕様となっています（細街路走行中を除きます）。
- 現在の時刻は、GPS衛星から受信した電波に基づいて表示しているため、時刻を変更することはできません。
- VICSの情報提供時刻は現在の時刻ではありません。
- VICS/FM多重放送による提供時刻は F、ビーコンによる提供時刻（別売のビーコンユニット接続時）は B で表示されます。

地図の動かしかた

地図を動かすには、地図上の見たい場所をタッチするか、ユニバーサルパッドを見たい場所の方向に操作して地図をスクロールします。
以下の操作は、タッチした場合で説明しています。

1 画面にタッチする

十字カーソルと **微調整** が表示されます。

- ✕モ **微調整** は、ノーマルビューの場合のみ表示されます。

十字カーソル



2 地図上の見たい場所にタッチする

タッチした場所が中心となるように地図が動きます。タッチし続けると、その方向にスクロールします。また、画面中央のカーソルから離れた場所にタッチするほど、スクロールする速度が速くなります。



3 **微調整** にタッチする

8方向のスクロール矢印が表示されます。



4 表示を微調整する

矢印にタッチするごとに地図が少しずつ動きます。また、画面の任意の場所をタッチしても地図が動きます。



- ✕モ リモコンのユニバーサルパッドを使ってスクロールすることもできます。
- もう一度 **微調整** にタッチすると、8方向の矢印が消えます。
- 画面にタッチしたまま指を動かし、スクロールすることもできます。
- 走行中は **微調整** の操作はできません。
- 走行中にスクロール操作をすると、タッチしたところまでスクロールして停止します。ただし、詳細市街地図表示中はスクロールできません。
- 微調整中でもユニバーサルパッドでのスクロールは通常通りにスクロールします。
- 走行中は、ユニバーサルパッドでのスクロールでは半画面分スクロールします。
- 「ナビ」ボタンを押すと、現在地周辺の地図に戻ります。

はじめに

ナビスタート

放送受信

音楽ディスク

DVD

オプション機器

AV設定

オーディオ設定

その他の機能

付録

■ スクロール画面

スクロール中



スクロール方面表示
地図のスケールを、
10m~1kmスケールに
している場合に表示され
ます。

スクロール停止



十字カーソル
画面の中心に
表示
されます。

現在地から十字
カーソル位置ま
での直線距離

現在地の方向
十字カーソル位
置と現在地を結
んだ線。

十字カーソル
位置の地名
十字カーソル位置
周辺の地名を示し
ます。

地図を広域・詳細にする

地図のスケールは、10m～500kmまでの範囲で変更することができます。

- 現在のスケールの地図上の距離は、スケールバーで確認することができます。
- 詳細市街地図収録エリアでは、地図のスケールが10m～50mスケールのときに詳細な市街地図で表示されます。10mスケール表示は、詳細市街地図収録エリアでのみ表示できます。詳細市街地図収録エリアについては、『ナビゲーションブック』を参照してください。
- メモリーナビモード時は、詳細市街地図の表示およびフリーズームはできません。また、表示できるスケールに制限があります。
- スケール表示タッチキー(→P32)を2秒以上タッチすると、**広域**・**詳細**タッチキーの表示/非表示を切り替えることができます。

広域・詳細 タッチキーを使う

1 広域または詳細にタッチする

タッチするたびに10m、25m、50m、100m、200m、500m、1km、2km、5km、10km、20km、50km、100km、200km、500kmのスケール表示が変わります。

- リモコンの「広域」、「詳細」ボタンを使って操作することもできます。
- **広域**や**詳細**をタッチし続けると、タッチしている間、スケールが連続的に変化します(フリーズーム)。ただし、走行中は安全のためフリーズームの操作はできません。



↑ **詳細**にタッチする
↓ **広域**にタッチする



スケールバー

現在のスケールの地図上の距離を示します。

はじめに

ナビスタート

放送受信

音楽ディスク

DVD

オプション機器

AV設定

オーディオ設定

その他の機能

付録

■ ダイレクトスケールタッチキーを使う

ダイレクトスケールタッチキーはタッチしたスケールで地図を表示します。

1 スケール表示タッチキーにタッチする

ダイレクトスケールタッチキーが数秒間表示されます。



スケール表示タッチキー

2 表示したいスケールのダイレクトスケールタッチキーにタッチする

タッチしたスケールで表示されます。

ダイレクトスケールタッチキー



地図の表示方法を変えてみよう

さまざまな状況に応じて地図の表示方法を変えることができます。

地図の表示方法は、5種類あります。

ノーマルビュー（2D表示）	通常の地図（平面の地図）で表示されます。
スカイビュー（3D表示）	上空から見ているような地図を表示します。
ドライバーズビュー（3D表示）	ドライバーの目線から見たような地図を表示します。
ツインビュー（2画面表示）	画面を左右2つに分割し、左画面はスカイビューまたはノーマルビュー、右画面はノーマルビューで表示します。
ハイウェイモード	有料道路走行時の専用画面で、走行に役立つ情報が表示されます。

- 各種類の詳細な情報は、『ナビゲーションブック』の「地図の表示方法を変える」を参照してください。

1 ビューにタッチする

ビュー切り替えメニューが表示されます。

- 現在地画面や、スクロール画面では「ナビ」ボタンを2秒以上押ししても、ビュー切り替えメニューを表示させることができます。

ノーマルビュー



スカイビュー ▼



2 表示方法を選んでタッチする

選んだ表示方法で地図が表示されます。

- メモリーナビモード時はドライバーズビュー、ツインビューを選ぶことはできません。また、ハイウェイモードはルートが設定されているときのみ動作します。
- ハイウェイモードは、有料道路上以外では選ぶことができません。

はじめに

ナビスタート

放送受信

音楽ディスク

DVD

オプション機器

AV設定

オーディオ設定


その他の機能



付録

メニュー操作の基本を覚えよう

本機の基本的な操作は、メニューから項目を選んで行います。

メニューを表示する

メニューには、モニターやリモコンの（お出かけ）ボタンを押したときに表示されるお出かけメニューと **メニュー** にタッチしたときやリモコンの「決定」ボタンを押したときに表示されるショートカットメニューがあります。

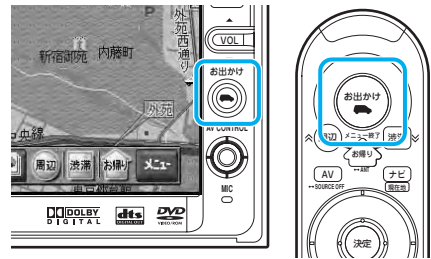
-  安全な場所に停車して、パーキングブレーキをかけてから操作してください。
-  各メニュー項目の内容は、『ナビゲーションブック』の「基本操作」を参照してください。
- お出かけメニューや周辺検索のメニューを表示すると、音声での操作もできるようになります。詳しくは「音声でナビゲーションを操作してみよう」（→P53）を参照してください。

■ お出かけメニューを表示させる

お出かけメニューは、「お出かけ」のときに行き先を探すなどの操作を行うことができます。簡単にルートを探索することができます。


1 モニターやリモコンの（お出かけ）ボタンを押す

お出かけメニューが表示されます。



2 検索の方法を選ぶ

各検索方法の画面が表示されます。

-  お出かけメニューについては、「お出かけメニューで利用できる検索方法」（→P44）を参照してください。
- メニューを終了するには、**戻る** にタッチするか、リモコンの「戻る」または「お帰り」ボタンを押します。



■ ショートカットメニューを表示させる

現在地(自車位置)または十字カーソル位置に対して、利用頻度の高い機能(ルート探索や場所の登録など)がショートカットメニューとして割り当てられています。

1 現在地画面またはスクロール画面で **メニュー** を選ぶ

ショートカットメニューが表示されます。

- メモ** リモコンの「決定」ボタンを押して表示させることもできます。
- 目的地の検索で地点を選択した場合にも、ショートカットメニューが表示されます。

現在地画面のとき



スクロール画面のとき



2 項目を選ぶ

選んだ項目を実行する画面が表示されます。

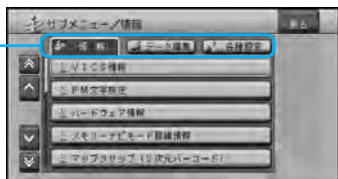
- メモ** 各メニュー項目の内容は、『ナビゲーションブック』の「基本操作」を参照してください。
- 地図スクロール** を選ぶと、スクロール画面(→P30)になります。
- ショートカットメニューは現在地画面またはスクロール画面で、選択できる項目が変わります。
- リモコンの「お帰り」ボタンを押すか、**戻る** にタッチするとメニューを終了させることができます。

■ サブメニューについて

ショートカットメニューの項目にある **サブメニュー** を選ぶと、機能ごとに分類された項目のリストが表示されます。タブにタッチするか、ユニバーサルパッドを左右に操作すると、分類を切り替えることができます。

サブメニュー画面

タブ



はじめに

ナビスタート

放送受信

音楽ディスク

DVD

オプション機能

AV設定

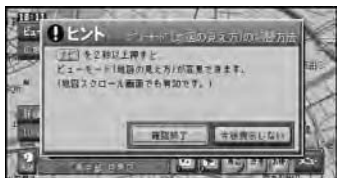
オーディオ設定

その他の機能

付録

ヒントポップアップについて

DVD [楽ナビ] では、操作中にその操作に関するヒントがポップアップ表示されることがあります。



表示されるヒントポップアップは、画面の状況により異なります。

確認終了：ヒントポップアップを消します。

今後表示しない：表示されたヒントポップアップを次回より表示しない設定にします。

- ✕モ • ヒントポップアップを全て表示しない設定にすることもできます。詳しくは、『ナビゲーションブック』の「ヒントポップアップについて」を参照してください。

リスト表示の画面操作

左横に◀・▲・▼・▶が表示されます。そのキーにタッチするか、リモコンの「周辺」、「渋滞」ボタンを押すことで見えていない項目を表示させることができます。

共通操作

カーソル送り：▲・▼またはリモコンのユニバーサルパッドを上下に操作する。

ページ送り：◀・▶またはリモコンの「周辺」・「渋滞」ボタンを押す。またはユニバーサルパッドを左右に操作する。



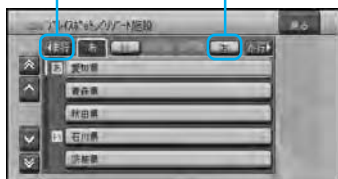
50音タブ付きリスト

都道府県名、市区町村名、地名などのリストでは、共通操作の他にタブをタッチするか、ユニバーサルパッドを左右に操作することで、50音(あいうえお…)の「あ」から「い」へ、などのように次の音へリストを送ることができます。また行送りタッチキーを直接タッチすることでその行のリストへ送ることができます。

タブ送り(あいうえお)：タブに直接タッチするか、ユニバーサルパッドを左右に操作する。



行送り(あかさたな)：行送りタッチキーにタッチする。

行送りタッチキー タブ





自宅を登録しておこう

本機を使い始める前に自宅の場所を登録しておきましょう。自宅の場所を登録しておくと、ドライブ先から自宅へ帰るときなど、簡単な操作でルートを設定できるようになります。

-  安全な場所に停車して、パーキングブレーキをかけてから操作してください。
-  すでに自宅が登録されている場合は、この操作では登録できません。『ナビゲーションブック』の「自宅を登録する」を参照してください。

1 自宅に車を停めて、 にタッチする

自宅登録確認画面が表示されます。

-  自宅以外の場所に車を停めて自宅を登録するときは、地図で十字カーソルを自宅に合わせて  にタッチします。
- お出かけメニュー(→P34)で「自宅」を選ぶか、リモコンの「お帰り」ボタンを押して操作することもできます。
- 地図が現在地画面になっていないときは、「ナビ」ボタンを押してから操作してください。



2 はいを選ぶ

自宅が登録されます。




3 はいを選ぶ

自宅の編集が行われました。引き続きお出かけ設定を行いますか？



4 決定を選ぶ

自宅を中心としてホームエリアが登録されます。

-  自宅の場所を変更したい場合は、『ナビゲーションブック』の「登録地の登録内容を変更する」を参照してください。



はじめに

ナビスタート

放送受信

音楽ディスク

DVD

オプション機器

AV設定

オーディオ設定

その他の機能

付録

ホームエリアについて

ホームエリアとは、メモリーナビモード用にあらかじめ地図データを読み込んでおくエリアです。手順4で **決定** を選ぶと、その地点を中心として周囲約30km四方が、ホームエリアとして登録され、本機のメモリーに地図データが読み込まれます。



〈ナビスタート編〉

DVD [楽ナビ] を使おう



近くの施設を探そう

周辺



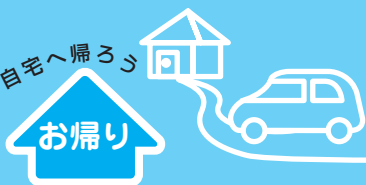
渋滞情報を確認しよう

渋滞



自宅へ帰ろう

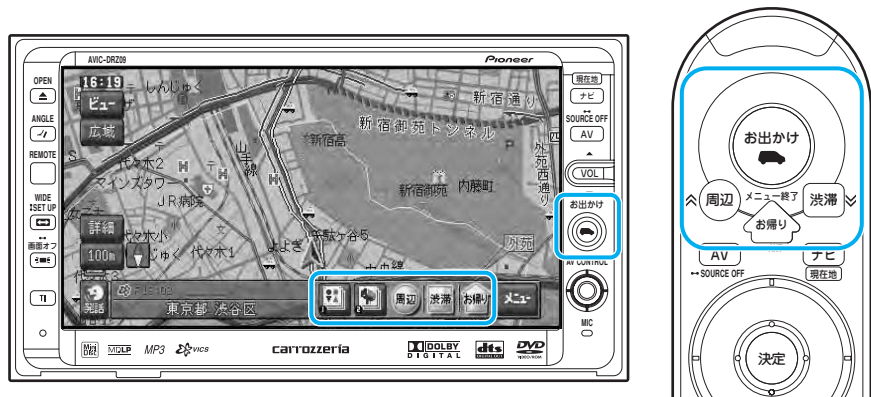
お帰り




DVD [楽ナビ] を使おう

DVD [楽ナビ] の特徴である「お出かけ」「お帰り」「周辺」「渋滞」の4つのボタンを使って、簡単に操作できます。




それぞれのボタンは、モニターやリモコンにあります。また画面上に表示されるそれぞれのショートカットキーにタッチしても、同様に操作することができます。




「お出かけ」ボタン (→P41)



 : 「お出かけ」ボタンを押すと、お出かけメニューが表示され、色々な方法で行き先を探ことができ、目的地としてルートを探ることができます。

「渋滞」ボタン (→P46)




 /  : ルート案内中に  にタッチまたは「渋滞」ボタンを押すと、案内中のルート上の渋滞情報を、地図表示と音声で確認することができます。

 **モ** • 渋滞情報は、ビーコンやFMの図形情報を表示するように設定することもできます。詳しくは『ナビゲーションブック』の「機能設定」を参照してください。



「周辺」ボタン (→P47)

 /  : 「周辺」ボタンでは、自車周辺約8km四方またはルート周辺前方両側約200m以内にあるお店や情報を施設別にリスト表示し、行き先や立ち寄り地として設定することができます。


お好み周辺検索 (→P49)


 /  : お好み周辺検索は、 または「周辺」ボタンと同じ機能ですが、それぞれのタッチキーに登録された3つのジャンルの施設だけを検索することができます。“周辺”のリストから“お好み周辺”を選ぶこともできます。

「お帰り」ボタン (→P51)

 /  : 自宅を登録しておけば、「お帰り」ボタンを使って、全国どこからでも簡単に自宅までのルート案内を行うことができます。

「お出かけ」ボタンで行き先を探そう

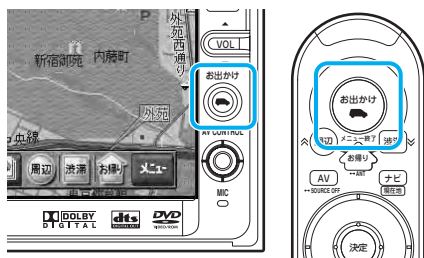
 (お出かけ) ボタンを押すと、お出かけメニューが表示され、色々な方法で行き先を探ることができます、目的地としてルートを探索することができます。


-  お出かけメニューで利用できる検索方法、ルート探索後のルート確認画面の詳しい使いかたについては『ナビゲーションブック』を参照してください。



1 モニターまたはリモコンの (お出かけ) ボタンを押す

行き先を探すためのお出かけメニューが表示されます。




-  これ以降の操作は、音声操作で行うこともできます。音声操作については、「音声操作を覚えよう」(→P52)を参照してください。

2 検索方法(例: **ジャンルリスト**)を選ぶ

選んだ行き先を探す方法の、それぞれ最初の画面が表示されます。

ここでは例として「ジャンルリスト」で探す方法で説明します。



-  「ジャンルリスト」以外の方法で行き先を探す場合は、「お出かけメニューで利用できる検索方法」(→P44)を参照してください。

はじめに

ナビスタート

放送受信

音楽ディスク

DVD

オプション機器

AV設定

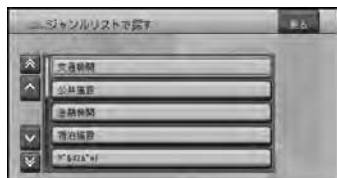
オーディオ設定

その他の機能

付録

「お出かけ」ボタンで行き先を探そう

3 ジャンルを順に選ぶ



4 順に所在地や路線などを選ぶ



5 ▲・▼ にタッチするか、ユニバーサルパッドを上下に操作して候補の施設にカーソルを合わせる
カーソルを合わせた施設の周辺付近の地図が画面右側に表示されます。

カーソル



6 施設（行き先）を選ぶ

選んだ候補が画面全体に地図表示され、ショートカットメニューが表示されます。



7 ここへ行く を選ぶ

ルート探索が開始されます。



メモ ルート探索中は、右の画面が表示され、探索が終了すると探索結果の画面が表示されます。





8 案内開始 を選ぶ

行き先までのルートが設定されると、設定ルートは明るい緑色で表示されます。(細街路はピンク色、有料道路は明るい青色で表示されます。)



9 車を発進させる

パーキングブレーキを解除して走行を始めると、ルート案内が始まり、目的地付近に到着すると自動的に終了します。

-  安全のため、運転者は走行中に操作しないでください。
- 実際の交通規則に従って走行してください。
-  設定したルートは、車のACCをOFF（エンジンを切る）にしても記憶しています。
- 案内中のルートを消去したいときは、お出かけメニュー（→P34）から **ルート消去** → **はい** の順に操作します。

はじめに

ナビスタート

放送受信

音楽ディスク

DVD

オプション機器

AV設定

オーディオ設定

その他の機能

付録

「お出かけ」ボタンで行き先を探そう

お出かけメニューで利用できる検索方法

●住所

行き先の住所を入力して検索します。

例：東京都港区赤坂1-X-X



●電話番号

行き先の電話番号を入力して検索します。

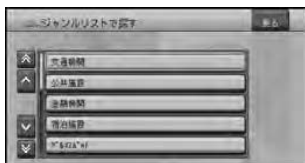
例：031234XX00



●ジャンルリスト

行き先のジャンル（交通機関、公共施設など）から検索します。

例：交通機関、公共施設



●ジャンルワード

行き先のジャンルに関連するキーワード（ひらがな）を入力して検索します。

例：かーようひん



●名称

行き先の名称をひらがなで入力して検索します。ジャンルやエリアを指定して検索することもできます。

例：とうきょうでいずにーらんど



●マップコード／緯度経度

マップコードを入力して該当する地図から検索します。

例：10203040

- メモ** ● **緯度経度** を選ぶと、行き先の緯度経度を入力して検索することができます。



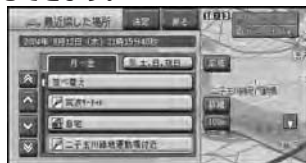
●登録した場所（登録されている場合）

登録してある場所から検索します。日付順や自転車位置に近い順、よみなどで登録地を検索することもできます。



●最近探した場所（履歴がある場合）

今までに検索した場所の履歴から検索します。日付順や自転車位置に近い順で検索することもできます。



●自宅（登録されている場合）

自宅を行き先として検索します。

■ ルート案内中の画面

目的地まで誘導させるルートが設定されている場合に表示されます。

ルート

設定したルートは、一般道路は明るい緑色（細街路はピンク色、有料道路は明るい青色）で表示されます。

ルートインフォメーション

2つ先までの案内地点の距離、進行方向、次の案内地点の交差点名称が表示されます。

目的地の方向

現在地と目的地を結んだ線。



交差点名

レーン案内表示

方面看板表示

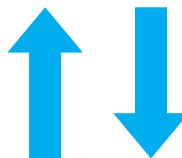
目的地までの道のり距離と到着

予想時刻

立寄地までの距離・時間にすることもできます。

交差点から離れると
現在地画面に戻ります。

現在地画面



交差点に近づく
と交差点案内画面
が変わります。

交差点案内画面

ドライバーズビュー※

レーン案内表示

レーンごとの進行方向が表示されます。



ランドマーク

信号や目印になるお店などが表示されます。

ウィンドウマップ

ノーマルビューの地図が表示されます。

※ ルートインフォメーションにタッチすると案内地点をガイド音声で案内します。

※ メモリーナビモード時は、ドライバーズビューではなく、交差点拡大図表示となります。

はじめに

ナビスタート

放送受信

音楽ディスク

DVD

オプション機器

AV設定

オーディオ設定

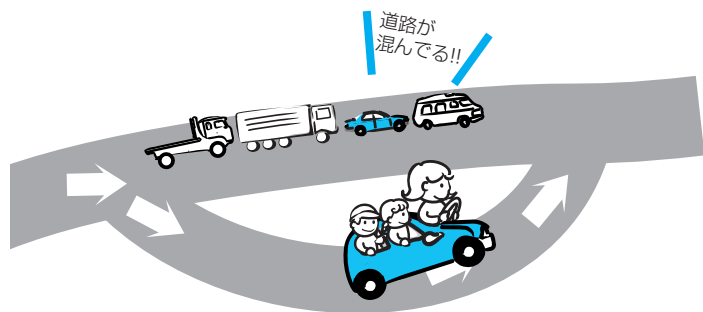
その他の機能

付録

「渋滞」ボタンで渋滞情報を確認しよう

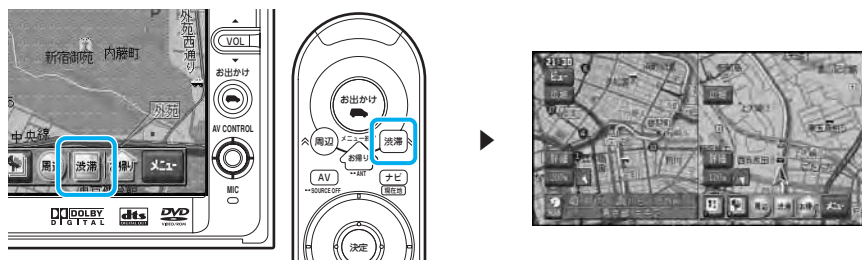
「渋滞」ボタンでは、ルートが設定されている場合、ルート上の渋滞情報（VICIS）をレベル3（地図）とガイド音声で確認することができます。

メモ • VICISに関して、詳しくは『ナビゲーションブック』を参照してください。



ルート案内中に渋滞情報を確認しよう

1 **渋滞** にタッチするか、リモコンの「渋滞」ボタンを押す



現在の自車位置が右画面に、ルート上の渋滞情報が左画面に表示されます。

- ルート案内していないときは、**渋滞** にタッチまたは「渋滞」ボタンを押しても、“ブツ”と音となり、渋滞情報は確認できません。
- **渋滞** にタッチまたは「渋滞」ボタンを押すたびに、ルートの先の渋滞情報を表示することができます（最大5カ所まで）。
- 渋滞情報がないときまたは渋滞情報を受信していないときは、“この先しばらく渋滞情報はありません”とアナウンスされます。
- メモリーナビモード時は、1画面で表示されます。

「周辺」ボタンで近くの施設を探そう

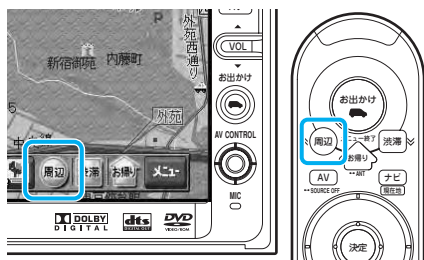
「周辺」ボタンでは、自車周辺約8km四方またはルート周辺前方両側約200m以内にあるお店や情報を施設別にリスト表示し、行き先や立ち寄り地として設定することができます。

- メモ スクロール中は、カーソル位置周辺約8km四方の検索となります。
- ルート探索後のルート確認画面の詳しい使い方については『ナビゲーションブック』を参照してください。



1 「周辺」にタッチするか、リモコンの「周辺」ボタンを押す

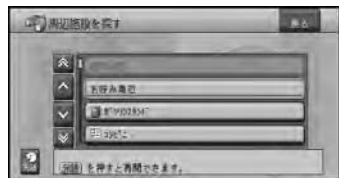
ジャンルを選ぶための周辺検索リストが表示されます。周辺検索リストから、表示したい周辺の施設を選びます。



- メモ これ以降の操作は、音声操作で行うこともできます。音声操作については、「音声操作を覚えよう」(→P52)を参照してください。

2 表示したい施設を選ぶ

選んだ施設をさらに詳細に絞り込む(チェーン店など)ためのリスト画面が表示されます。



3 全選択を選ぶ

選んだ施設に該当する情報がある場合、施設をさらに詳細に絞り込んでいきます。検索の結果がリスト表示されます。

- メモ 周辺に選んだ施設がない場合は、「この周辺のデータがありません」とメッセージが表示されます。



つづく >>

はじめに

ナビスタート

放送受信

音楽ディスク

DVD

オプション機器

AV設定

オーディオ設定

その他の機能

付録

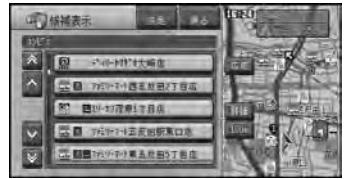
「周辺」ボタンで近くの施設を探そう

- 4** ▲・▼にタッチするか、ユニバーサルパッドを上下に操作して候補の施設を選び
選んだ施設が画面右側に表示されます。



- メモ** • リストは、自車位置あるいはカーソル位置から近い順に表示されます。

- 5** 施設名または **決定** にタッチするか、「決定」ボタンを押す
選んだ候補が画面全体に地図表示され、ショートカットメニューが表示されます。



- 6** **ここへ行く** を選ぶ
ルート探索が開始されます。






- 7** **案内開始** を選ぶ
行き先までのルートが設定されると、設定ルートは明るい緑色で表示されます。(細街路はピンク色、有料道路は明るい青色で表示されます。)







- 8** 車を発進させる
パーキングブレーキを解除して走行を始めると、ルート案内が始まり、目的地付近に到着すると自動的に終了します。

- !** • 安全のため、運転者は走行中に操作しないでください。
• 実際の交通規則に従って走行してください。
- メモ** • 案内中のルートを消去したいときは、お出かけメニュー (→P34) から **ルート消去** → **はい** の順に操作します。
• 検索したジャンルのロゴマークが地図上に表示されます。ロゴマークを消したいときは、**周辺** または「周辺」ボタン → **結果消去** の順に操作します (車のACCをOFF (エンジンを切る) にしても消えます)。

お好み周辺検索を使おう




  お好み周辺検索は、 または「周辺」ボタンと同じ機能ですが、それぞれのタッチキーに登録された3つのジャンルの施設を同時に検索することができます。



-  お好み周辺検索には、あらかじめ次の施設が登録されています。
 -  (お好み周辺1)：トイレ、ガソリンスタンド、コンビニ（トイレ関係）
 -  (お好み周辺2)：ファミリーレストラン、ファストフード、コンビニ（食事関係）
- お好み周辺検索に登録されている施設は、お好みに応じて変更することができます。詳しくは、『ナビゲーションブック』を参照してください。
-  / 「周辺」ボタンのリストから **お好み周辺** を選んで操作することもできます。

お好み周辺検索で周辺の施設を検索して、ルート探索しよう

お好み周辺検索は、自車の現在位置やルート周辺で登録してある3つのジャンルを同時に検索することができます。

-  または  にタッチする
選んだグループでお好み周辺検索が実行され、検索結果画面が表示されます。
-  リモコンで操作する場合は「周辺」ボタンを押してリストから **お好み周辺** を選んでから、**お好み周辺1** または **お好み周辺2** を選びます。



2 次の施設 または 前の施設 にタッチして目的の施設を選ぶ



最も近い施設が表示されます。次の操作で他の施設を選ぶことができます。

次の施設 : 次に近い施設を表示します。

前の施設 : ひとつ前に表示した施設を表示します。

自転車周辺 : ルート案内中でルート沿いに施設がある場合に、自転車周辺検索を行います。

ルート周辺 : 自転車周辺検索を行った場合に表示され、ルート周辺検索を行います。

3 ここへ行く を選ぶ

ルート探索が開始されます。



- メモ** • すでにルート案内中で、立ち寄り地が5件未満のときは、**ここへ立寄り** を選ぶことができ、行き先はそのまま立ち寄り地として、選んだ施設を設定することができます。

4 案内開始 を選ぶ

行き先までのルートが設定されると、設定ルートは明るい緑色で表示されます。(細街路はピンク色、有料道路は明るい青色で表示されます。)



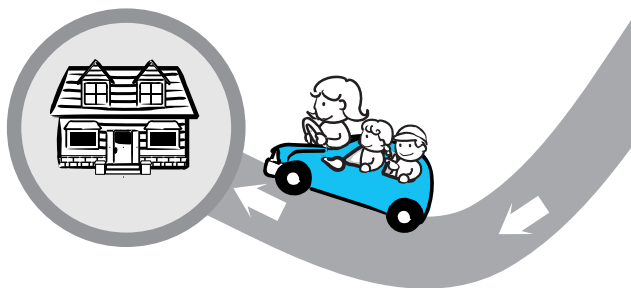
5 車を発進させる

パーキングブレーキを解除して走行を始めると、ルート案内が始まり、目的地周辺に到着すると自動的に終了します。

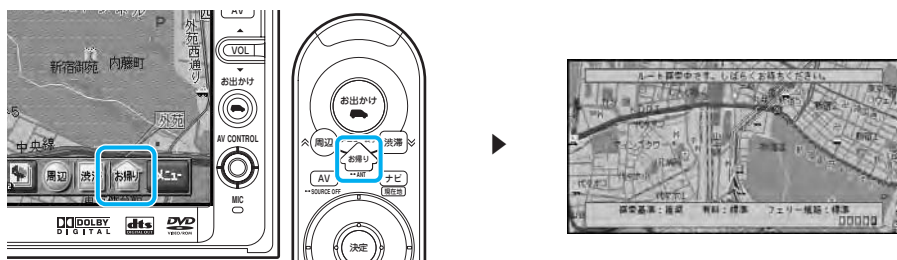
- !** • 安全のため、運転者は走行中に操作しないでください。
- 実際の交通規則に従って走行してください。
- メモ** • 案内中のルートを消去したいときは、お出かけメニュー (→P34) から **ルート消去** → **はい** の順に操作します。
- 検索したジャンルのロゴマークが地図上に表示されます。ロゴマークを消したいときは、**周辺** または「周辺」ボタン→ **結果消去** の順に操作します(車のACCをOFF(エンジンを切る)にしても消えます)。

「お帰り」ボタンで自宅へ帰ろう

自宅を登録しておけば、「お帰り」ボタンを使って、全国どこからでも簡単に自宅までのルート案内を行うことができます。



1 お帰りにタッチするか、リモコンの「お帰り」ボタンを押す



自宅までのルート探索が開始され、終了すると自動的に案内が開始されます。

- 他の目的地にルート案内中の場合は、確認のメッセージが表示されます。 **はい** を選ぶと、自宅までのルート探索を開始します。

2 車を発進させる

パーキングブレーキを解除して走行を始めると、ルート案内が始まり、自宅付近に到着すると自動的に案内を終了します。

- ⚠️ 安全のため、運転者は走行中に操作しないでください。
 - 実際の交通規則に従って走行してください。
- 案内中のルートを消去したいときは、お出かけメニュー (→P34) から **ルート消去** → **はい** の順に操作します。

はじめに

ナビスタート

放送受信

音楽ディスク

DVD

オプション機器

AV設定

オーディオ設定

その他の機能

付録



音声操作を覚えよう

音声で、ナビゲーションを操作したりAVソースを操作することができます。

- メモ** • ここで紹介しているほかの音声操作や、発話できる音声認識語について詳しくは、『ナビゲーションブック』の「音声操作」を参照してください。

音声操作の基本

■ 発話するタイミング

発話するときには、“ピッ”と音が鳴って画面のキャラクターが、マイクを差し出してから発話してください。キャラクターがマイクを差し出していないときやキャラクターが表示されていないときは、にタッチするか、 (発話) ボタンを押すと、発話できる状態になります。

この状態のとき発話してください。



この状態のときは、発話しても認識されません。



操作に慣れるまでは、安全な場所に停車して、発話のタイミングをつかむ練習をしてください。

- メモ** • 音声操作を行うには、発話を正しく認識させる必要があります。そのために、以下の点に注意してください。
- 自動車の窓は閉めておく
 - エアコンの風量を下げる
 - はっきりと明瞭に発話する
 - 音声認識語を正しく発話する
 - 音声案内中は発話しない
 - ナビゲーションのメニューを表示しているときなどは、音声操作を受け付けられない場合があります。
 - 音声操作を開始すると、自動的に本機の音量が下がります。
 - 本機の設置位置などにより、モニター内蔵のマイクでは音声認識しにくい場合は、音声認識用マイク「CD-VM10」（別売）をお使いください。

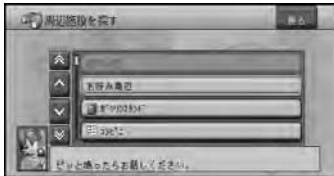
音声でナビゲーションを操作してみよう

以下の操作を行うと、音声操作を開始できます。
本機では、次の音声操作が用意されています。

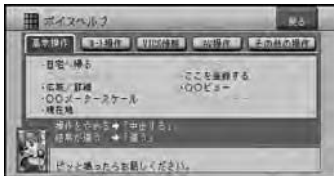
 (お出かけ) ボタンを押してお出かけメニューを表示したとき




 にタッチまたは「周辺」ボタンを押して周辺メニューを表示したとき



 にタッチまたは  (発話) ボタンを押したとき



-  停車中はボイスヘルプ（発話できる音声認識語の一覧）が表示されます。
- スクロール画面で **メニュー** にタッチするか、「決定」ボタンを押したときも音声操作が可能です。

はじめに

ナビスタート

放送受信

音楽ディスク

DVD

オプション機能

AV設定

オーディオ設定

その他の機能

付録

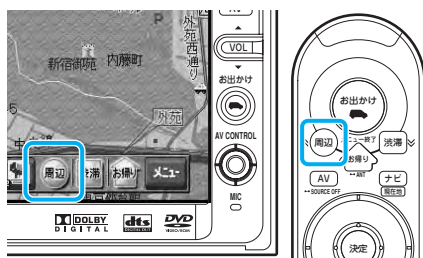
音声操作を覚えよう

① または「周辺」ボタンを操作して、音声操作を行う方法を例に説明します。

■ 音声操作で周辺施設を探す

1 ①にタッチするか、リモコンの「周辺」ボタンを押す

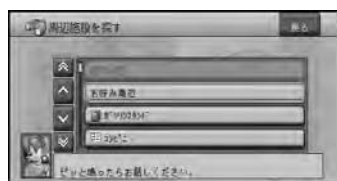
周辺メニューが表示され、音声で操作できる状態になります。



- ② 音声認識語については、『ナビゲーションブック』の「音声操作」を参照してください。
- ③ にタッチするか、④ (発話) ボタンを押して、“周辺”と発話しても周辺メニューを表示させることができます。

2 “ピッ”と音が鳴ったら、“コンビニ”（音声認識語）と発話する

周辺のコンビニが検索されます。



“ここからはタッチキーまたはリモコンで操作してください。”と言われたら

音声操作から通常の操作に切り替わりましたので、画面のタッチキーやリモコンで操作を続けてください。

発話しても認識されなかったり、言い間違えたときや、操作を戻したりやめたりするときは

以下のように発話します。

“違う”と発話する → 1つ前の画面に戻り、もう一度発話できる状態になります。

“中止する”と発話する → 音声操作を中止します。

〈AV編〉

テレビ/ラジオ/交通情報・
音楽ディスク・DVD・オプション機器



近くの施設を探そう

周辺



渋滞情報を確認しよう

渋滞



自宅へ帰ろう

お帰り



AVソースの選びかた

■ 安全走行のために

本機は、安全のため走行中にテレビやDVDビデオなどの映像を見ることができないようになっています。安全な場所に停車してパーキングブレーキをかけてから映像を楽しんでください。

AVソースを選ぶ

AVソースをONにして、テレビやラジオなどのAVソース選びます。

■ 「AV」 ボタンでソースを選ぶ

1 「AV」 ボタンを押す

ボタンを押すごとに以下のように切り替わり、それぞれのAVソース画面が表示されます。

DVD・CD/MP3→MD→FM/AM→
テレビ→VTR→マルチCD→EXT1→
EXT2→DVD・CD/MP3に戻る

AVソース画面（例：TV）



- ※メモ 「AV」 ボタンを2秒以上押すと、AVソースをOFF（→P57）にすることができます。
- TVやDVDなど映像ソースの場合は、しばらくすると映像に切り替わります。映像画面にタッチするとAVソース画面が再度表示されます。

- ※メモ 接続していないソースや再生の準備ができていないソースには切り替わりません。
- EXT1、EXT2は、CDチェンジャー以外のIPバス機器（エクスターナルユニット）のためのソースです。本機では2台のエクスターナルユニットをコントロールすることができます。
- マルチDVDプレーヤー「XDV-P9II」など、本機でコントロール可能な映像ソースのIPバス機器を接続したときは、**AV機能設定**の**映像入力設定**を**EXT**に切り替えます。→「AV機能設定を変更する」（P82）
- VTRなど、本機でコントロールしない映像機器を接続したときは、**AV機能設定**の**映像入力設定**を**VTR**に切り替えます。→「AV機能設定を変更する」（P82）

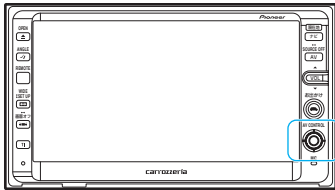
■ AVソース選択メニューでAVソースを選ぶ

AVソース選択メニューを表示させてAVソースを選ぶこともできます。

1 AVソース選択メニューを表示させる

●ナビゲーション画面のとき

🎯を押す



●AVソース画面のとき

AVソース名にタッチする

AVソース名



2 AVソースを選ぶ



- メモ ● **ソースOFF** を選ぶと、AVソースをOFFにすることができます。
- **TI** を選ぶと、交通情報 (→P61) に切り替わります。

ナビゲーション画面に切り替える

AVソースの音声はそのまま、画面だけをナビゲーション画面に切り替えることができます。

1 本機やリモコンの「ナビ」ボタンを押す

- メモ ● ナビゲーション画面のときに「AV」ボタンを押すと、AVソース画面に切り替わります。
- ナビゲーション画面のときに🎯でAVソースの操作をするとソースプレートが数秒間表示されます。

ソースプレート (例: TV)



- AVソース画面やソースプレートに、時計やメモリーナビの状態を表示させることができます。→「AV機能設定を変更する」(P82)

AVソースをOFFにする

1 「AV」ボタンを2秒以上押すか、AVソース選択メニュー (→P57) で **ソースOFF** を選ぶ

ソースがOFFになります。

もう一度「AV」ボタンを押すと、OFFにする前のソースに戻ります。

はじめに

ナビスタート

放送受信

音楽ディスク

DVD

オプション機器

AV設定

オーディオ設定

その他の機能

付録

テレビの見かた/ラジオの聴きかた

- ⚠ 停車中でパーキングブレーキがかかっているときに、テレビ映像を見ることができます。走行中は安全のため、テレビ映像は表示されません。
- 地上デジタルテレビジョン放送は、本機で受信することはできません。
- 地上デジタルテレビジョン放送については、別添えの「地上デジタルテレビジョン放送について」をご覧ください。

テレビやラジオの放送を受信する

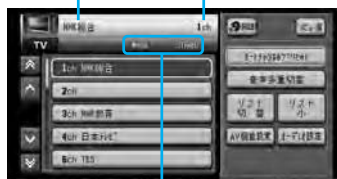
テレビやラジオにAVソースを切り替えます。

- 1 「AV」ボタンを押すか、AVソース選択メニュー（→P57）から **TV** または **RADIO** を選ぶ
前回受信していた放送局を受信します。

- メモ 地図ディスクに記録された自転車位置付近の放送局と、オートチャンネルプリセット（→P60）で記憶された放送局が、リストに表示されます。
- テレビのAVソース画面は約8秒で消えます。もう一度AVソース画面を表示したいときは、画面にタッチするか、「決定」ボタンまたは **OK** を押します。
- トンネル内や山かげ、ビルの谷間など、電波がさえぎられやすい場所、電波の弱い地域では、感度が悪くなる場合があります。
- リスト表示されても、現在地の環境や電波状況によって、受信できない場合があります。
- 「AV」ボタンを2秒以上押すか、AVソース選択メニュー（→P57）で **ソースOFF** を選ぶとAVソースをOFFにすることができます。

テレビの放送局を選ぶ

- 1 テレビ映像のときに、画面にタッチする
- 2 放送局名（またはチャンネル名）を選ぶ
放送局名 現在選局中のチャンネル



ステレオ/音声多重放送表示

- メモ AVソース画面をすぐに消したいときは、**メニュー消** を選びます。
- 停車中に **リスト小** を選ぶと、リストの表示を小さくし、映像を確認しながら選局できます。リストの表示を戻すときは、**リスト大** を選びます。
- ステレオ放送を受信した場合は、[STEREO] が表示され、音声多重放送を受信した場合は、[BILINGUAL] が表示されます。

テレビ映像やナビゲーション画面のときは

テレビ映像やナビゲーション画面のときは、**OK** で放送局を選ぶことができます。

- OK**：放送局リストを順に送ります。
- 方向キー**：チャンネルを順に送ります。
- 方向キー (2秒以上倒す)**：受信できる放送局を自動的に探します（SEEK）。

- メモ テレビ映像のときは、ユニバーサルパッドでも同様な操作ができます。

■ 音声多重放送の音声を切り替える

音声多重放送（2カ国語放送など）を受信しているときは、主音声と副音声を切り替えることができます。

1 音声多重を選ぶ


選ぶごとに、以下のように切り替わります。
MAIN→SUB→MAIN+SUB→MAINに戻る

MAIN : 主音声

SUB : 副音声


MAIN+SUB : 主・副音声

■ ナビゲーション画面のときは

ナビゲーション画面のときは、で放送局を選ぶことができます。



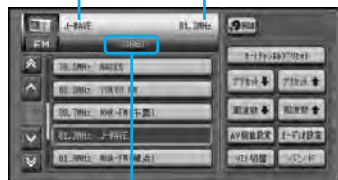
：周波数を順に送ります。

（2秒以上倒す）：離れた位置から受信できる放送局を自動的に探します（SEEK）。


ラジオの放送局を選ぶ

1 放送局名（または周波数）を選ぶ

放送局名 現在選局中のチャンネル



ステレオ

-  **バンド** を選ぶと、FMとAMを切り替えることができます。
- 周波数↓** または **周波数↑** を選ぶと、周波数を順に送ることができます。
- 周波数↓** または **周波数↑** を2秒以上選び続けると、離れた位置から受信できる放送局を自動的に探します（SEEK）。
- プリセット↓** または **プリセット↑** を選ぶと、放送局リストを順に送ることができます。
- FMステレオ放送を受信した場合は、[STEREO] が表示されます。

プリセット番号で選ぶ


手動で記憶した放送局（→P60）をプリセット番号から呼び出します。

1 リスト切替を選ぶ



2 呼び出したいプリセット番号を選ぶ



-  もう一度 **リスト切替** を選ぶと、元のリストを表示することができます。

はじめに

ナビスタート

放送受信

音楽ディスク

DVD

オプション機器

AV設定

オーディオ設定

その他の機能

付録

放送局の自動記憶

受信状態の良い放送局をリストの放送局と入れ替えます(オートチャンネルプリセット)。

- 1 **オートチャンネルプリセット** を2秒以上選ぶ



自動記憶が終了します。

- メモ** • **中止** にタッチするか、「決定」ボタンを押すと、オートチャンネルプリセットを中断します。
- テレビは12局、ラジオはFMとAMに各6局まで、入れ替えることができます。
- テレビの映像画面では \odot を2秒以上押し続けて操作することもできます。

プリセット番号に記憶する

テレビは12局、ラジオはFMとAMに各6局まで、プリセット番号に記憶させることができます(マニュアルプリセット)。

- 1 記憶させたい放送局を選ぶ (→P58～P59)
- 2 **リスト切替** を選ぶ



- 3 記憶させたいプリセット番号をピッと鳴るまで選び続ける



現在受信中の放送局が、選んだプリセット番号に記憶されます。

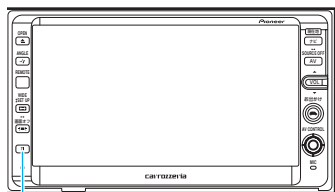
- メモ** • 記憶させた放送局の呼び出しかたは、「プリセット番号で選ぶ」(→P59)を参照してください。

交通情報の聴きかた

交通情報の受信周波数 AM1,620kHz、1,629kHzを簡単に受信することができます。

交通情報を受信する

1 本機の「TI」ボタンを押す



「TI」ボタン



前回聞いた周波数の交通情報を受信します。

2 ④を左右に倒す

交通情報の受信周波数が切り替ります。

- AVソース選択メニュー (→P57) の **TI** を選んで受信することもできます。
- ナビゲーション以外の画面から交通情報に切り替えた場合は、交通情報画面が表示されます。



1620kHz : 1620kHzで受信します。

1629kHz : 1629kHzで受信します。

TI OFF : 交通情報を受信する前のソースに戻ります。

交通情報の受信をやめる

- ### 1 もう一度「TI」ボタンを押す
- 交通情報を受信する前のソースに戻ります。

- 交通情報を受信しているときに、音量を調節すると、交通情報用の音量として設定することができます。別のソースに切り替えて音量を調節しても、次に交通情報を受信するときは、前回設定した音量で聞くことができます。
- 交通情報画面の **TI OFF** を選んでも前のAVソースに戻ることができます。

はじめに

ナビスタート

放送受信

音楽ディスク

DVD

オプション機器

AV設定

オーディオ設定

その他の機能

付録

音楽ディスクの聴きかた

再生する

CD、MP3、MDなどの音楽ディスクを再生するには、次のようにします。

1 ディスクを挿入する (→P16)

- すでにディスクがセットしてあるときは、「AV」ボタンを押すか、AVソース選択メニュー (→P57) からCD/MP3、MDソースに切り替えます。
- MDの場合は、手順3に進んでください。
- ディスクの判別などを行うため、手順2の画面が表示されるまでに時間がかかります。特にCD-RWディスクはより時間がかかります。
- 「AV」ボタンを2秒以上押すか、AVソース選択メニュー (→ P57) で **ソースOFF** を選ぶとAVソースをOFFにすることができます。

2 はいを選ぶ



3 聴きたい曲を選ぶ

●例：MP3の場合

ファイルNo./ファイル名※¹
フォルダーNo./フォルダー名※¹



フォルダーマーク
再生中ファイルの経過時間

CD/MP3、MD共通操作

- ◀▶ : トラック/ファイル操作
- ◀▶ (2秒以上選ぶ) : 早送り/早戻し
- ⏏ : 停止 (CD/MP3のみ)
- ⏏ : 一時停止/再生
- 📁 (フォルダー) : 選択フォルダー内のファイルの再生 (MP3のみ)
- ⬆️ : 1つ上のフォルダー内のファイルの再生 (MP3のみ)
- 📄 (ラストポジション) : 前回と同じ位置から再生 (DVD・CD/MP3のみ) → 「ラストポジション機能を使う」 (P76)

ナビゲーション画面のときは、📄で次の操作をすることができます。

- ◀▶ : トラック/ファイル操作
- ◀▶ (2秒以上倒す) : 早送り/早戻し
- 📄 : フォルダー操作 (MP3のみ)

- ※¹MP3では、ID3 Tag情報を取得できた場合、ディスク名、タイトル名が表示されます。リストには、ID3 Tag情報に関係なく、常にファイル名またはフォルダー名が表示されます。
- MP3について詳しくは、「MP3ディスクについて」 (→P96) をご覧ください。

●CDの場合



●「CD TEXT」ディスクの場合



- メモ 「CD TEXT」ディスクの場合、取得できたタイトル情報が表示されます。
- 「CD TEXT」ディスクとは、CDのタイトルやアーティスト名などの文字情報が収録されているCDのことです。詳しくは、ディスクのパッケージ等をご覧ください。



●MDの場合



- メモ 表示できる文字数に制限があるため、取得したタイトルが長い場合、全て表示できない場合があります。また、半角、全角の混在は表示できません。
- 一部、表示できない文字があります。

MDLPIについて

- 本機はMDLPIに対応しています。長時間録音されているMDも再生することができます。MDLPとは、今までお使いになっているMDで、従来の録音できる時間より長く(2倍、4倍の時間)録音することができる圧縮方式です。

詳細情報を表示する (MP3)

MP3では現在再生中の曲の詳細情報を見ることができます。

1 詳細情報 を選ぶ



ID3 Tagの情報がある場合には、現在再生中の曲の詳細情報(ディスク名、トラック名、フォルダー名、ファイル名、アーティスト名、ジャンル名、発売年)が表示されます。

戻る を選ぶと元の画面に戻ります。

はじめに

ナビスタート

放送受信

音楽ディスク

DVD

オプション機能

AV設定

オーディオ設定

その他の機能

付録

いろいろな再生操作

■ リピート再生

繰り返して聴く再生範囲を指定します。

1 **リピート** を選ぶ



選ぶごとに、リピートの範囲が以下のように切り替わります。

●CD、MD

OFF ↔ TRACK-REPEAT

●MP3

OFF → TRACK-REPEAT

→ FOLDER-REPEAT → OFFに戻る

OFF :

通常の再生状態です。再生中のディスクを繰り返します。

TRACK-REPEAT :

再生中のトラック（曲）を繰り返します。

FOLDER-REPEAT (MP3) :

再生中のフォルダーを繰り返します。

リピート再生の設定は、ソースプレートに表示されます。

- メモ • リピート再生中に前後の曲の頭出しやリストからの選曲などの操作を行うと、リピート再生は解除されます。

■ ランダム再生

いつもと違う曲順で再生することができます。

1 **ランダム** を選ぶ



選ぶごとにランダム再生の設定が以下のように切り替わります。

●CD、MD

OFF ↔ RANDOM

●MP3

OFF → FOLDER-RANDOM →

DISC-RANDOM → OFFに戻る

RANDOM (CD・MD)

DISC-RANDOM (MP3) :

現在再生中のディスク内をランダムに再生します。

FOLDER-RANDOM (MP3) :

現在再生中のフォルダー内をランダムに再生します。

OFF :

ランダム再生を中止します。

ランダム再生の設定は、ソースプレートに表示されます。

- メモ • MP3のFOLDER-RANDOMは、現在再生中のフォルダー内のファイルが対象になります。フォルダー内にさらにフォルダーがある場合、そのフォルダーは対象外となります。
- MP3の場合、リピート再生中に **ランダム** を選ぶとFOLDER-RANDOMに切り替わります。
- ランダム再生中にリストからの選曲などの操作を行うと、ランダム再生は解除されます。

■ スキャン再生

ディスク内の各曲の演奏開始部分や、MP3の各フォルダーの1曲目の演奏開始部分を、約10秒間ずっと聴くことができます。

1 スキャンを選ぶ



選ぶごとにスキャン再生の設定が以下のように切り替わります。

●CD、MD

OFF ↔ SCAN

●MP3

OFF → FOLDER-SCAN → SCAN → OFFに
戻る

SCAN :

CD、MDの場合は、現在再生中のディスク内をスキャン再生します。

MP3の場合は、各フォルダーの先頭ファイルをスキャン再生します。

FOLDER-SCAN (MP3) :

現在再生中のフォルダー内のファイルをスキャン再生します。

OFF :

スキャン再生を中止します。

スキャン再生の設定は、ソースプレートに表示されます。

- メモ
 - スキャン再生を始めた曲まで戻ると、スキャン再生は解除されます。
 - MP3のFOLDER-SCANは、FOLDER-REPEATに切り替わります。
 - MP3のFOLDER-SCANは、現在再生中のフォルダー内のファイルが対象になります。フォルダー内にさらにフォルダーがある場合、そのフォルダーは対象外となります。

2 聴きたい曲またはフォルダーが再生されたら、そのリストにタッチする

スキャン再生がOFFになり、選んだ曲またはフォルダーが再生されます。

- メモ
 - スキャン再生中に前後の曲の頭出しやリストからの選曲などの操作を行うと、スキャン再生は解除されます。

■ ミックスCD内のデータ形式の切り替え

音楽データとMP3形式のデータが混在しているディスク(ミックスCD)の場合、再生するデータ形式を切り替えることができます。

1 CD ↔ MP3 を選ぶ



再生するデータ形式のソースに切り替わり、最初の曲から再生が始まります。

- メモ
 - 挿入されているディスクがミックスCDでない場合は、CD ↔ MP3 は操作できません。

はじめに

ナビスタート

放送受信

音楽ディスク

DVD

オプション機能

AV設定

オーディオ設定

その他の機能

付録

DVDビデオの見かた

再生する

- ⚠️ 停車中でパーキングブレーキがかかっているときに、モニターで映像を観ることができます。走行中は安全のためにモニターには、映像は表示されません。

DVDビデオディスクを再生するには、次のようにします。

1 ディスクを挿入する (→P16)

- メモ ディスクの判別などを行うため、手順2の画面が表示されるまでに時間がかかります。
- すでにDVDビデオディスクがセットされている場合は、「AV」ボタンを押すかAVソース選択メニュー (→P57) からDVDビデオソースに切り替えます。

2 はいを選ぶ



- メモ DVDビデオの録音レベルは他のAVソースより低いいため、他のAVソースからDVDビデオに切り替えると、音が小さく感じる場合があります。
- ソース別に音量レベルを調節することができます。→「ソースレベルアジャスター設定」(P87)
- 「AV」ボタンを2秒以上押すか、AVソース選択メニュー (→P57) で **ソースOFF** を選ぶとAVソースをOFFにすることができます。

DVDが自動的に再生しないときは

ディスクによっては、ディスクをセットした後にはディスクメニューなどが表示され、自動的に再生を開始しない場合があります。その場合は、次の手順で操作タッチキーを操作し再生を開始します。

- メモ ディスクメニューは直接タッチしても操作できません。

1 ディスクメニューなどが表示されたら、画面にタッチするか、「決定」ボタンまたは を押す

2 (十字矢印) を選ぶ



メニューを操作できる状態になりますので、「ディスクメニューの操作」(→P67) を参照して、再生を開始します。

ディスクメニューの操作

ディスクメニューは、ディスクにあらかじめ記録されているメニューのことで、表示されるメニューや操作方法は、再生するディスクによって異なります。

■ ディスクメニューを表示させる

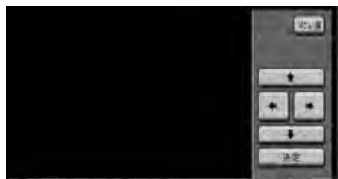
- 1 画面にタッチする
- 2 **トップメニュー** または **メニュー** を選ぶ



- メモ** • 操作タッチキーが表示されない場合は、**十字矢印** を選びます。

■ ディスクメニューの操作

- 1 **↑ ↓ ← →** でメニュー項目を選んで **決定** にタッチする



- メモ** • ディスクメニューは直接タッチしても操作できません。
- リモコンで操作したときは、次の画面が表示されます。ユニバーサルパッドでメニュー項目を選んで **決定** を押してください。



操作タッチキー表示のしかた

操作タッチキーは、再生中に画面にタッチするか、「決定」ボタンまたは**決定**を押して表示します。**メニュー消**を選ぶか、「戻る」ボタンを押すと消えます。

操作タッチキー（1ページ目）



- メモ** • **次頁 →** を選ぶと2ページ目の操作タッチキーを表示させることができます。

操作タッチキー（2ページ目）



- メモ** • **前頁 ←** を選ぶと1ページ目の操作タッチキーに戻ります。

はじめに

ナビスタート

放送受信

音楽ディスク

DVD

オプション機能

AV設定

オーディオ設定

その他の機能

付録

DVDビデオの基本操作



- : チャプター送り
- (2秒以上選ぶ) : 早送り/早戻し
- : 停止
- : 一時停止 (静止画再生) / 再生
- : 一時停止/コマ送り再生 (→P68) / スロー再生 (→P69)

: タイトル送り
 : 前回と同じ位置から再生 → 「ラストポジション機能を使う」 (P76)

- メモ**
 - 再生中に または を4秒以上操作すると、早送り/早戻しのままになります。通常の再生に戻るには、 を選びます。再生画面のときは、「決定」ボタンまたは を押します。
 - ディスクによって、早送り/早戻しできない場所があり、その場所にくると自動的に通常の再生になります。
 - 停止したときは、再生を停止した場所を記憶し、次にディスクを再生したときは前回の続きから再生されます (ディスクによっては続きから再生されない場合があります)。
 - ディスクまたは再生位置によっては、 (禁止マーク) が表示され、操作できない場合があります。

映像画面やナビゲーション画面のときは、 で次の操作をすることができます。

- : チャプター送り
- (2秒以上倒す) : 早送り/早戻し
- : タイトル送り

- メモ**
 - 映像画面のときは、ユニバーサルパッドでも同様な操作をすることができます。

いろいろな再生操作

再生中にいろいろな操作ができます。

■ コマ送り再生

再生中の映像を1コマずつ止めながら、進めて見ることができます。

- 1 再生中に画面にタッチするか、「決定」ボタンを押して、 を選ぶ
- 2 を選ぶ



選ぶごとに、映像が1コマずつ送られます。通常の再生に戻るには を選びます。

- メモ**
 - コマ送り再生中に音声聞くことはできません。
 - ディスクまたは再生位置によっては、 (禁止マーク) が表示され、コマ送り再生できないことがあります。
 - ディスクによっては、コマ送り再生時に映像が乱れる場合があります。

■ スロー再生

再生スピードを遅くして見ることができます。

1 再生中に画面にタッチするか、「決定」ボタンを押して、**II** を選ぶ

2 **II** を2秒以上選ぶ



送り方向にスロー再生されます。
通常の再生に戻るには **II** を選びます。

- ✖モ • スロー再生中に音声を聞くことはできません。
- ディスクまたは再生位置によっては、**⊘** (禁止マーク) が表示され、スロー再生できない場合があります。
- ディスクによっては、スロー再生時に映像が乱れることがあります。
- 戻り方向のスロー再生はできません。

■ リpeat再生

タイトルやチャプターをくり返して見るができます。

1 再生中に画面にタッチするか、「決定」ボタンを押して、**次頁 →** を選ぶ

2 **リピート** を選ぶ



選ぶごとに、リピートの範囲が以下のように切り替わります。

OFF → CHAPTER-REPEAT →
TITLE-REPEAT → OFFに戻る

CHAPTER-REPEAT:

再生中のチャプターを繰り返します。

TITLE-REPEAT:

再生中のタイトルを繰り返します。

OFF:

リピート再生しません。

リピート再生の設定は、ソースプレートに表示されます。

- ✖モ • ディスクまたは再生位置によっては、**⊘** (禁止マーク) が表示され、リピート再生できない場合があります。
- リピート再生中に前後のチャプターやタイトルを選ぶなどの操作を行うと、リピート再生は解除されます。

■ 字幕言語の切り替え

字幕が複数収録されているディスクの場合、再生中に字幕を切り替えることができます(マルチ字幕)。

1 再生中に画面にタッチするか、「決定」ボタンを押して、**次頁 →** を選ぶ

2 **字幕** を選ぶ



選ぶごとに、字幕言語が切り替わります。

- ✖モ • DVDパッケージについている **[2]** マークの数字が、字幕の収録数です。
- ディスクによっては、DVDに収録されているディスクメニューでしか切り替えることができない場合があります。
- ディスクまたは再生位置によっては、**⊘** (禁止マーク) が表示され、字幕言語を切り替えることができない場合があります。

はじめに

ナビスタート

放送受信

音楽ディスク

DVD

オプション機能

AV設定

オーディオ設定

その他の機能

付録

■ 音声言語の切り替え

音声が多音録されているディスクの場合、再生中に音声を切り替えることができます（マルチ音声）。

1 再生中に画面にタッチするか、「決定」ボタンを押して、**次頁 →** を選ぶ

2 **音声** を選ぶ

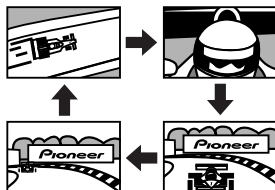


選ぶごとに、音声言語が切り替わります。

- DVDのパッケージについている②のマークの数字が、音声の収録数です。
- ディスクによっては、DVDに収録されているディスクメニューでしか切り替えることができない場合があります。
- DTS音声は、デジタル出力のみ対応しています。本機のデジタル出力を接続していない場合、DTS音声は出力されませんので、DTS以外の音声を選んでください。
- [Dolby D] や [5.1ch] などの表示は、DVDに収録されている音声の内容を表示しています。実際に再生される音声は、設定により表示とは異なる場合があります。
- ディスクまたは再生位置によっては、ⓧ（禁止マーク）が表示され、音声言語を切り替えることができない場合があります。

■ アングルの切り替え

複数のカメラで同時に撮影された映像が収録されているディスクの場合、再生中にカメラアングルを切り替えることができます（マルチアングル）。



- マルチアングルが収録されている場面を再生すると、アングル選択マークが表示されます。

1 マルチアングルが収録されている場面を再生中に、画面にタッチするか、「決定」ボタンを押して、**次頁 →** を選ぶ

2 **アングル切替** を選ぶ

アングル選択マークが表示されている間は、アングル切り替えが行えます。



選ぶごとに、アングルが切り替わります。

- DVDパッケージについている③のマークの数字が、アングルの収録数です。
- アングル選択マークの表示/非表示は、DVDビデオ機能設定メニューの「マルチアングル」で行います。→「DVD機能設定を変更する」(P72)

■ ディスクに指定された位置まで戻って見る

戻る位置の指定が収録されているディスクの場合、指定された位置まで戻って再生することができます（リターン再生）。

1 再生中に画面にタッチするか、「決定」ボタンを押して、**次頁** → を選ぶ

2 **リターン** を選ぶ



ディスクの指定された位置まで戻り、再生を始めます。

メモ • この機能は、ディスクに戻る位置の指定が収録されている場合のみ有効です。

■ 見たい場面をダイレクトに選ぶ

タイトル、チャプターまたは時間を指定して見たい場面を選んで再生することができます（ダイレクトサーチ）。

指定の方法は4種類あります。

1 再生中に画面にタッチするか、「決定」ボタンを押して、**次頁** → を選ぶ

2 **10キーサーチ** を選ぶ

3 **サーチモード** を選ぶ



選ぶごとに次のように切り替わります。

TITLEサーチ→CHAPTERサーチ→TIMEサーチ→10キーモード→TITLEサーチに戻る

4 番号を10キーで選ぶ

TITLEサーチ：

見たい場面のタイトル番号を入力します。

入力例：

タイトル番号4を検索する場合 **4** を選ぶ

CHAPTERサーチ：

見たい場面のチャプター番号を入力します。

入力例：

チャプター番号6を検索する場合 **6** を選ぶ

TIMEサーチ：

見たい場面の時間を入力します。

入力例：

1時間20分00秒の場面を検索する場合 **80分0秒** を選ぶ

10キーモード：

数字のコマンドを入力します。

入力例：**12**

メモ • 収録されていないタイトル番号、チャプター番号、時間などを入力した場合は **⊘**（禁止マーク）が表示され、検索できないことがあります。また、ディスクによっては収録されていても検索できない場合があります。

5 **決定** を選ぶ

指定した場面から再生を始めます。

メモ • 映像画面に戻るには、**戻る** を選ぶか、「戻る」ボタンを押し、一度操作タッチキーに戻り、**メニュー消** で映像画面に戻ります。

はじめに

ナビスタート

放送受信

音楽ディスク

DVD

オプション機能

AV設定

オーディオ設定

その他の機能

付録

DVDビデオ機能設定を変更する

DVDビデオ機能設定をあらかじめお好みの状態にしておくと、ディスクを再生するたびに設定を変える煩わしさがありません。

DVDビデオ機能設定で変更できる項目は以下のとおりです。

- 基本字幕言語
- 基本音声言語
- メニュー言語
- アシスト字幕の表示／非表示
- アングル選択マークの表示／非表示
- テレビアスペクト（画面の縦横比）
- 視聴制限（パレンタルロック）

設定のしかた

1 DVD再生中に画面にタッチするか、「決定」ボタンを押して、**次頁** → を選ぶ

2 **AV機能設定** を選ぶ

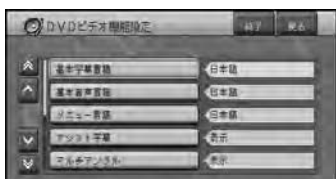


3 **DVDビデオ機能設定** を選ぶ



DVDビデオ機能設定メニューが表示されます。

4 各項目を設定して**終了**を選ぶ



- ※リモコンの「お帰り」ボタンを押して、メニューを閉じることもできます。
- DVDビデオ機能設定メニューは、設定項目ごとに画面が切り替わります。別の項目を設定する場合は、**戻る** を選ぶか、「戻る」ボタンを押して、1つ前の画面に戻ります。

設定項目

※は購入時の設定です。

基本字幕言語

字幕として優先したい言語を設定することができます（マルチ言語字幕）。

※日本語、英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、中国語、その他から選びます。

- ※選んだ言語がディスクに収録されていない場合は、ディスクで指定されている言語が表示されます。
- 再生中に画面にタッチして**次頁** → を選んで表示される**字幕**で、字幕言語を切り替えることもできます。
- ディスクによっては、設定した基本字幕言語が優先されない場合があります。

その他

言語のコード入力画面が表示されます。「言語コード表」(→P99)より、4桁の言語コードを画面の数字を選んで入力して、**決定** を選びます。



- ※入力した番号を消す場合は、**訂正** を選びます。

基本音声言語

音声として優先したい言語を設定することができます。

※ **日本語**、**英語**、**フランス語**、**ドイツ語**、**イタリア語**、**スペイン語**、**中国語**、**その他**から選びます。

- メモ • 選んだ言語がディスクに収録されていない場合は、ディスクで指定されている言語が出力されます。
- この設定には影響なく、再生中に画面にタッチし、**次頁**→を選んで表示される**音声**でも、音声言語を切り替えることもできます。

その他を選んだ場合

「基本字幕言語」(→P72)を参照してください。

メニュー言語

ディスクに収録されているメニュー画面の表示言語として優先したい言語を設定することができます。

※ **日本語**、**英語**、**フランス語**、**ドイツ語**、**イタリア語**、**スペイン語**、**中国語**、**その他**から選びます。

- メモ • 選んだ言語がディスクに収録されていない場合は、ディスクで指定されている言語で表示されます。

その他を選んだ場合

「基本字幕言語」(→P72)を参照してください。

アシスト字幕

アシスト字幕の表示/非表示を設定することができます。

ON アシスト字幕を表示します。

※ **OFF** アシスト字幕を表示しません。

- メモ • アシスト字幕とは、耳の不自由な方のために場面の状況を説明する字幕です。ただし、アシスト字幕は、ディスクに収録されている場合のみ表示することができます。

マルチアングル

マルチアングル収録されたディスクで、アングル切り替えができる場面を再生している間に表示する、アングル選択マークのON/OFFを切り替えることができます。

※ **ON** アングル選択マークを表示します。

OFF アングル選択マークを表示しません。

テレビアスペクト

組み合わせるテレビに合わせて設定します。

※ **16:9** ワイドモニター (16:9) 使用時に選ばれます。16:9で収録された画像が16:9で表示されます。

レターボックス ノーマルモニター (4:3) 使用時に選びます。16:9で収録された画像の横巾を4:3モニターの横巾に合わせて16:9の比率で表示します。

パンスキャン ノーマルモニター (4:3) 使用時に選びます。16:9で収録された画像の縦巾を4:3モニターの縦巾に合わせて16:9の比率で表示します (左右にはみ出た映像は表示されません)。

メモ • 本機のモニターはワイドモニターですので、通常は **16:9** に設定してお使いください。リアモニターにノーマルモニターを接続した場合でアスペクト比をリアモニターに合わせたい場合のみ設定を変えてください。

- パンスキャン指定されていないディスクを再生したいときは、**パンスキャン** に設定してもレターボックスでの再生になります。ディスクのパッケージなどでマークを確認してください。
- ディスクによっては、テレビアスペクトの変更ができないものもあります。詳細は、ディスクの説明書を参照してください。

はじめに

ナビスタート

放送受信

音楽ディスク

DVD

オプション機能

AV設定

オーディオ設定

その他の機能

付録

視聴制限

ディスクによっては、成人向けの内容や、暴力シーンなど子供に見せたくない場面に視聴制限をすることができます（パレンタルロック）。

1 画面の数字で、4桁の暗証番号を選ぶ



- メモ 登録した暗証番号は、忘れないようにメモしておくことをお勧めします。

2 決定を選ぶ



暗証番号が設定され、レベルの設定ができるようになります。

3 画面の数字で、レベルを選ぶ



- ※ レベル8：
ディスクをすべて再生する
- レベル7～2：
成人向けのディスクの再生を禁止する（子供向けや一般向けディスクを再生する）
- レベル1：
子供向けのディスクのみ再生する

- メモ 最初にご使用になるときは、暗証番号を設定してください。視聴制限は、暗証番号の登録がないと操作できません。
- 視聴制限されたディスクを再生しようとしたときに、暗証番号の入力画面が表示されることがあります。この場合は、正しい暗証番号を入力しないと再生できません。暗証番号の入力画面を解除するには、**戻る**を選んでください。
- ディスクのパッケージに視聴制限レベルが記載されていないディスクは、レベル設定しても視聴制限はかけられません。
- 視聴レベルは、ディスクに記憶されています。ディスクのパッケージなどをご確認ください。

■視聴制限のレベルを変更する

設定した視聴制限のレベルを変更することができます。

- メモ 入力した暗証番号が間違っていると、「パスワードが違います。もう一度入力してください。」が表示されます。この場合は、**訂正**を選んで、正しい番号を入力し直してください。
- 暗証番号を忘れた場合は、「暗証番号を忘れたときは」を参照してください。


■暗証番号を忘れたときは

暗証番号入力画面で**訂正**を10回選び、暗証番号が解除されたら、新しい暗証番号を登録します。

ダイナミックレンジコントロールの設定

本機を別売の5.1ch対応・DSPユニット「DEQ-P9」とオーディオマスターユニット「AXM-P9」と組み合わせたときに設定できます。ダイナミックレンジとは、一番大きな音と一番小さな音との幅です。ダイナミックレンジコントロールは、この幅を圧縮することで、音量を下げ楽しむ場合に小さな音も聞きとりやすくすることができます。

ダイナミックレンジコントロールの設定は、「オーディオ設定」で行いますので、設定操作は「オーディオ設定を変更する」の「ダイナミックレンジコントロール」(→P88)を参照してください。

-  ダイナミックレンジコントロールの効果が得られるのは、ドルビーデジタル音声だけです。
- 本機を別売の5.1ch対応・DSPユニット「DEQ-P9」とオーディオマスターユニット「AXM-P9」と組み合わせて5.1chシステムでご使用される場合、「AXM-P9」の取扱説明書を参照してください。

はじめに

ナビスタート

放送受信

音楽ディスク

DVD

オプション機器

AV設定

オーディオ設定

その他の機能

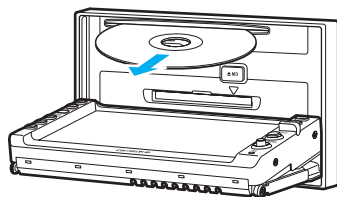
付録

ラストポジション機能を使う

本機は、CD/MP3/DVDビデオディスクを再生中にイジェクトすると、自動的に最後に再生していた位置が記憶されます。一時的に地図ディスクに入れ替えても、再度同じディスクを入れたときに同じ位置から再生を開始することができます。

■ラストポジションを記憶する

1 CD/MP3/DVDビデオディスクを再生中にディスクを取り出す



- メモ 再生位置はCD/MP3/DVDビデオそれぞれで1枚まで記憶できます。
- ミックスCDおよび収録方法が特殊なディスクは記憶できません。また、パソコンで作成したディスクも記憶できないことがあります。
- 通常再生中以外(ディスクサーチ中や、DVDビデオのオープニングおよびディスクメニュー再生中など)は記憶できないことがあります。
- ラストポジションは、車のACCをOFF(エンジンを切る)にしても記憶されています。

■ラストポジションを一時的に記憶する

同じ位置から何回も再生を開始したいときに便利な機能です。

1 CD/MP3/DVDビデオディスクを再生中に **ラストポジション** を2秒以上選ぶ

〔例：DVDビデオの場合〕



- メモ 記憶した位置は、ディスクをイジェクトするまで記憶されます。
- ミックスCDおよび収録方法が特殊なディスクは記憶できません。
- 通常再生中以外(ディスクサーチ中や、DVDビデオのオープニングおよびディスクメニュー再生中など)は記憶できないことがあります。

■ラストポジションから再生する

1 CD/MP3/DVDビデオディスクを再生中に **ラストポジション** を選ぶ



- メモ DVDビデオディスクでは記憶されたメニュー内の同じ時間(分秒)から再生されます。
- CDとMP3では記憶されたトラック(ファイル)の先頭(0'00")から再生されます。
- ディスクによってはラストポジション再生ができない場合があります。

■ DVDビデオのラストポジション 5秒前設定について

DVDビデオのラストポジションでは、記憶させた位置（分秒）からの再生と、記憶させた位置（分秒）の5秒前からの再生を選んで設定することができます。

5秒前からの再生に設定しておくとし、記憶した位置（分秒）の5秒前から再生を再開します。

- メモ • 設定については、「DVDビデオ時ラストポジション設定」（→P83）を参照してください。

■ ラストポジションを消去する

- 1 CD/MP3/DVDビデオディスクを停止中に **ラストポジション** を2秒以上選ぶ



- メモ • 停止中にイジェクトすると、ラストポジションは消去されます。

はじめに

ナビスタート

放送受信

音楽ディスク

DVD

オプション機能

AV設定

オーディオ設定

その他の機能

付録

マルチCDプレーヤーの操作のしかた

再生する

マルチCDで再生するには、次のようになります。

1 「AV」ボタンを押すか、AVソース選択メニュー(→P57)から**M-CD**を選ぶ
ディスク1枚目のトラックリスト画面が表示され、1曲目から再生を始めます。

- ✕モ マルチCDプレーヤーにマガジンが入っていないときは、マルチCDを選べません。
- 「AV」ボタンを2秒以上押すか、AVソース選択メニュー(→P57)で**ソースOFF**を選ぶとAVソースをOFFにすることができます。

2 聴きたい曲を選ぶ

●トラックリスト画面






トラックリスト

マルチCDプレーヤーの操作

- ⏮ ⏭ : トラック送り
- ⏮ ⏭ (2秒以上選ぶ) : 早送り/早戻し
- ⏸ : 一時停止/再生
- ⏪ : ディスクリスト表示
- 前のディスク 次のディスク : ディスク切り替え

ナビゲーション画面のときは、で次の操作をすることができます。

-  : トラック送り
-  (2秒以上倒す) : 早送り/早戻し
-  : ディスク切り替え

●ディスクリスト画面



ディスクリスト CD TEXT表示

●「CD TEXT」ディスクの場合



- ✕モ 「CD TEXT」に対応していないマルチCDプレーヤーと組み合わせた場合、リストは表示されません。
- 「CD TEXT」に対応しているマルチCDプレーヤー(「CDX-P670」など)で「CD TEXT」ディスク再生中の場合、取得できたタイトル情報が表示されます。
- 「CD TEXT」ディスクとは、CDのタイトルやアーティスト名などの文字情報が収録されているCDのことです。詳しくは、ディスクのパッケージ等をご覧ください。



いろいろな再生操作

■ リピート再生

繰り返して聴く再生範囲を指定します。

1 リピートを選ぶ



選ぶごとに、リピートの範囲が以下のように切り替わります。

OFF → TRACK-REPEAT → DISC-REPEAT → OFFに戻る

OFF :

マガジン内のすべてのディスクを繰り返し再生します。

TRACK-REPEAT :

再生中のトラック（曲）を繰り返し再生します。

DISC-REPEAT :

再生中のディスクを繰り返し再生します。

リピート再生の設定は、ソースプレートに表示されます。

- ✕モ リピート再生中に前後の曲の頭出しやリストからの選曲などの操作を行うと、リピート再生は解除されます。

■ ランダム再生

曲順を変えて再生することができます。

1 ランダムを選ぶ



選ぶごとに、ランダム再生が以下のように切り替わります。

OFF ↔ RANDOM

OFF :

ランダム再生を中止します。

RANDOM :

マガジン内のすべてのディスクの曲をランダムに再生します。

DISC-RANDOM :

リピート再生中に**ランダム**を選ぶと、DISC-RANDOMになります。再生中のディスクをランダムに再生します。

ランダム再生の設定は、ソースプレートに表示されます。

- ✕モ ランダム再生中にリストからの選曲などの操作を行うと、ランダム再生は解除されます。

はじめに

ナビスタート

放送受信

音楽ディスク

DVD

オプション機器

AV設定

オーディオ設定

その他の機能

付録

■ スキャン再生

マガジン内のディスクの各曲の演奏開始部分や、各ディスクの1曲目の演奏開始部分を、約10秒間ずつ聴くことができます。

1 スキャンを選ぶ



選ぶごとに、スキャン再生が以下のように切り替わります。

OFF ↔ SCAN

OFF :

スキャン再生を中止します。

SCAN :

マガジン内のすべてのディスクの1曲目をスキャン再生します。

DISC-SCAN :

リピート再生中に **スキャン** を選ぶと、DISC-SCANになります。再生中のディスクのすべての曲をスキャン再生します。

スキャン再生の設定は、ソースプレートに表示されます。

- メモ • スキャン再生を始めた曲まで戻ると、スキャン再生は解除されます。

2 聴きたい曲またはディスクが再生されたら、もう一度 **スキャン** を選ぶ

スキャン再生がOFFになり、選んだ曲またはディスクが再生されます。

- メモ • スキャン再生中に前後の曲の頭出しやリストからの選曲などの操作を行うと、スキャン再生は解除されます。

エクスターナルユニットの操作のしかた

本機では、マルチCDプレーヤー以外のIPバス機器は、エクスターナルユニットとして扱われます。

- メモ • エクスターナルユニットは、最大2台まで接続することができます。
- 本機に映像ソースのエクスターナルユニット（マルチDVDプレーヤー「XDVP9II」など）を接続したときは、「AV機能設定」の「映像入力設定」をEXTに設定する必要があります。→「AV機能設定を変更する」（P82）
- 本機にIPバス音声入力コネクタ（CD-RB10/RB20/AV20）を接続しても機能しません。

基本操作

- 1 「AV」ボタンを押すか、AVソース選択メニュー（→P57）からEXT-1またはEXT-2を選ぶ
- 2 操作画面にタッチして操作する（→操作例）

「基本操作画面」



- メモ • 本機に映像ソースのエクスターナルユニットを接続した場合は、しばらくすると映像画面に切り替わります。操作画面を再表示させたい場合は画面にタッチするか、「決定」ボタンまたはOKを押してください。

1～6キーの操作

基本操作画面で1-6を選ぶと、1～6キーの操作が行えます。



ファンクションキーの操作

基本操作画面でファンクションを選ぶと、ファンクションキーの操作が行えます。



操作例

- メモ • 接続した製品によって、操作内容が異なります。詳しくは、接続した製品の取扱説明書をご覧ください。

● マルチDVDプレーヤー「XDVP9II」の場合

- ↑ ↓ : ディスク操作
- ← → : チャプター/トラック操作※1
- バンド : ディスク送り
- 1～6 : ディスク番号選択
- ファンクション1 : 表示切り換え
- ファンクション2 : 一時停止、ランダム再生※2
- ファンクション3 : スキャン再生
- ファンクション4 : リピート範囲の切り換え
- オート/マニュアル : モード切り替え

※1 マニュアルモードになっているときは、早送り/早戻し動作となります。

※2 CD再生時に2秒以上タッチしたときの動作です。

はじめに

ナビスタート

放送受信

音楽ディスク

DVD

オプション機器

AV設定

オーディオ設定

その他の機能

付録

AV機能設定を変更する

AVソースに関連した機能設定を行うことができます。

設定のしかた

1 「AV」ボタンを押してから **AV機能設定** を選ぶ



AV機能設定メニューが表示されます。

- メモ **AV機能設定** は、AVソース (→P56) のときに表示されます。**AV機能設定** が表示されていないときは、画面にタッチしてください。
- AVソースがOFFのときや、ナビゲーション画面表示中などは、AVソース選択メニュー (→P57) から **AV機能設定** を選んで表示することもできます。

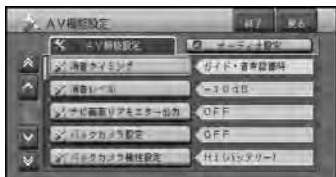
2 設定する項目を選ぶ

選んだ項目によってはさらに詳細な設定の項目が表示されます。



- メモ 上下のメニューを表示するには、**▲**または**▼**を選びます。

3 各項目を設定して **終了** を選ぶ



- メモ リモコンの「お帰」ボタンを押して、メニューを閉じることもできます。

■ 設定項目

※は購入時の設定です。

消音タイミング

音声案内(ガイド)や音声操作のときなど、一時的にオーディオの音量を下げたり、消したりするタイミングを設定します。

ガイド・音声認識時 ナビゲーションのガイド、または音声認識の操作が行われた時点で、オーディオの音声を一時的に消します。

※ **音声認識時** 音声認識の操作が行われた時点で、オーディオの音声を一時的に消します。

OFF オーディオの音声は、消しません。

消音レベル

消音タイミング音量を下げるレベルを設定をします。

-20dB 音量を約1/10にします。

※ **-10dB** 音量を約1/3にします。

MUTE 音量が0になります。

ナビ画面リアモニター出力

AVソースOFF時にリアモニターにナビゲーション画面を出力するかどうかの設定を行います。

ON リアモニターに出力します。

※ **OFF** リアモニターに出力しません。

バックカメラ設定

バックカメラを接続したときに設定します。

ON 接続したときに選びます。

※ **OFF** 接続していないときに選びます。

バックカメラ極性設定

バックカメラ接続時に、車両のバック信号の極性に合わせて設定します。

- ※ **Hi (バッテリー)** バックにギアを入れたときに、バック信号線の電圧がHiとなる車両の場合に選びます。

Low (グランド) バックにギアを入れたときに、バック信号線の電圧がLowとなる車両の場合に選びます。

- ※ **メモ** • 必ずバック信号入力線(紫/白)を接続してください。バック信号線の極性は、ナビゲーションの接続状態画面の「バック信号」で確認できます。「ナビ」ボタン→**メニュー**→**サブメニュー**→**情報を見る**→**接続状態**と操作してください。

映像入力設定

VTR またはマルチDVDプレーヤーなどを接続したときに設定します。

VTR VTR など、本機でコントロールしない映像機器を接続したときに選びます。

EXT マルチDVDプレーヤー「XDV-P9II」など、本機でコントロールできる映像ソースのエクスターナルユニットを接続したときに選びます。

- ※ **OFF** どちらも接続していないときに選びます。

モニターOFF時ガイド音声

画面オフにしたときに、ナビゲーションのガイド音声を出力するかどうかを設定します。

ON ガイド音声を出力します。

- ※ **OFF** ガイド音声を出力しません。

時計表示

AVソースのときに、時計を表示する画面を設定します。

映像・AVメニュー画面 映像の表示画面やAVメニュー画面で時計を表示します。

AVメニュー画面 AVメニュー画面で時計を表示します。

- ※ **OFF** AVソースでは時計を表示しません。

メモリーナビ状態表示

AVソースのときに、メモリーナビの状態を表示する画面を設定します。

映像・AVメニュー画面 映像の表示画面やAVメニュー画面でメモリーナビ状態を表示します。

AVメニュー画面 AVメニュー画面でメモリーナビ状態を表示します。

- ※ **OFF** AVソースではメモリーナビ状態を表示しません。

- ※ **メモ** • **対応ナビ** は、**映像・AVメニュー画面** に設定していても、映像画面上には表示されません。

DVDビデオ機能設定

DVDビデオの操作や表示に関する設定を行います。→詳しい設定については、「DVDビデオ機能設定を変更する」(→P72)を参照してください。

- ※ **メモ** • この設定を行うには、DVDビデオソースのときに**AV機能設定**を選びます。

DVDビデオ時ラストポジション設定

DVDビデオディスクのラストポジションブレイ再生時の動作を設定します。

- ※ **メモリー位置から再生** 記憶した位置から再生します。

メモリー5秒前から再生 記憶した位置の5秒前から再生します。

- ※ **メモ** • 詳しくは「DVDビデオのラストポジション5秒前設定について」(→P77)を参照してください。

はじめに

ナビスタート

放送受信

音楽ディスク

DVD

オプション機器

AV設定

オーディオ設定

その他の機能

付録

AV機能設定を変更する

5.1ch DSPユニット

AVソースOFF時に設定できます。

別売の5.1ch対応・DSPユニット「DEQ-P9」とオーディオマスターユニット「AXM-P9」を組み合わせる場合の設定を行います。

ON 5.1chのDSPユニットが設定され、操作およびスピーカー出力が「DEQ-P9」、「AXM-P9」側で行えるようになります。

※ **OFF** 設定しません。



- AVソースがOFFになっていないと、5.1ch DSPユニットの設定ができません。
- **5.1ch DSPユニット** の設定を **ON** にすると、本機のスピーカーから音声は出力されません。

オーディオ設定を変更する

お好みに合わせてオーディオの音などを調節することができます。

- メモ 別売の5.1ch対応・DSPユニット「DEQ-P9」とオーディオマスターユニット「AXM-P9」を組み合わせて音の調節を行う場合は、AV機能設定(→P82)の**5.1ch DSPユニット**を**ON**にしてから、AXM-P9側で調節してください。→「AV機能設定を変更する」(P82)

設定のしかた

オーディオ設定画面は、各AVソースから表示することができます。

1 「AV」ボタンを押してから**オーディオ設定**を選ぶ

オーディオ設定メニューが表示されます。



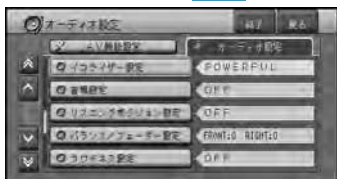
- メモ **オーディオ設定**は、AVソース(→P56)のときに表示されます。**オーディオ設定**が表示されていないときは、画面にタッチしてください。
- AVソース選択メニュー(→P57)から**オーディオ設定**を選んで表示することもできます。
- AVソースOFF時またはTiソース時は設定できません。

2 設定する項目を選ぶ

選んだ項目によってはさらに詳細な設定の項目が表示されます。



3 各項目を設定して**終了**を選ぶ



- メモ オーディオ設定画面を表示中に、音声案内、音声操作などがあった場合は、各種設定はできません。ただし、消音設定がOFFに設定されている場合は、各種設定を行うことができます。
- AV機能設定の**5.1ch DSPユニット**の設定が**ON**になっている場合は設定できません。
- 走行中は操作できない設定項目があります。
- 「お帰り」ボタンを押すとメニューを閉じることができます。

設定項目

※は購入時の設定です。

イコライザー設定

あらかじめ用意された5つの設定(ファクトリーカーブ)とお好みで調節した設定(CUSTOM)からイコライザーカーブを選ぶことができます。

SUPER BASS、***POWERFUL**、**NATURAL**、**VOCAL**、**FLAT**のファクトリーカーブ、**CUSTOM1**、**CUSTOM2**のお好みで設定したカーブから選びます。

- メモ **FLAT**は、何の補正もしません。設定したイコライザーカーブと交互に切り替えて、効果を確かめるのに使うと便利です。

はじめに

ナビスタート

放送受信

音楽ディスク

DVD

オプション機器

AV設定

オーディオ設定

その他の機能

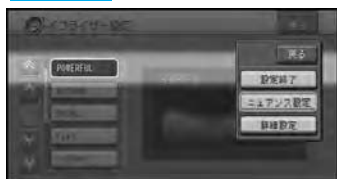
付録

オーディオ設定を変更する

■ファクトリカーブを選ぶ

1 ファクトリーカーブを選ぶ

2 設定終了を選ぶ



ニュアンス設定

→「イコライザーカーブを大まかに補正する」

詳細設定

→「イコライザーカーブを細かく調節する」

■イコライザーカーブを大まかに補正する

呼び出したイコライザーカーブを、全体的なバランスはくすさず、強めたり弱めたり調節できます。

1 イコライザーカーブ→ニュアンス設定を選ぶ

2 + または - を選んでイコライザーカーブを調節する

- メモ • **FLAT** および **CUSTOM1**、**CUSTOM2** がFLATになっているときは、イコライザーカーブを調節できません。

■イコライザーカーブを細かく調節する

お好みに合わせてイコライザーカーブの周波数レベルを細かく調節することができます。調節した設定はCUSTOM1に登録されます。

1 イコライザーカーブ→詳細設定を選ぶ

2 調節する周波数を選ぶ



3 ▲ または ▼ を選んで、レベルを調節する

- メモ • **CUSTOM1** はソースごとに記憶されますが、同じ設定になるものは以下の通りです。
 - DVD
 - CD、MP3
 - MD
 - マルチCD
 - ラジオ
 - テレビ、VTR
 - EXT1、EXT2
- **CUSTOM2** は、各ソース共通の設定で記憶されます。
- **CUSTOM2** 以外のイコライザーカーブのレベルを調節すると、**CUSTOM1** に記憶されます。
- 設定していないソースで **CUSTOM1** を選ぶと、その前のソースで登録されたイコライザーカーブが選ばれます。
- **CUSTOM2** のカーブを選んでいるときに、レベル調節すると **CUSTOM2** に記憶されます。

音場設定

リアルな音場を設定することができます。

* **OFF**、**STUDIO**、**CLUB**、**CONCERT**、**DOME**、**OCTAVER**、**BBE** から選びます。

- メモ • 設定しないときは、**OFF** を選びます。

■BBEで調節する

BBEとは、高音域の補正とともに低音域を押し上げることで、高音は鮮明に細部まで再現され、低音は締まりのある明確な音となります。このため、ライブ演奏に近い、自然で臨場感のある音で再現することができます。

1 BBE を選ぶ

2 + または - を選んでレベルを調節する

- メモ • この製品はBBEサウンド・インコーポレーテッドからの実施権に基づき製造されています。この製品は米国BBE社の所有する特許USP4638258と4482866を使用しています。BBEとBBEのシンボルはBBE Sound,Inc.の登録商標です。
- BBEが選ばれているときに、音場を選ぶと、BBEは自動的にOFFになります。

■OCTAVERで調節する

サブウーファー帯域の重低音を補うことで、低音を強調した重量感のある音で聴くことができます。OCTAVER2の方がOCTAVER1より低音を強調する効果があります。

1 OCTAVERを選ぶ

2 OCTAVER1またはOCTAVER2を選ぶ



- メモ • OCTAVERが選ばれているときに音場を選ぶと、OCTAVERは自動的にOFFになります。

リスニングポジション設定

乗車位置や乗車人数に合わせて、聞く位置を選択することができます。

- ※ OFF リスニングポジションを設定しません。
- FRONT R** 右ハンドル車に運転者のみがいるときに切り替えます。
- FRONT L** 左ハンドル車に運転者のみがいるときに切り替えます。
- FRONT** 同乗者が助手席にいるときに切り替えます。
- ALL** 同乗者が後部座席にいるときに切り替えます。

バランス/フェーダー設定

前後左右の音量バランスを調節することができます。

- ↑ 前スピーカーの音を強めます。
- ↓ 後ろスピーカーの音を強めます。
- ← 左側スピーカーの音を強めます。
- 右側スピーカーの音を強めます。

- メモ • カーソルの位置で前後の音のバランスを確認できます。

ラウドネス設定

小さな音量で聞いているときに、低・高音の不足感を補正して、メリハリのある音にすることができます。

- ON ラウドネスを設定します。
- ※ OFF ラウドネスを設定しません。

ソースレベルアジャスター設定

AVソースを切り替えたときに音量の違いを少なくするように、FMの音量を基準にして各ソースの音量の違いをそろえることができます。

- + - レベルを調節します。

- メモ • FMの音量を基準に他のAVソースとの音量を調節するため、FMを聞いているときは、ソースレベルアジャスターを設定することはできません。
- 次のソースごとに記憶されます。

• DVD	• CD、MP3
• MD	
• マルチCD	• AM、交通情報
• テレビ、VTR	• EXT1、EXT2

はじめに

ナビスタート

放送受信

音楽ディスク

DVD

オプション機器

AV設定

オーディオ設定

その他の機能

付録

オーディオ設定を変更する

デジタルATT設定

アッテネータ

デジタルATT（アッテネータ）はイコライザーカーブの調節による音の歪みをなくすることができます。

※ **HIGH** 高めに設定します。

LOW 低めに設定します。

-
- メモ** • 「イコライザー設定」（→P85）で、レベルを高く設定した周波数の音域が歪むことがあります。イコライザーカーブの調節で音が歪んだように感じたときは、デジタルATT（アッテネータ）の設定を **LOW** に切り替えてください
-

ダイナミックレンジコントロール

DVDビデオ再生時のみ設定できます。

ダイナミックレンジとは、一番大きな音と一番小さな音との幅です。ダイナミックレンジコントロールは、この幅を圧縮することで、音量を下げた場合に小さな音も聞きとりやすくすることができます。

※ **ON** ダイナミックレンジコントロールを設定します。

OFF ダイナミックレンジコントロールを設定しません。

-
- メモ** • ダイナミックレンジコントロールの効果が得られるのは、ドルビーデジタル音声だけです。
-

その他の機能

モニター画質を調節する

映像系（ナビゲーション、DVD、テレビ、VTR、バックカメラ）およびソース画面（CD、MP3、MD、その他の画面）の画質をそれぞれ調節することができます。

メモ 走行中は操作できません。

■ 黒の濃さ・コントラスト・明るさ・色の濃さ・色あいを調整する

お好みに合わせて画質を調整することができます。

メモ 「黒の濃さ」「コントラスト」「明るさ」は、次のソースごとに調整・記憶できます。またイルミがONのとき/OFFのときで、それぞれ別々に調整・記憶できます。

- DVD、CD、MP3
- TV
- VTR、EXT1、EXT2
- ナビゲーション画面
- RADIO、T1、MD、マルチCD
- バックカメラ
- 「色の濃さ」「色あい」は、次の映像ごとに調整・記憶できます。
 - DVDビデオ映像
 - TV映像
 - VTR、EXT1、EXT2映像
 - バックカメラ映像

1 調整したい映像の表示画面で、**↔**（ワイド/セットアップ）ボタンを2秒以上押す

画質調整画面が表示されます。



2 左右のタッチキーにタッチするか、ユニバーサルパッドを左右に操作して調整する

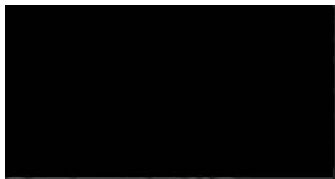
	左	右
黒の濃さ	<input type="checkbox"/> : 薄くなる	<input type="checkbox"/> : 濃くなる
コントラスト	<input type="checkbox"/> 低 : 白黒の差が小さくなる	<input type="checkbox"/> 高 : 白黒の差が大きくなる
色の濃さ	<input type="checkbox"/> 淡 : 淡くなる	<input type="checkbox"/> 濃 : 濃くなる
色あい	<input type="checkbox"/> : 赤が強くなる	<input type="checkbox"/> : 緑が強くなる
明るさ	<input type="checkbox"/> 暗 : 暗くなる	<input type="checkbox"/> 明 : 明るくなる

3 **終了** にタッチするか、「お帰り」ボタンを押す

画面を消す

音声を消さずに、画面だけを消すことができます。

1 **≡**（画面オフ）ボタンを2秒以上押す
画面が消えます。
画面をタッチするか、もう一度**≡**（画面オフ）ボタンを押すと、画面を表示します。



- メモ**
- 画面を消しているときは、音声認識での操作はできません。
 - 画面を消した状態で、車のACCをOFF→ON（エンジンを一度切る）すると、画面がONになります。

はじめに

ナビスタート

放送受信

音楽ディスク

DVD

オプション機器

AV設定

オーディオ設定

その他の機能

付録

ワイド画面の拡大方法を切り替える

テレビ、VTRおよびDVDビデオの映像は、通常の映像をワイド映像に拡大する方法を選択することができます。

- ✖モ • 通常映像は縦横比4：3、ワイド映像は縦横比16：9です。
- テレビ、VTR、DVDビデオ、EXT1/EXT2で設定内容が別々に記憶されます。
- ナビゲーション画面は、ワイドモードの切り替えはできません。

1 モニターやリモコンの「AV」ボタンを押して、テレビ、VTRまたはDVDビデオのいずれかの映像画面を表示させる

2 モニターの \leftarrow (ワイド/セットアップ) ボタンを押す



押すたびにフル (FULL)、ジャスト (JUST)、シネマ (CINEMA)、ズーム (ZOOM)、ノーマル (NORMAL) の順番で、ワイドモードが切り替わります。

- ✖モ • 通常のテレビ放送の番組でズーム、ノーマル以外の、映像の縦横比が異なるモードを選ぶと、本来の映像と見えかたに差がでます。
- シネマ、ズームで映像を見るときは、画質が粗くなります。
- 営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、本機のワイドモード切り替え機能を利用すると (フル、ズームなどで画面の圧縮や引き伸ばしなどを行うと)、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

- ワイド設定は映像ソース (TV、VTR、DVDビデオ、EXT1/EXT2) でのみ可能です。
- 走行中は設定できません。

■ ワイドモードの種類

FULL (フル)

4：3の映像の左右だけを拡大します。映像が欠けることなくワイド画面が表示されます。



JUST (ジャスト)

画面の両端に近づくほど、横に伸びる比率が高くなります。画面の中央付近は通常の映像とほとんど同じ大きさで表示されるため、ワイド画面を違和感なく楽しめます。



CINEMA (シネマ)

フルとズームの中間の比率で、上下を拡大します。字幕が映像の外の黒い部分に表示されるものに適しています。



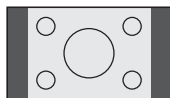
ZOOM (ズーム)

4：3の映像を上下、左右とも同じ比率で拡大します。映画など横長の映像のうち、字幕が映像の上にかがって表示されるものに適しています。



NORMAL (ノーマル)

4：3の映像をそのまま表示します。テレビの通常の映像と同じです。



VTRの映像を見る

本機に接続したVTRの映像を見ます。

- メモ 停車中でパーキングブレーキがかかっているときは、ビデオなどの映像を見られます。走行中は安全のために、ビデオなどの映像は表示されません。

1 ソースをVTRに切り替える

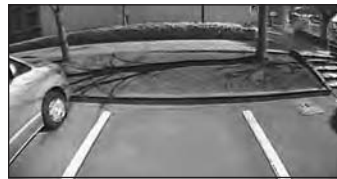
- メモ 本機にVTRを接続したときは、**AV機能設定**の**映像入力設定**を**VTR**に切り替えます。→「AV機能設定を変更する」(P82)

バックカメラを使う

別売のバックカメラユニット「ND-BC1」を接続すると、車の後方の映像をモニターに表示させることができます。シフトレバーをR（リバース）の位置にすると後方画面に切り替わります。駐車場で後退するときなどに便利です。

- メモ バックカメラの映像を表示させるには、**AV機能設定**の**バックカメラ設定**を、**ON**に設定し、さらに**バックカメラ極性設定**で車両に合わせてバック信号の極性を設定する必要があります。→「AV機能設定を変更する」(P82)

1 バックギアに入れる



シフトレバーを他のギアに切り替えると、画面表示は元の映像に切り替わります。

- メモ バックカメラ表示中に「ナビ」ボタンを押すと、バックカメラ映像は解除します。
- バックカメラに自動的に切り替えるには、バック信号の接続が必要です。詳しくは、『取付説明書』をご覧ください。
- 本機にはバックカメラの映像を左右反転する機能はありません。

はじめに

ナビスタート

放送受信

音楽ディスク

DVD

オプション機器

AV設定

オーディオ設定

その他の機能

付録


リアモニターを組み合わせる


本機のリアモニター出力端子に後部座席用モニターを接続すると、本機の映像を後部座席でも楽しむことができます。

→接続のしかたは『取付説明書』を参照してください。

■ リアモニターに表示される映像について

- リアモニターには、本機で表示されている映像が表示されます。ただし、テレビ、DVD、EXT1/EXT2またはVTRのときは、本機の映像に関係なく、常にテレビ、DVD、EXT1/EXT2またはVTRの映像が表示されます。
- AV機能設定** (→P82) の **ナビ画面リアモニター出力** の設定を **ON** にしている場合で、AVソースがOFFまたは音声系ソース (CD、MP3、MD) のとき、リアモニターにナビゲーション画面を表示することができます。
- リアモニターは、走行中/停車中に関係なく映像が表示されます。このため、走行中でもテレビ、DVDやVTRの映像を見ることができます。
- バックカメラ映像はリアモニターに出力されません。

 **リアモニターは、運転者が走行中に映像を見ることができない場所に設置してください。**

-  リアモニター出力はコンポジット信号のため、リアモニターに表示されるナビゲーションおよびAVソースの映像は、本機のモニターに表示される映像と比べて劣化します。また、その程度は接続されるモニターによっても異なります。
- 「TVM-W650(II)」 「TVM-W6500」 「TVM-W8000」 以外のモニターを接続した場合は、画像が乱れる場合があります。

モニターの正しい使いかた

取り扱い上のご注意

- モニターに直射日光が当たる状態で長時間放置しておくと、高温になり、液晶画面が故障する恐れがあります。

本機を使用していないときは、モニターに直射日光が当たらないようにしてください。

- モニターは次の温度範囲内でお使いください。

使用温度範囲：-10度～+50度

保存温度範囲：-20度～+80度

- モニターの液晶画面は、車内での視認性向上のためにむき出しになっています。故障する恐れがありますので、液晶画面を強く押さないでください。
- キズや汚れの原因になりますので、液晶画面に触れるときは、必ず指先で触れてください。
- エアバックなど安全装置装着車の場合は、安全装置の作動に支障のないようにご注意ください。

液晶画面について

- モニターの液晶画面の中に小さな黒い点や明るく光る点（輝点）が出る場合があります。これは液晶画面特有の現象で故障ではありません。
- 寒いところでお使いになるときは、電源を入れた後、しばらく画面が暗いことがあります。時間がたつと正常な明るさに戻ります。
- モニターの液晶画面に直射日光が当たると、光が反射し映像が見づらくなりますので、直射日光をさえぎってください。

小型蛍光管について

液晶画面を光らせるために、モニター内部に小型蛍光管を使用しています。

- 蛍光管は約1万時間お使いになると寿命になります。（寒いところでお使いになると、寿命が短くなることがあります。）
- 蛍光管が寿命になると、画面が暗くなったり、映像が映らなくなったりします。このときはお買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。

お手入れについて

- 画面に付いたホコリやモニターの汚れを清掃するときは、電源を切ってから、柔らかい布で拭きしてください。
- 画面を拭くときは、ツメで引っかかないように注意してください。画面にキズが付くと映像が見づらくなります。
- 化学ぞうきんをお使いの場合は、化学ぞうきんに添付の注意事項をよくお読みください。
- めれたぞうきんは使用しないでください。また、ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。

はじめに

ナビスタート

放送受信

音楽ディスク

DVD

オプション機器

AV設定




オーディオ設定

その他の機能

付録

再生できるディスクの種類

- 下表のマークはディスクのタイトル面、パッケージ、またはジャケットに付いています。
- 本機はNTSC（日本のテレビ方式）に適合していますので、ディスクやパッケージに「NTSC」と表示されているディスクをご使用ください。

再生できるディスクの種類とマーク	大きさ/再生面	最大再生時間
DVDビデオ 	DVDビデオ 12cm/片面 1層	(MPEG 2方式) 133分
	12cm/片面 2層	242分
	12cm/両面 1層	266分
	12cm/両面 2層	484分
	DVDビデオ 8cm/片面 1層	(MPEG 2方式) 41分
	8cm/片面 2層	75分
CD  	CD 12cm/片面	74分
	CDシングル 8cm/片面	20分

はDVDフォーマットロゴライセンシング（株）の商標です。

- DVDオーディオやDVD-ROMなどは再生できません。
- DVDビデオディスクでも、リージョン番号が異なるディスクは再生できません。
- DVDビデオディスクによっては、一部の機能がご使用になれない場合や再生できない場合があります。
- DVD-R/RWディスクは、ビデオフォーマット（ビデオモード）で記録されファイナライズされたものに限り、再生することができます。ビデオレコーディングフォーマット（VRモード）で記録されたDVD-RWディスクは再生できません。
- ビデオフォーマット（ビデオモード）で記録したDVD-R/RWディスクでも、ディスクの特性やキズ・汚れ、または本機内部のレンズの汚れ、露などにより、本機では再生できない場合があります。
- CD-Extraは、音楽CDとして再生することができます。
- CCCD（Copy Control CD）は正式なCD規格に準拠していないため、再生できない場合があります。
- 音楽用CDレコーダーで録音したものの以外のCD-R/RWディスクは、正常に再生できない場合があります。
- CD-RWディスクは、ディスクを挿入してから再生が始まるまで、通常のCDやCD-Rディスクより時間がかかる場合があります。
- ファイナライズしていないCD-R/RWディスクは、再生できない場合や再生が始まるまでに時間がかかる場合があります。
- CD-R/RWディスクの取り扱いについては、ディスクの説明書や注意書きを十分お読みください。
- DDCCD（Double Density CD）形式で録音されたCD-R/RWディスクは再生できません。






- 音楽用CDレコーダーで録音した音楽用CD-R/RWディスクでも、ディスクの特性やキズ・汚れ、または本機内部のレンズの汚れ・露などにより、本機では再生できない場合があります。
- 直射日光や高温等、車内での保管状況により、再生できなくなる場合があります。
- PC (パソコン) で記録したディスクは、正しいフォーマットで記録されたものは再生できますが、アプリケーションソフトの設定や環境などによっては再生できない場合があります。(詳細についてはアプリケーションソフト発売元にお問い合わせください。)
- MP3ファイルを記録したCD-ROMには「モード1」、「モード2 Form1」に対応しています。
- 本機は音楽CD規格に準拠して設計されています。コピーコントロールCDなどのCD規格外ディスクの動作保証および性能保証は致しかねます。

「DualDisc」の再生について

- 「DualDisc」は、片面にDVD規格準拠の映像やオーディオが、もう片面にCD再生機での再生を目的としたオーディオがそれぞれ収録されています。
- 「DualDisc」のDVDの面は再生可能です。
- DVD面ではないオーディオ面は、一般的なCDの物理的規格に準拠していないために再生できないことがあります。
- 「DualDisc」を再生機器に挿入をしたり、取り出しをしたりするときに再生面の反対側の面に傷がつく場合があります。傷が付いた面は再生すると不具合がでる場合があります。

■ DVDに表示されているマークの意味

DVDディスクのタイトル面やパッケージには、以下のようなマークが表示されています。それぞれのマークは、そのディスクに記録されている映像または音声のタイプ、使える機能を表しています。

マーク	意味
	音声の数を表します。
	字幕の数を表します。
	アングルの数を表します。
	画面サイズ (アスペクト比: 横と縦の比率) の種類を表します。
	再生可能な地域番号 (リージョン番号) を表します。本機のリージョン番号は、「2」です。リージョン番号が「2」や「ALL」など「2」を含んでいるディスクを再生することができます。

■ ディスクの操作について

DVDでは、ディスク制作者の意図により、特定の操作を禁止しているものがあります。また、メニュー操作や、再生中に対話式の操作が可能なディスクでは、タイトル/チャプターの構成上リPEATなど一部の操作ができないことがあります。このような場合、本機では画面に「禁止マーク」が表示されます。



禁止マーク

はじめに

ナビスタート

放送受信

音楽ディスク

DVD

オプション機器

AV設定

オーディオ設定

その他の機能

付録

MP3ディスクについて

- ✖モ MP3とは「MPEG Audio Layer 3」の略で、音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。
- 本機は、ISO9660のレベル1、レベル2、Joliet、Romeo (→P100) に準拠して記録されたディスクが再生可能です。CD-ROMモードはモード1、モード2 Form1に対応しています。

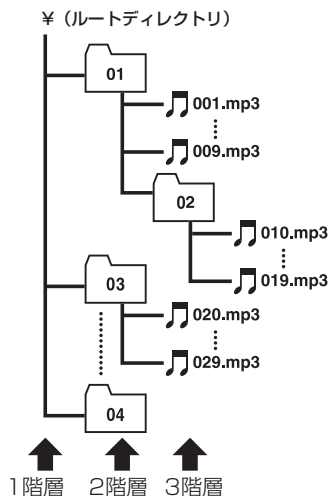
- ⚠ MP3ファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに半角の拡張子 (.mp3) を付けてください。
- 本機は、拡張子 (.mp3) が付いているファイルをMP3ファイルとして再生します。雑音や故障の原因となりますので、MP3ファイル以外には拡張子 (.mp3) を付けしないでください。

- マルチセッション (→P100) 対応で記録したディスクを再生することができます。
- ID3 TagのVer1.0およびVer.1.1 (ディスクタイトルとして表示)、track (トラックタイトルとして表示)、artist (アーティストとして表示)、ジャンル、発売年の表示に対応しています。ファイル名、フォルダー名は拡張子まで含めて最大32バイトまで読み込みます。
- 一度に取得して表示できるタイトルは最大192曲までです。未取得となったタイトルは、再生すると取得されます。
- 表示できる文字数に制限があるため、取得した情報を全て表示できない場合があります。
- 再生可能なサンプリング周波数は、MPEG-1 LAYER-3の場合、32kHz、44.1kHz、48kHz。MPEG-2 LAYER-3の場合、16kHz、22.05kHz、24kHzで、エンファシスに対応しています。

- 本機は、MPEG-1 LAYER-3の場合、32、40、48、56、64、80、96、112、128、160、192、224、256、320kbps。MPEG-2 LAYER-3の場合、8、16、24、32、40、48、56、64、80、96、112、128、144、160kbpsまでのMP3ファイルの再生に対応しています。
- VBR (可変ビットレート) に対応しています。
- パケットライト (→P100) には対応していません。
- m3u (→P100) のプレイリストには対応していません。
- MP3i (MP3 interactive)、mp3 PRO フォーマットには対応していません。

●フォルダーとMP3ファイルについて

MP3ファイルを取録したCD-ROMのイメージは下図のようになります。



- ✖モ Mixed Mode CDのデータトラックはスキップします。また、MP3ファイルを含まないフォルダーもスキップします。
- 8階層 (ルートディレクトリを含む) までのMP3ファイルの再生に対応していますが、多くのフォルダーを持つディスクは再生が始まるまでに時間がかかります。

- ディスクに含まれるフォルダーの合計は253個まで、ファイルの最大数は1フォルダーあたり65535ファイルです。MP3ファイルは9999個まで再生できません。

●MP3について

本機を提供する場合、非営利目的の個人向けライセンスのみが提供されます。下記放送で、本機を使うライセンスを提供したり、いかなる形式にせよ、使う権利を意味するものではありません。下記放送で本機を使用する場合は、それぞれ固有のライセンスが必要となります。詳細は、インターネット上のホームページ <http://www.mp3licensing.com> をご覧ください。

- 営業目的、すなわち利益の発生するリアルタイム放送（地上波放送、衛星放送、ケーブルテレビを始めとするメディア）、インターネットを使った放送やデータ転送、イントラネットをはじめとするネットワーク、あるいはペイオーディオやオンデマンド方式のオーディオといった電子的放送番組の配布システムなど。

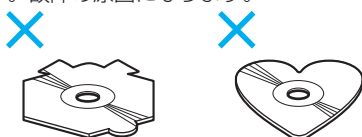
ディスクの取り扱いかた

取り扱い上のご注意

- ひび、キズ、そのあるディスクは使用しないでください。



- 特殊形状のディスクは、使用しないでください。故障の原因になります。



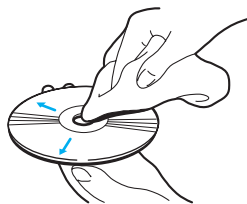
- ディスクは、記録面（虹色に光っている面）をさわらないように持ってください。
- ディスクにキズを付けないでください。
- ディスクに紙やシールなどを貼り付けしないでください。



- 製品設計上配慮していますが、機構上あるいは使用環境・ディスクの取り扱いなどにより、ディスク面に実使用上支障のない程度のキズが付くことがあります。これは、製品の故障ではありません。一般的な消耗としてご理解ください。

お手入れについて

- ディスクが汚れたときは、柔らかいきれいな布で、ディスクの内側から外側へ軽く拭いてください。



はじめに

ナビスタート

放送受信

音楽ディスク

DVD

オプション機器

AV設定

オーディオ設定

その他の機能

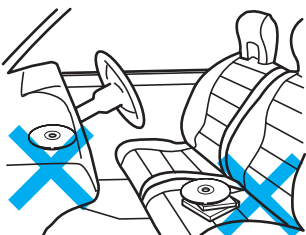
付録

- ディスクに、ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品をかけないでください。また、ディスクには、アナログ式レコード盤用のクリーナー、静電気防止剤などは使用しないでください。



保管上のご注意

- ディスクは、直射日光の当たるところや高温になるところには、保管しないでください。



- ディスクがそらないように、必ずケースに入れて保管してください。

ディスク再生の環境について

- 走行中、振動のショックでディスクのデータを正確に読み取れないことがあります。
- 寒いとき、ヒーターを入れた直後にディスク再生を始めると、本機内部の光学系レンズやディスクに露が付いて、正常な再生ができないことがあります。
このようなときは、1時間ほど放置して自然に露がとれるのをお待ちください。ディスクに付いた露は柔らかい布でふいてください。
- 高温になると、保護機能が働き、一部の動作が停止します。

言語コード表

言語名 (言語コード)	入力コード
日本語 (ja)	1001
英語 (en)	0514
フランス語 (fr)	0618
スペイン語 (es)	0519
ドイツ語 (de)	0405
イタリア語 (it)	0920
中国語 (zh)	2608
オランダ語 (nl)	1412
ポルトガル語 (pt)	1620
スウェーデン語 (sv)	1922
ロシア語 (ru)	1821
韓国語 (ko)	1115
ギリシャ語 (el)	0512
アファル語 (aa)	0101
アブバジャ語 (ab)	0102
アフリカーンス語 (af)	0106
アムハラ語 (am)	0113
アラビア語 (ar)	0118
アッサム語 (as)	0119
アイマラ語 (ay)	0125
アゼルバイジャン語 (az)	0126
バシキール語 (ba)	0201
ベラルーシ語 (be)	0205
ブルガリア語 (bg)	0207
ビハーリー語 (bh)	0208
ビスラマ語 (bi)	0209
ベンガル語 (bn)	0214
チベット語 (bo)	0215
ブルトン語 (br)	0218
カタロニア語 (ca)	0301
コルシカ語 (co)	0315
チェコ語 (cs)	0319
ウェールズ語 (cy)	0325
デンマーク語 (da)	0401
ブータン語 (dz)	0426
エスペラント語 (eo)	0515
エストニア語 (et)	0520
バスク語 (eu)	0521
ペルシア語 (fa)	0601
フィンランド語 (fi)	0609
フィジー語 (fj)	0610
フェロー語 (fo)	0615
フリジア語 (fy)	0625
アイルランド語 (ga)	0701
スコットランドゲール語 (gd)	0704
ガルス語 (gl)	0712
グアラニ語 (gn)	0714

言語名 (言語コード)	入力コード
グジャラート語 (gu)	0721
ハウサ語 (ha)	0801
ヒンディー語 (hi)	0809
クロアチア語 (hr)	0818
ハンガリー語 (hu)	0821
アルメニア語 (hy)	0825
国際語 (ia)	0901
interlingue (ie)	0905
イヌピアック語 (ik)	0911
インドネシア語 (in)	0914
アイスランド語 (is)	0919
ヘブライ語 (iw)	0923
イディッシュ語 (ji)	1009
ジャワ語 (jw)	1023
グルジア語 (ka)	1101
カザフ語 (kk)	1111
グリーンランド語 (kl)	1112
カンボジア語 (km)	1113
カンナダ語 (kn)	1114
カシミール語 (ks)	1119
クルド語 (ku)	1121
キルギス語 (ky)	1125
ラテン語 (la)	1201
リンガラ語 (ln)	1214
ラオス語 (lo)	1215
リトアニア語 (lt)	1220
ラトビア語 (lv)	1222
マダガスカル語 (mg)	1307
マオリ語 (mi)	1309
マケドニア語 (mk)	1311
マラーラム語 (ml)	1312
モンゴル語 (mn)	1314
モルダビア語 (mo)	1315
マラータ語 (mr)	1318
マライ語 (ms)	1319
マルタ語 (mt)	1320
ビルマ語 (my)	1325
ナウル語 (na)	1401
ネパール語 (ne)	1405
ノルウェー語 (no)	1415
プロバンス語 (oc)	1503
オロモ語 (om)	1513
オリヤー語 (or)	1518
パンジャブ語 (pa)	1601
ポーランド語 (pl)	1612
アフガニスタン語 (ps)	1619
ケチュア語 (qu)	1721

言語名 (言語コード)	入力コード
レートロマン語 (rm)	1813
キルンディ語 (rn)	1814
ローマ語 (ro)	1815
キニヤルワンダ語 (rw)	1823
サンスクリット語 (sa)	1901
シンド語 (sd)	1904
サンド語 (sg)	1907
サルボアクロアチア語 (sh)	1908
セイロン語 (si)	1909
スロバック語 (sk)	1911
スロベニア語 (sl)	1912
サモア語 (sm)	1913
シヨナ語 (sn)	1914
ソマリ語 (so)	1915
アルバニア語 (sq)	1917
セルビア語 (sr)	1918
シスワティ語 (ss)	1919
セストゥ語 (st)	1920
スンダ語 (su)	1921
スワヒリ語 (sw)	1923
タミル語 (ta)	2001
テルグ語 (te)	2005
タジク語 (tg)	2007
タイ語 (th)	2008
チグリス語 (ti)	2009
ツルキ語 (tk)	2011
タガログ語 (tl)	2012
セツワナ語 (tn)	2014
トンガ語 (to)	2015
トルコ語 (tr)	2018
ツォンガ語 (ts)	2019
タタール語 (tt)	2020
トゥウィ語 (tw)	2023
ウクライナ語 (uk)	2111
ウルドゥー語 (ur)	2118
ウズベク語 (uz)	2126
ベトナム語 (vi)	2209
ボラビュク語 (vo)	2215
ウォルフ語 (wo)	2315
コーサ語 (xh)	2408
ユルバ語 (yo)	2515
ズールー語 (zu)	2621

はじめに

ナビスタート

放送受信

音楽ディスク

DVD

オプション機能

AV設定

オーディオ設定

その他の機能

付録

用語の解説

CD/MP3ディスク

バケットライト

フロッピーやハードディスクと同じように、必要なファイルを必要な時点で、CD-Rなどに書き込む方式の総称です。

ビットレート

1秒当たりの情報量を表し、単位はbps (bit per second) です。この数字が大きいほど、音楽を再現するために多くの情報を持つことになるため、一般的に数字が大きい方が良い音となります。

マルチセッション

マルチセッションは、データの追加ができる記録方式です。CD-ROMやCD-R、CD-RWにデータを記録するとき、その記録の始めから終わりまでをひとまとめにした単位をセッションといいます。マルチセッションとは、1枚のディスクに2つ以上のセッションデータを記録する方法のことです。

ID3 Tag

曲の関連情報をMP3ファイルの中に埋め込む方式です。埋め込むことのできる情報は、曲名、アーティスト名、アルバム名、ジャンル、製作年、コメントなどがあります。この内容はID3 Tag編集機能のあるソフトを利用して自由に編集ができます。通常は文字数などに制限がありますが、曲の再生時に情報を見ることができるようになっています。

ISO 9660フォーマット

CD-ROMのファイルおよびフォルダーに関する論理フォーマットの国際基準です。ISO 9660フォーマットには、次のようなレベルに関する規制があります。

レベル1：

ファイル名は、8.3形式(半角英大文字と半角数字、“_”で名前は8文字以下、拡張子は3文字以下)で、各フォルダーの階層は8つ以下

レベル2：

ファイル名は、最大31文字(区切り文字、“.”と拡張子を含む)で、各フォルダーの階層は8つ以下

拡張フォーマット

Joliet：ファイル名は、最大で64文字

Romeo：ファイル名は、最大で128文字

CD-DA

「Compact Disk Digital Audio」の略で、圧縮されていない通常のCDのことです。

m3u

プレイリストファイルの拡張子(.m3u)で、「WINAMP」というソフトで作成したプレイリストに付きます。

MP3 (エムピースリー)

「MPEG Audio Layer3」の略で、ISO(国際標準化機構)のワーキンググループ(MPEG)の定めた音声圧縮の規格です。MP3は、音声データを元のデータの約1/10のサイズに圧縮することができます。

VBR (ブイビーアール)

「Variable Bit Rate(可変ビットレート)」の略です。一般的にはCBR(固定ビットレート)が多く使われていますが、音声圧縮では圧縮状況に合わせてビットレートを可変することで、音質を優先した圧縮が可能となります。

DVDビデオ

テレビアスペクト

テレビ画面の横と縦の比率をいいます。ノーマルモニター4：3、ワイドモニター16：9の比率です。

視聴制限（パレンタルロック）

暴力シーンなどを含むDVDには、視聴制限が記録されているものがあります。このようなディスクに、視聴制限レベルを設定して、再生できなくなったり、過激なシーンを飛ばして再生することができます。

タイトル

DVDは大容量なので、1枚のディスクに複数の映画を記憶することもできます。たとえば、1枚のディスクに異なる3つの映画が記憶されている場合は、タイトル1、タイトル2、タイトル3に分けられており、タイトルサーチなどの操作をすることができます。

チャプター

DVDのタイトル内をいくつかのセクションに区切り、番号付けしたものです。チャプターが記憶されているディスクでは、チャプターサーチなどの操作をすることができます。

マルチアングル

通常のテレビ番組などはテレビカメラからの映像を見ているので、画像は撮影しているカメラの位置の視点になります。DVDには、同時に複数台のカメラで撮影した映像をすべて収録しているものがあり、見る側で自由に選ぶことができます。

マルチ音声

DVDには、1枚のディスクの中に複数の音声を収録しているものがあります（最大8言語）。その中からお好みの言語を選ぶことができます。

マルチ字幕（サブタイトル）

映画などでおなじみの字幕です。DVDでは、字幕の言語を最大32カ国語まで記憶することができます。その中からお好みの言語を選ぶことができます。

リージョン番号

DVDプレーヤーとDVDディスクは発売地域ごとに再生可能な地域番号（リージョン番号）が設けられており、再生するディスクに記載されている番号にプレーヤーの地域番号が含まれていない場合は、再生できません。本機のリージョン番号は、「2」です。

ドルビーデジタル

ドルビーデジタルは最大5.1チャンネルの独立したマルチチャンネルオーディオを提供します。このシステムは、映画館にサラウンドシステムとして装備されているドルビーデジタルと同一のシステムです。



ドルビーデジタルを楽しむには、本機の光デジタル出力端子とドルビーデジタル対応アンプの光デジタル入力端子を接続する必要があります。

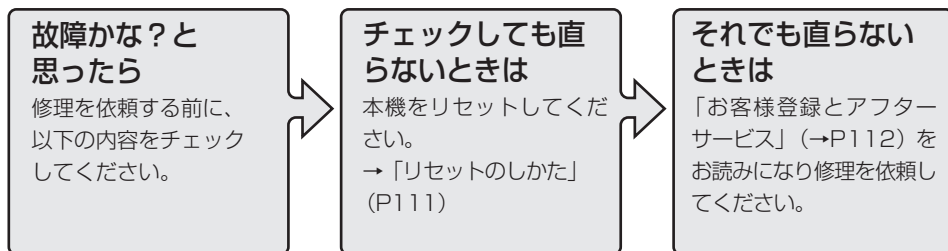
DTS

「Digital Theater Systems」の略です。DTSは、サラウンドシステムで、最大6チャンネルの独立したマルチチャンネルオーディオを提供します。



DTS音声付きディスクを楽しむには、本機のデジタル出力端子とDTS対応アンプやデコーダーなどのデジタル入力端子を接続する必要があります。

故障かな？と思ったら



■ ナビゲーション

ナビゲーションの内容につきましては、『ナビゲーションブック』の「故障かな？と思ったら」を参照してください。

■ 共通項目

症 状	原 因	処 置
電源が入らない。 動作しない。	各リード線や各コネクタ ーが正しく接続されてい ない。	正しく確実に接続されて いるかどうか、もう一度 確認してください。 →「取付説明書」
	ヒューズが切れている。	ヒューズが切れた原因を 解決し、切れたヒューズ を同じ容量のヒューズと 交換してください。 →「取付説明書」
	ノイズなどが原因で内蔵 のマイコンが誤動作して いる。	リセットボタンを押して ください。 →「リセットのしかた」 (P111)
「AV」ボタンを繰り返し 押ししても、ソースの音 が消えない。	「AV」ボタンを繰り返し 押ししても、ソースは OFFになりません。	「AV」ボタンを2秒以上 押ししてAVソースをOFF してください。→「AVソ ースをOFFにする」 (P57)
リモコンで操作できない。 操作に合った正しい動作 をしない。	電池の(+)と(-)の向き を逆に入れている。	正しく入れてください。 →「リモコンに電池を セットする」(P14)
	リモコンを、足元やシート に向けて操作している。	リモコン受光部に向けて 操作してください。→ 「各部の名前とおもな動 きを知る」(P18)
	リモコン受光部に直射日 光が当たっている。	リモコン受光部に近づ けて操作してください。
	電池が消耗している。	新しい電池に交換して ください。 →「リモコンに電池を セットする」(P14)

■ 共通項目 (つづき)

症 状	原 因	処 置
再生できない。	ディスクが汚れている。	汚れを拭き取ってください。 →「ディスクの取り扱いかた」(P97)
	本機で再生できない種類のディスクが入っている。	ディスクを確認してください。 →「再生できるディスクの種類」(P94)
車のACCをON(エンジンをかける)にすると、モーター音がする。	本機がディスクの有無を確認している。	正常な動作です。
映像の色が薄い。 または濃い。	色の濃さまたは色あいの調整が適切でない。	色の濃さまたは色あいを調整してください。 →「モニターの画質を調節する」(P89)
映像の色あいがおかしい。		
映像が明るい。 映像が暗い。	コントラストの調整が適切でない。	コントラストを調整してください。 →「モニターの画質を調節する」(P89)
液晶画面の中に、小さな黒点や輝点がある。	液晶特有の現象で、故障ではありません。	—
映像がキザキザに表示される。	ワイド画面特有の現象で、故障ではありません。	—
液晶画面が暗い。	明るさの調整が適切でない。	明るさを調整してください。 →「モニターの画質を調節する」(P89)
	車内の温度が低い。	液晶モニターは、周囲の温度が低いと画面が暗くなることがありますので、ヒーターで車内の温度を上げてください。
音が出ない。	音量が0になっている。	音量を上げてください。 →「音量を調節する」(P24) 5.1ch DSPユニットとオーディオマスターユニットを組み合わせているときは、オーディオマスターユニットの音量を上げてください。
	オーディオ設定の 5.1ch DSPユニット が間違っている。	5.1ch DSPユニット を正しく設定してください。→「AV機能設定を変更する」の「5.1ch DSPユニット」(P84)
	接続が間違っている。	接続を確認してください。→「取付説明書」

はじめに

ナビスタート

放送受信

音楽ディスク

DVD

オプション機器

AV設定

オーディオ設定

その他の機能

付録

■ 共通項目 (つづき)

症 状	原 因	処 置
映像が表示されない。	パーキングブレーキコードが接続されていない。	パーキングブレーキコードを接続し、パーキングブレーキをかけてください。 →「取付説明書」
	パーキングブレーキをかけていない。	
音が小さい。	音量を下げています。	音量を上げてください。
ナビゲーションの映像が映らない。	映像が、ナビゲーションに切り替わっていない。	映像をナビゲーションに切り替えてください。 →「ナビゲーション画面に切り替える」(P57)
前または後ろのスピーカーから音が出ない。	前後の音量バランスの調節が適切でない。	正しく調節・設定してください。 →「バランス/フェーダー設定」(P87)
左または右のスピーカーから音が出ない。	左右の音量バランスの調節が適切でない。	

■ テレビ

症 状	原 因	処 置
テレビの映りが悪い。 “ジージー、ザーザー” という雑音が多い。	チャンネルが合っていない。	チャンネルを正しく合わせてください。 →「テレビの放送局を選ぶ」(P58)
	放送局の電波が弱い。	他のチャンネルを選局してみてください。 →「テレビの放送局を選ぶ」(P58)
	周りに障害物があるなど、受信状態が良くない。	受信状態が良くなると、映りがよくなり、雑音も少なくなります。
	アンテナ線と他のケーブルを束ねたり、重ねたりしている。	重ねないように線処理をしてください。
自動選局できない。	強い電波の放送局がない。	手動で選局してください。 →「テレビの放送局を選ぶ」(P58)

■ バックカメラ

症 状	原 因	処 置
バックカメラに切り替わらない。	バック信号が接続されていない。	正しく確実に接続されているか確認してください。→「取付説明書」
	AV機能設定のバックカメラ設定がONに設定されていない。	AV機能設定のバックカメラ設定 およびバックカメラ極性設定を設定してください。→「AV機能設定を変更する」(P82)
	AV機能設定のバックカメラ極性設定が正しく設定されていない。	

■ MD

症 状	原 因	処 置
MDソースに切り替わらない。	MDが挿入されていない。	MDを挿入してください。
MD再生中に、大きな雑音が出る。 MDの再生が途中で止まる。 MDが自動的に出てくる。	MDに曇りや水滴がついている。	MDの曇りや水滴を拭き取ってください。
	MDが極端に汚れている。	MDを交換してください。
	録音されていないMDを挿入した。	
	MDが正しい向きで挿入されていない。	MDを取り出して正しい向きに挿入してください。 →「ディスクのセットのしかた」(P16)

はじめに

ナビスタート

放送受信

音楽ディスク

DVD

オプション機器

AV設定

オーディオ設定

その他の機能

付録

■ DVDビデオ

症 状	原 因	処 置
再生できない。	本機のリージョン番号と異なるディスクを挿入した。	本機と同じリージョン番号のディスクに交換してください。
	ディスクのメニューでしか再生できないディスクを挿入した。	ディスクのメニューから再生してください。→「DVDが自動的に再生しないときは」(P66)
映像が映らない。	走行中である。	走行中は、映像を見ることはできません。音声のみでお楽しみください。
	ナビゲーションの画面になっている。	「AV」ボタンで画面を切り替えてください。
音が出ない。	静止画、スロー、コマ送り再生中である。	静止画、スロー、コマ送り再生中に、音声を聞くことはできません。
視聴制限のメッセージが表示され、再生できない。	視聴制限がかかっている。	視聴制限を解除またはレベルの変更をしてください。 →「視聴制限のレベルを変更する」(P74)
視聴制限を解除できない。	暗証番号が間違っている。	正しい暗証番号を入力してください。 →「視聴制限のレベルを変更する」(P74)
	暗証番号を忘れてしまった。	訂正 に10回タッチし、暗証番号を解除します。 →「暗証番号を忘れたときは」(P74)
音声言語、字幕言語が切り替えられない。	複数の言語が収録されていないDVDを再生している。	複数の言語が収録されていないディスクでは、切り替えられません。
	ディスクのメニューでしか切り替えできないように制限されている。	ディスクのメニューで切り替えてください。
機能設定で選んだ音声言語、字幕言語にならない。	機能設定で選んだ言語が収録されていないDVDを再生している。	機能設定で選んだ言語が収録されていないDVDでは、選んだ言語には切り替わりません。
アングルを切り替えて見ることができない。	複数のアングルが収録されていないDVDを再生している。	複数のアングルが収録されていないDVDでは、切り替えられません。
	複数のアングルが収録されていない場面で操作している。	複数のアングルが収録されている場面で、操作してください。

■ DVDビデオ (つづき)

症 状	原 因	処 置
ディスク再生中に映像が乱れるまたは暗い。	ディスクコピー禁止信号が入っている。(ディスクによって入っている場合があります。)	アナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しているため、コピー禁止信号が入っているディスクを再生した場合、横縞が入るなどの症状が出ることがあります。(故障ではありません。)
	PAL方式のディスクを挿入している。	NTSC方式のディスクに交換してください。
Ⓢ(禁止マーク)が画面に出て操作できない。	ディスクが禁止している操作です。	この操作はできません。
	ディスクの構造上対応できない操作をしている。	
画面が止まり、操作を受け付けられない。	ディスク再生中にデータを読み取れなくなった。	ディスクの汚れなどを拭き取ってから、もう一度再生してください。

■ CD/MP3ディスク

症 状	原 因	処 置
CD再生中に、大きな雑音が出る。 CDの再生が途中で止まる。	CDにキズやそりがある。	他のCDと交換してください。それで良くなれば、CDの不良です。
	CDが極端に汚れている。	CDの汚れを拭き取ってください。 →「ディスクの取り扱いかた」(P97)
	CDに曇りや水滴がついている。	CDの曇りや水滴を拭き取ってください。
	CDの裏表を逆にしてセットしている。	CDのタイトル面を上にしてセットしてください。
CD-RやCD-RW、CD-ROMを再生できない。	ディスクがファイナライズされていない。	ディスクをファイナライズしてください。

はじめに

ナビスタート

放送受信

音楽ディスク

DVD

オプション機器

AV設定

オーディオ設定

その他の機能

付録

■ CD/MP3ディスク (つづき)

症 状	原 因	処 置
MP3ファイルを再生できない。	MP3ファイルに「.mp3」の拡張子が付いていない。	MP3ファイルに拡張子「.mp3」を付けたディスクに交換してください。
	ISO 9660のレベル1、レベル2、Joliet、Romeoに準拠して記録されていない。	ISO 9660のレベル1、レベル2、Joliet、Romeoに準拠して記録したディスクに交換してください。
	対応していないビットレートで記録されている。	対応しているビットレートで記録してください。→「MP3ディスクについて」(P96)
	CD-ROMモードがモード1またはモード2Form1で記録されていない。	モード1またはモード2Form1で記録してください。
MP3ファイル再生中に大きな雑音が出る。 MP3ファイル再生中に音が出なくなる。	MP3形式でないファイルに「.mp3」の拡張子を付けている。	ディスクを交換してください。(MP3形式でないファイルに「.mp3」拡張子を付けたCD-ROMを再生しないでください。)
聴きたいMP3ファイルが見つからない。	MP3ファイルに「.mp3」の拡張子が付いていない。	MP3ファイルに拡張子「.mp3」を付けたディスクに交換してください。
フォルダー名やファイル名が正しく表示されない。	ISO 9660のレベル1、レベル2、Joliet、Romeoに準拠して記録されていない。	ISO 9660のレベル1、レベル2、Joliet、Romeoに準拠して記録したディスクに交換してください。
MP3ファイル再生が、記録した順と異なる。	MP3ファイルは、記録したときの順番通りに再生されない場合があります。	ライティングソフトによっては、フォルダー名、ファイル名のはじめに数字(01、02など)を付けることにより、再生順を指定できる場合があります。

エラーメッセージ

初期学習が正しくできなかった場合や本体に何らかの異常が発生した場合は、画面に次のようなメッセージが表示されます。



このようなメッセージが表示されたときは、以下の内容を参照して対処してください。

- [測位不能になりました。販売店またはサービスステーションに御相談ください。]
ハードウェアの故障、劣化等が考えられます。販売店またはサービスステーションにご相談ください。
- [GPSアンテナが接続されていません。接続を確認してください。]
[GPSアンテナが異常です。販売店またはサービスステーションに御相談ください。]
GPSアンテナの接続を確認してください。正しく接続されている場合は、断線・故障・劣化等が考えられます。販売店またはサービスステーションにご相談ください。
- [車速信号線が外れました。接続を確認してください。]
ピンクリード線（車速信号入力）の接続を確認してください。
- [ジャイロセンサーが異常です。販売店またはサービスステーションに御相談ください。]
内蔵のジャイロセンサーの故障が考えられます。販売店またはサービスステーションにご相談ください。
- [車速パルス信号が異常です。接続を確認してください。]
『取付説明書』を参照して、ピンクリード線（車速信号入力）の接続が間違っていないか確認してください。
- [3D ハイブリッドセンサーが正常に動作していません。本体の取付け角度や向きを確認してください。取付けが正常な場合は販売店またはサービスステーションに御相談ください。]
『取付説明書』を参照して、取付け角度や向きが間違っていないか確認してください。取付け角度や向きが正しい場合は、内蔵センサーの故障が考えられます。販売店またはサービスステーションにご相談ください。
- [取付け位置の変化を検出しました。センサーの初期学習を開始します。]
取り付け位置の変化を自動で検出したことをお知らせするメッセージです。走行を開始すると自動でセンサーの初期学習を行います。
- [車速パルスが接続されていません。簡易ハイブリッドで動作します。]
『取付説明書』を参照して、ピンクリード線（車速信号入力）を接続してください。正しく接続すると、3Dハイブリッドで初期学習をやり直します。
- [高温のため動作不可能です。安全な場所に移動して、エンジンを切って、しばらくしてから入れ直してください。]
安全な場所に移動してから、エンジンを切って、本機の内部温度が正常になるまでお待ちください。
- [低温のため、動作不可能です。]
本機の内部温度が正常になるまでお待ちください。
- [DVD-ROMに異常があります。販売店にご相談ください。]
ディスクの異常が考えられます。販売店またはサービスステーションにご相談ください。
- [DVD-ROMに傷、汚れがあります。ディスクを確認してください。]
ディスクに汚れがあるときは、汚れを拭き取ってからもう一度セットしてください。改善されないときや、ディスクに傷があるときは、販売店またはサービスステーションにご相談ください。

はじめに

ナビスタート

放送受信

音楽ディスク

DVD

オプション機器

AV設定

オーディオ設定

その他の機能

付録

その他に、こんなメッセージが表示されたら

ディスクを正常に再生できないときは、エラーメッセージが表示されます。

DVDビデオ/CD/MP3ディスク

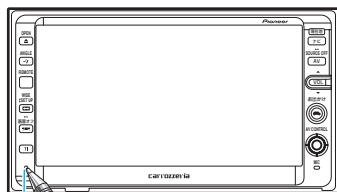
メッセージ	原因	処置
再生できません。ディスクを取り出してください。	ディスクが極端に汚れている。	ディスクの汚れを拭き取ってください。 →「ディスクの取り扱いかた」(P97)
	ディスクにキズやそりがある。	ディスクにキズがあるときは、ディスクを交換してください。
	ディスクの裏表を逆にしてセットしている。	ディスクのタイトル面を上にしてセットしてください。
	本機で再生できないディスクを使用している。	本機で再生できるディスクに交換してください。→「再生できるディスクの種類」(P94)
DIFFERENT REGION DISC	本機のリージョン番号と異なるディスクを挿入した。	リージョン番号「2」を含むディスクに交換してください。
再生できないディスクです。	本機で再生できないディスクを使用している。	本機で再生できるディスクに交換してください。→「再生できるディスクの種類」(P94)
高温のため動作できません。安全な場所に移動して、エンジンを切って、しばらくしてからかけなおしてください。	本機の内部温度が高い、または低い。	ディスクを取り出し、内部温度が正常になるまで、お待ちください。改善されない場合は、本機の設置場所に問題がないか確認してください。→『取付説明書』
タイトルを取得できませんでした。再生する事で取得できます。	MP3ディスクの情報が読み込まれていない。	MP3ディスクを再生してください。

リセットのしかた

次のようなときは、本機のリセットボタンを押してマイコンをリセットしてください。

- ・ 正しく動作しないとき
- ・ 画面が正しく表示されないとき

1 ボールペンの先などで、リセットボタンを押す



リセットボタン

- メモ** リセットボタンを押した後やバッテリーを外した後などに、いったん電源がON/OFFすることがありますが、故障ではありません。
- ・ リセットボタンを押した場合、最初のナビゲーションの起動に時間がかかります。

リセットボタンを押して消える内容

- ・ TVモニターの設定（VOL、画質調整、WIDEモードなど）
- ・ AV機能設定で設定した内容
- ・ テレビのオートチャンネルプリセットおよびマニュアルプリセット
- ・ DVDビデオの機能設定
- ・ オービスROMから読み込んだデータなど

消えない内容

- ・ ナビゲーションのメニューから登録した内容（ルート、登録地、最近探した場所、学習ルート、音量調整、各種設定で設定した内容など）
- ・ 3Dハイブリッドセンサーの学習
- ・ 現在時刻
- ・ CD/MP3およびDVDビデオディスクのラストポジションなど

はじめに

ナビスタート

放送受信

音楽ディスク

DVD

オプション機器

AV設定

オーディオ設定

その他の機能

付録

お客様登録とアフターサービス

お客様登録について

保証書発行兼お客様登録カードは、お買い上げ年月日、販売店名などが記入されていることを確かめのうえ、ご購入の際に販売店より受け取ってください。

この製品は、より確実にお客様をサポートさせていただくために「保証書発行兼お客様登録カード」のご返送もしくはインターネット登録による、お客様の登録と保証書の発行を実施させていただいております。お手数ではございますが必ずご登録手続きを行ってくださいませようお願いいたします。

登録方法

①「保証書発行兼お客様登録カード」のご返送によるご登録

同梱の「保証書発行兼お客様登録カード」に住所、お名前、電話番号および裏面のアンケートに必要事項をご記入のうえ、「保証書発行兼お客様登録カード③」を弊社までご返送ください。ご記入の住所、お名前に郵送いたしますので、正確に記入してください。

②インターネットによるご登録

弊社で登録専用ホームページにアクセスし、住所、お名前、電話番号およびアンケートに必要事項をご記入のうえ送信してください。ご記入の住所、お名前に郵送いたしますので、正確に入力してください。

なお、インターネット登録のお客様は修理の際に、郵送される保証書と「保証書発行兼お客様登録カード③」を一緒にご提示して頂きますので大切に保管願います。

ご登録専用ホームページ

<https://www3.pioneer.co.jp/members/navi/>

保証書発行について

■保証書のお届けについて

ご登録手続き完了後、保証書を郵送にてお届けいたします。

ご登録いただけない場合は、お客様の登録ができないため保証書の発行ができません。お手続きいただいてから保証書が届くまで約3週間ほどかかります。

■保証書お届けまでに故障が発生した場合

保証書発行兼お客様登録カードお客様控②は、お客様登録手続き中の証明となるものですので、保証書をお届けするまでの間、大切に保管してください。

■インターネット登録の場合

インターネット登録のお客様は登録後、郵送された保証書と「保証書発行兼お客様登録カード③」をあわせてご提示いただきますので大切に保管してください。

保証期間

この製品の保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

保証期間中の修理について

万一、故障が生じたときは、右ページの当社無料修理規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。

保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

補修性能部品の最低保有期間

当社は、本機の補修性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。（性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

ご質問・ご相談は

本機、または保証書発行兼お客様登録カードに関するご質問、ご相談はパイオニアカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

お願い

より確実にお客様をサポートさせていただくために、万一、保証書がお手元に届かない場合や、ご転居、住所の変更等、ご登録内容に変更が生じましたら、お手数ですがパイオニアカスタマーサポートセンターへご連絡くださるようお願いいたします。

カスタマーサポートセンター

☎ 0070-800-8181-11 (フリーフォン)

TEL 03-5496-8016 (一般電話)

なお、登録内容の変更はホームページからも行えますのであわせてご利用くださいますようお願いいたします。

ご登録専用ホームページ

<https://www3.pioneer.co.jp/members/navi/>

修理をご依頼になるときは、故障の原因をより早く確実に解決するため、製品一式をお持ち込みください。なお、サービス対応時におきましては、お客様が保存されたデータが消えることがあります。重要な内容は紙などに控えておいてください。

無料修理規定

1. 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
2. 本取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意にしたがった使用状態で故障した場合には、お買い上げの販売店またはパイオニアサービスステーションが無料修理いたします。
3. 保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合には商品と保証書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店または別紙「ご相談窓口・修理窓口のご案内」のパイオニアサービスステーションにご依頼ください。
4. ご転居、ご贈答品等で保証書または保証書発行兼お客様登録カードに記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、別紙「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧のうえ、お近くのパイオニアサービスステーションへご相談ください。
5. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - ・ 使用上の誤りまたは不当な修理や改造による故障および損傷。
 - ・ お買い上げ後の取付場所の移動、落下等による故障および損傷。
 - ・ 火災、地震、水害、落雷その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、水掛り等による故障および損傷。
 - ・ 業務用の長時間使用、船舶への搭載等、通常以外のご使用をされた場合の故障および損傷。
 - ・ 消耗品（各部ゴム、電池等）の交換
 - ・ 未登録のお客様で保証書発行兼お客様登録カードのご提示がない場合。
 - ・ 保証書の文字を書きかえられた場合。
 - ・ 保証書発行兼お客様登録カードにお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合。
 - ・ 故障の原因が本製品以外の他社製品にある場合。
6. 保証書およびこの無料修理規定は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
7. 保証書および保証書発行兼お客様登録カードは再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。

- * 保証書は、保証書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって保証書およびこの無料修理規定によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明な場合は、お買い上げの販売店または別紙「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。
- * 保証期間中に保証書を紛失した場合でもご登録いただいておりますと、確認に多少お時間をいただく場合がございますが、当社無料修理規定に基づき修理いたします。

お客様の個人情報は、下記の目的のために利用させていただきます。

- ・ 商品創りのための統計的分析（個人を識別・特定できない形態に加工した統計データとして使用）
 - ・ ご登録いただいた商品に関する重要なお知らせのご連絡
 - ・ 新製品、バージョンアップなどに関するご案内（ご案内の送付に同意いただいた方のみ）
 - ・ アンケート実施のご案内（アンケート協力に同意いただいた方のみ）
- * 尚、お客様から収集する個人情報は弊社が定める個人情報保護方針に則って厳重に管理いたします。

お客様の個人情報について

はじめに

ナビスタート

放送受信

音楽ディスク

DVD

オプション機器

AV設定

オーディオ設定

その他の機能

付録

索引

メニュー索引

CD	リピート	▶ P64	
	ランダム	▶ P64	
	スキャン	▶ P65	
	▶ (ポーズ)	▶ P62	
	⏮/▶ (早送り/早戻し)	▶ P62	
	⏮/▶ (曲を選ぶ)	▶ P62	
	■ (停止)	▶ P62	
	ラストポジション	▶ P62	
	AV機能設定	▶ P82	
	オーディオ設定	▶ P85	
MP3	リピート	▶ P64	
	ランダム	▶ P64	
	スキャン	▶ P65	
	▶ (ポーズ)	▶ P62	
	⏮/▶ (早送り/早戻し)	▶ P62	
	⏮/▶ (曲を選ぶ)	▶ P62	
	■ (停止)	▶ P62	
	上へ	▶ P62	
	CD↔MP3 (CD/MP3切替)	▶ P65	
	詳細情報	▶ P63	
AV機能設定	▶ P82		
オーディオ設定	▶ P85		
DVDビデオ	トップメニュー	▶ P66	
	メニュー	▶ P66	
	⏮/▶ (早送り/早戻し)	▶ P68	
	⏮/▶ (チャプターを進める/戻す)	▶ P68	
	▶ (ポーズ)	▶ P68	
	▶ (コマ送り再生)	▶ P68	
	▶ (スロー再生)	▶ P69	
	■ (停止)	▶ P68	
	タイトル↑/タイトル↓	▶ P68	
	⬆ (十字矢印キー)	▶ P66	
次頁→	▶ P67		
ラストポジション	▶ P68		
メニュー消	▶ P67		
MD	リピート	▶ P64	
	ランダム	▶ P64	
	スキャン	▶ P65	
	▶ (ポーズ)	▶ P62	
	⏮/▶ (早送り/早戻し)	▶ P62	
	⏮/▶ (曲を選ぶ)	▶ P62	
	AV機能設定	▶ P82	
	オーディオ設定	▶ P85	
	FM/AM	オートチャンネルプリセット	▶ P60
		プリセット↑/プリセット↓	▶ P59
周波数↑/周波数↓		▶ P59	
AV機能設定		▶ P82	
オーディオ設定		▶ P85	
リスト切替		▶ P59、P60	
TV	オートチャンネルプリセット	▶ P60	
	音声多重 (切替)	▶ P59	
	リスト切替	▶ P59、P60	
	リスト小/リスト大	▶ P58	
	AV機能設定	▶ P82	
	オーディオ設定	▶ P85	
VTR	AV機能設定	▶ P82	
DVDビデオ	リピート	▶ P69	
	字幕	▶ P69	
	アングル切替	▶ P70	
	音声	▶ P70	
	リターン	▶ P71	
	10キーサーチ(ダイレクトサーチ)	▶ P71	
	AV機能設定	▶ P82	
	オーディオ設定	▶ P85	
	前頁←	▶ P67	

マルチCD	リビート	▶ P79	オーディオ設定	イコライザー設定	▶ P85
	ランダム	▶ P79		音場設定	▶ P86
	スキャン	▶ P80		リスニングポジション設定	▶ P87
	▶ (ポーズ)	▶ P78		バランス/フェーダー設定	▶ P87
	◀◀/▶▶ (早送り/早戻し)	▶ P78		ラウドネス設定	▶ P87
	◀◀/▶▶ (曲を選ぶ)	▶ P78		ソースレベルアジャスター設定	▶ P87
	上へ	▶ P78		デジタルATT設定	▶ P88
	AV機能設定	▶ P82		ダイナミックレンジコントロール	▶ P88
	オーディオ設定	▶ P85			
	前のディスク	▶ P78			
	次のディスク	▶ P78			
TI	1620kHz/1629kHz	▶ P61			
	TI OFF	▶ P61			
AV機能設定	消音タイミング	▶ P82	基本字幕言語	▶ P72	
	消音レベル	▶ P82		基本音声言語	▶ P73
	ナビ画面リアモニター出力	▶ P82		メニュー言語	▶ P73
	バックカメラ設定	▶ P82		アシスト字幕	▶ P73
	バックカメラ極性設定	▶ P83		マルチアングル	▶ P73
	映像入力設定	▶ P83		テレビアスペクト	▶ P73
	モニターOFF時ガイド音声	▶ P83		視聴制限	▶ P74
	時計表示	▶ P83			
	メモリーナビ状態表示	▶ P83			
	DVDビデオ機能設定	▶ P72、P83			
	DVDビデオ時 ラストポジション設定	▶ P83			
	5.1ch DSPユニット	▶ P84			

はじめに

ナビスタート

放送受信

音楽ディスク

DVD

オプション機器

AV設定

オーディオ設定

その他の機能

付録

用語索引

五十音順

あ行

明るさ	89
暗証番号	74
色あい	89
イジェクト	17
色の濃さ	89
オーディオ設定	85
オートアンテナ	15
オートチャンネルプリセット	60
お帰り	37、51
お好み周辺検索タッチキー	21、49
お出かけ	34、41
お出かけメニュー	34、44
音声言語	70
音声多重(切替)	59
音声多重放送	59
音声認識コントローラー	15
音声認識用マイク	14

か行

決定	22
黒の濃さ	89
広域	31
コマ送り再生	68
コントラスト	89

さ行

視聴制限	74
シネマ	90
字幕	69
ジャスト	90
主音声	59
渋滞	46
周辺	47、54
詳細情報	64
詳細	31
ショートカットタッチキー	21
静止画再生	84
ズーム	90

スキャン再生	65、80
スクロール	30
スケール表示	28、32
スロー再生	69
操作タッチキー	67

た行

タイトル送り	68
ダイレクトスケールタッチキー	32
タッチキー	21
チャプター送り	68
ディスクメニュー	67

な行

ノーマル	90
------	----

は行

パケットライト	100
バックカメラ	91
発話	52
早送り	62、68、78
早戻し	62、68、78
微調整	29
ビットレート	100
ビュー	33
ヒントポップアップ	36
フォルダー	62
副音声	59
フル	90
ホームエリア	38

ま行

マルチアングル	70
マルチ音声	70
マルチセッション	100
メニュー	34
メモリーナビモード	26

や行

ユニバーサルパッド	22
-----------	----

ら行

ラストポジション機能	76
ランダム再生	65、79
リアモニター	92

リスト切替	59、60	N	NORMAL	90
リスト表示	36	R	RANDOM	65、79
リターン	87	S	SCAN	65
リピート再生	64、64	T	TIMEサーチ	71
わ行			TITLEサーチ	71
ワイドモード	90		TITLE-REPEAT	69
			TRACK-REPEAT	64、79
数字・アルファベット順		V	VBR	100
数字			VTR	91
10キーサーチ	71	Z	ZOOM	90
10キーモード	71			
50音タブ付きリスト	36			
A				
AV機能設定	82			
C				
CHAPTERサーチ	71			
CHAPTER-REPEAT	69			
CINEMA	90			
D				
DISC-RANDOM	79			
DISC-REPEAT	79			
DISC-SCAN	80			
F				
FULL	90			
FOLDER-RANDOM	64			
FOLDER-REPEAT	64			
FOLDER-SCAN	65			
I				
ID3 Tag	100			
ISO 9660フォーマット	100			
J				
JUST	90			
M				
m3u	100			
MP3	96			

はじめに

ナビスタート

放送受信

音楽ディスク

DVD

オプション機器

AV設定

オーディオ設定

その他の機能

付録

タッチキー/ボタン/画面情報索引

	ビュータッチキー	▶P33
	スケール表示タッチキー/ダイレクトスケールタッチキー	▶P32
	詳細タッチキー/「詳細」ボタン	▶P31
	広域タッチキー/「広域」ボタン	▶P31
	発話タッチキー/「発話」ボタン	▶P52
	微調整タッチキー	▶P29
	メニュータッチキー	▶P35
	お帰りタッチキー/「お帰り」ボタン	▶P51
	渋滞タッチキー/「渋滞」ボタン	▶P46
	周辺タッチキー/「周辺」ボタン	▶P47
	お好み周辺検索タッチキー	▶P49
	「お出かけ」ボタン	▶P41
	戻るタッチキー/「戻る」ボタン	▶P20、34
	AVボタン	▶P56
	「ナビ」ボタン	▶P28
	「決定」ボタン/ユニバーサルパッド	▶P22
	(AVコントロール)	▶P57、P58、P61、 P62、P78
	メモリーナビモード準備中タッチキー	▶P27
	メモリーナビモード準備完了タッチキー	▶P27
	メモリーナビモードタッチキー	▶P27
	ルートインフォメーション	▶P45
	VICS情報提供時刻	▶P28
	方位表示マーク	▶P28
	自車マーク	▶P28
	現在地の地名	▶P28
	道のり距離/到着予定時刻	▶P45

仕様

共通

最大消費電流：10 A
使用電源：DC 14.4 V (10.8～15.1 V 使用可能)
外部映像入力レベル：1 V_{p-p}/75Ω
外部音声最大入力レベル：1 V/22kΩ
映像出力レベル：1 V_{p-p}/75Ω (白100%出力/DVDビデオ再生時)

GPS 部

受信方式：8チャンネルマルチチャンネル

アンプ・オーディオ部

最大出力：50W×4
負荷インピーダンス：4Ω (4～8Ω使用可能)
プリアウト最大出力レベル：2.2V/1kΩ
イコライザー (13バンド)
周波数：50/80/125/200/315/500/
800Hz、1.25k/2k/3.15k/5k/8k/
12.5kHz
調整幅：±6dB

DVDプレーヤー部

リージョンNo.：2
対応ディスク：DVD-ROM、DVD-VIDEO、
DVD-R (video mode) /RW (video
mode)、CD-ROM、CD-DA、CD-R/RW

MD部

再生方式：ATRAC (SP)、ATRAC3 (LP2、
LP4)

FMチューナー部

受信周波数帯域：76.1～89.9 MHz
音声：ステレオ

AMチューナー部

受信周波数帯域：522～1,629 kHz (9 kHz)
音声：モノラル

TV チューナー部

受信チャンネル：VHF1～12ch/UHF13～
62ch
音声：ステレオ/音声多重
アンテナ入力：4chダイバシティ

TVモニター部

画面サイズ：TFT 6.5 型ワイド
画素数：336,960 画素 (234 × 1,440)
使用温度範囲：-10 ～+50 °C
保存温度範囲：-20 ～+80 °C

フィルムアンテナ

使用電源：DC 8V
最大消費電流：70 mA
出力端子：φ3.5 ミニプラグ×3+JASO×1

外形寸法

取付寸法：178 (W)×100 (H)×165 (D) mm
ノーズ寸法：170 (W)×93 (H)×13 (D) mm
GPSアンテナ：36 (W)×14 (H)×33 (D) mm
フィルムアンテナ：104 (W)×362 (H)×0.4
(D)mm (セパレータ含む)
フィルムアンテナブースターアンプ：
40 (W)×20 (H)×9 (D)mm
リモコン：42 (W)×148 (H)×22 (D) mm

質量

ナビゲーション本体：3.0kg

付属品

フィルムアンテナ：1式
DVD-ROM ディスク：1
リモコン：1
単4形アルカリ乾電池 (LR03)：2
取付キット：1 式*1
コード類：1 式*1
ナビスタート&AVブック：1
ナビゲーションブック：1
取付説明書：1
安全上のご注意：1
ご相談窓口・修理窓口のご案内：1
VICS サービス契約約款：1
保証書発行兼お客様登録カード：1**2

※1 取付キットおよびコード類の詳細につきましては、『取付説明書』をご覧ください。

※2 保証書につきましては、「保証書発行兼お客様登録カード」のご返送またはインターネットのご登録による発行となります。

はじめに

ナビスタート

放送受信

音楽ディスク

DVD

オプション機器

AV設定

オーディオ設定

その他の機能

付録

その他、商標・著作権等


- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、Pro Logic 及びダブルD 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。




- DTS は米国Digital Theater Systems.Inc の登録商標です。



- 本製品は、マクロビジョンコーポレーションおよび他の権利保有者が所有する合衆国特許および知的所有権によって保護された、著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用にはマクロビジョンコーポレーションの許可が必要であり、同社の許可がない限りは一般家庭及びそれに類似する限定した場所での視聴に制限されています。解析や改造は禁止されていますので行わないでください。

-  はDVD フォーマットロゴライセンスリング (株) の商標です。

-  は、財団法人道路交通情報通信システムセンターの商標です。

- MP3とはMPEG Audio Layer 3の略称で、音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。本機を提供する場合、非営利目的の個人向けライセンスのみが提供されます。下記放送*で、本機を使うライセンスを提供したり、いかなる形式にせよ、使う権利を意味するものではありません。下記放送*で本機を使用する場合は、それぞれ固有のライセンスが必要となります。詳細は、インターネット上のホームページ <http://www.mp3licensing.com> をご覧ください。

*営業目的、すなわち利益の発生するリアルタイム放送 (地上波放送、衛星放送、ケーブルテレビを始めとするメディア)、インターネットを使った放送やデータ転送、イントラネットを始めとするネットワーク、あるいはペイオー

ディオやオンデマンド方式のオーディオといった電子的放送番組の配布システムなど。

- その他、製品名等の固有の名称は各社の商標又は登録商標です。
- 本製品に収録されたデータ及びプログラムの著作権は、弊社及び弊社に対し著作権に基づく権利を許諾した第三者に帰属しております。お客様は、いかなる形式においてもこれらのデータ及びプログラムの全部または一部を複製、改変、解析等することはできません。
- 弊社は、本製品に収録された地図データ等が完全・正確であること、及び本製品がお客様の特定目的へ合致することを保証するものではありません。
- 本機は日本国内専用です。GPS の測位範囲が異なる外国ではご使用頂けません。
- 本製品の仕様及び外観は、改善のため予告なく変更する場合があります。また、取扱説明書の内容と実物が異なることがあります。その場合における本製品の改造、またはお取り替えのご要望には応じかねます。



この説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

パイオニア商品の修理・お取り扱い（取り付け・組み合わせなど）については、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。なお、修理をご依頼される場合は、取扱説明書の「故障かな?と思ったら」を一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、① 型名、② ご購入日、③ 故障症状を具体的にご連絡ください。

●パイオニアホームページ：お客様サポート <http://www.pioneer.co.jp/support/index.html>

(商品についてよくあるお問い合わせ・カタログの請求・メールマガジン登録のご案内など)

<下記窓口へのお問い合わせ時のご注意>

市外局番「0070」で始まる ☎ フリーフォン、および「0120」で始まる ☎ フリーダイヤルは、PHS、携帯電話などからご使用になれません。また、【一般電話】は、携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。

商品のご購入や取り扱い、故障かどうかのご相談窓口

カスタマーサポートセンター（全国共通フリーフォン）

受付 月曜～金曜 9：30～18：00、土曜・日曜・祝日 9：30～12：00、13：00～17：00（弊社休業日は除く）

●カーオーディオ／カーナビゲーション商品のご相談窓口およびカタログのご請求窓口

☎ **0070-800-8181-11**

☎ 【一般電話】 **03-5496-8016**

●ファックス受付 ☎ **03-3490-5718**

カーナビゲーション「訪問宅電話番号検索機能」に関するご相談窓口

「訪問宅電話番号検索機能」に関する個人情報の削除等の受付窓口

受付 月曜～金曜 9：30～12：00、13：00～17：00（土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く）

☎ **0120-817-088**

部品のご購入についてのご相談窓口

●部品（付属品・リモコン・取扱説明書など）のご購入については、部品受注センターへお問い合わせください。

部品受注センター

受付 月曜～金曜 9：30～18：00、土曜・日曜・祝日 9：30～12：00、13：00～18：00（弊社休業日は除く）

☎ **0120-5-81095**

☎ 【一般電話】 **0538-43-1161**

☎ ファックス **0120-5-81096**

修理についてのご相談窓口

●お買い求めの販売店に修理の依頼ができない場合は、修理受付センターへ（沖縄の方は、沖縄サービスステーションへ）

修理受付センター（沖縄県を除く全国）

受付 月曜～金曜 9：30～19：00、土曜・日曜・祝日 9：30～12：00、13：00～18：00（弊社休業日は除く）

☎ **0120-5-81028**

☎ 【一般電話】 **03-5496-2023**

☎ ファックス **0120-5-81029**

沖縄サービスステーション（沖縄県のみ）

受付 月曜～金曜 9：30～18：00（土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く）

☎ 【一般電話】 **098-879-1910**

☎ ファックス **098-879-1352**

この説明書は、再生紙を使用しています。

©パイオニア株式会社 2005

パイオニア株式会社

〒153-8654 東京都目黒区目黒1-4-1

< KAMFF > < 05G00000 > < CRA3801-A >